

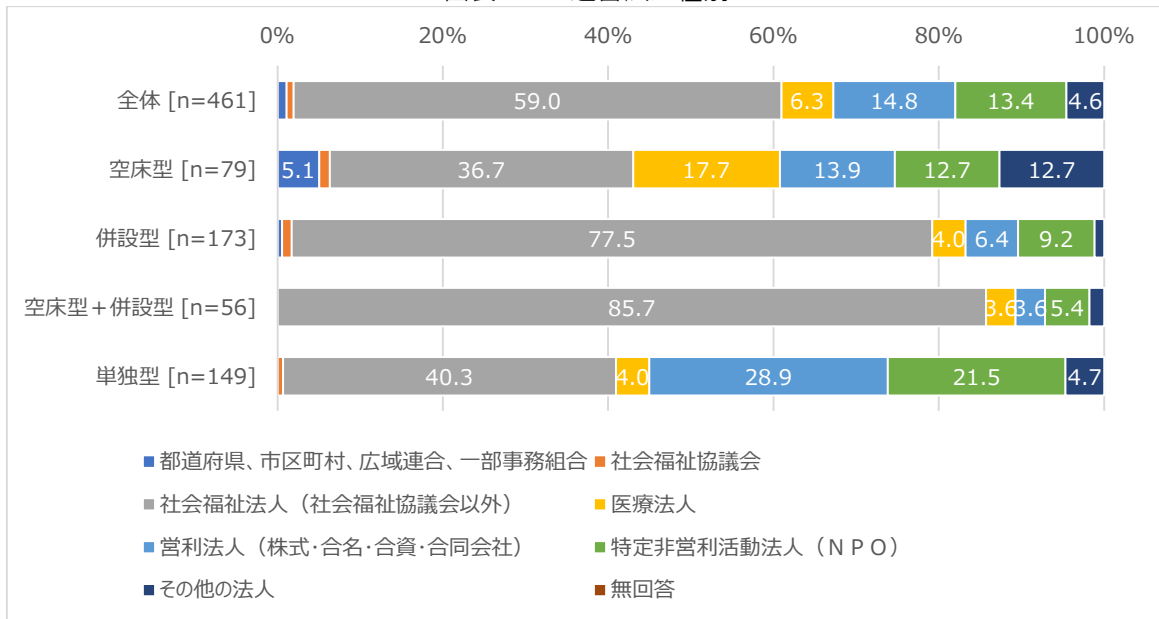
3 短期入所における支援に関する調査 集計結果

(1) 事業所の基本情報

① 運営法人種別

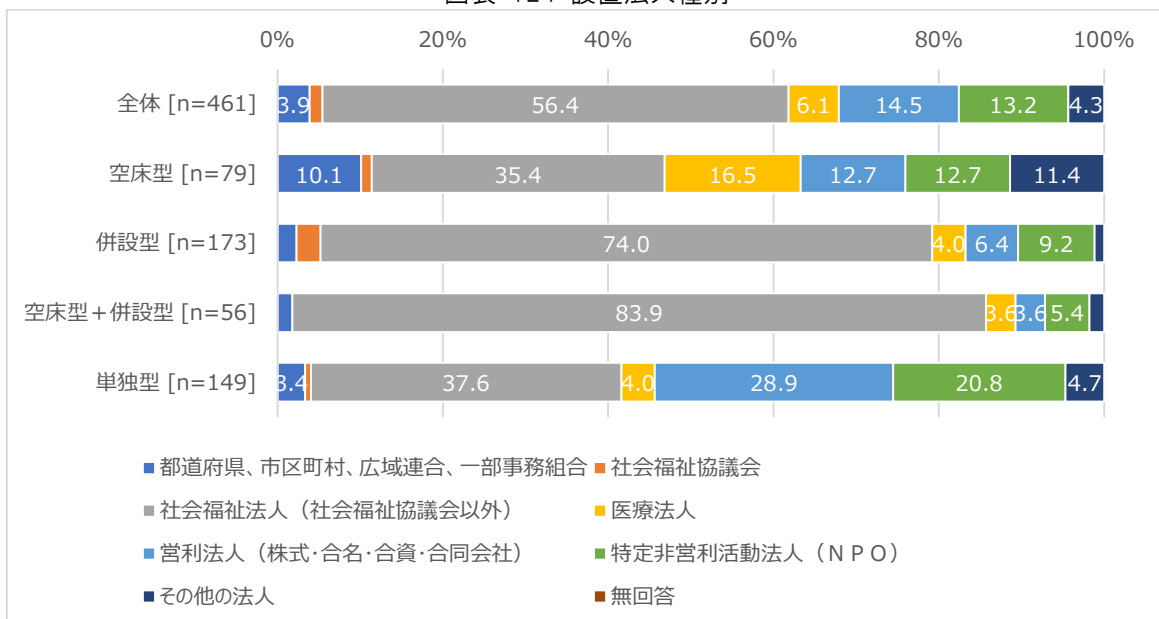
運営法人種別は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が59.0%、「営利法人（株式・合名・合資・合同会社）」が14.8%、「特定非営利活動法人（NPO）」が13.4%等となっている。

図表 123 運営法人種別



設置法人種別も、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が56.4%と多くなっている。

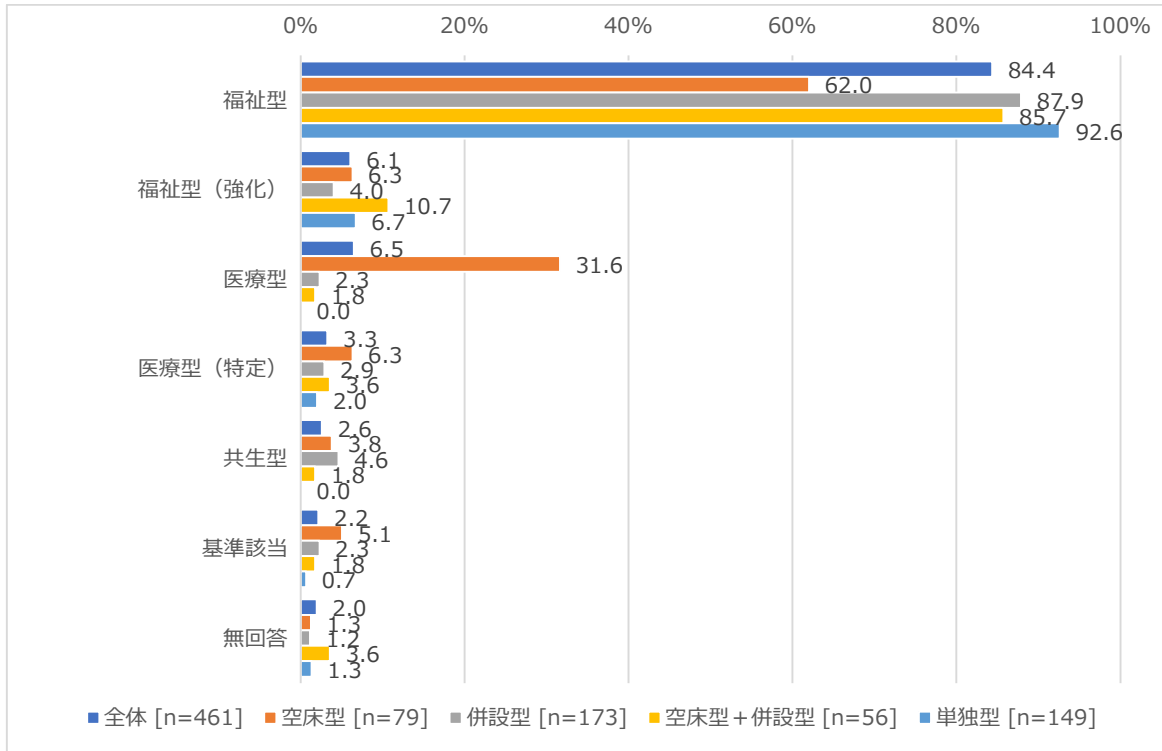
図表 124 設置法人種別



②短期入所の報酬区分

短期入所の報酬区分は、「福祉型」が84.4%と多くなっている。

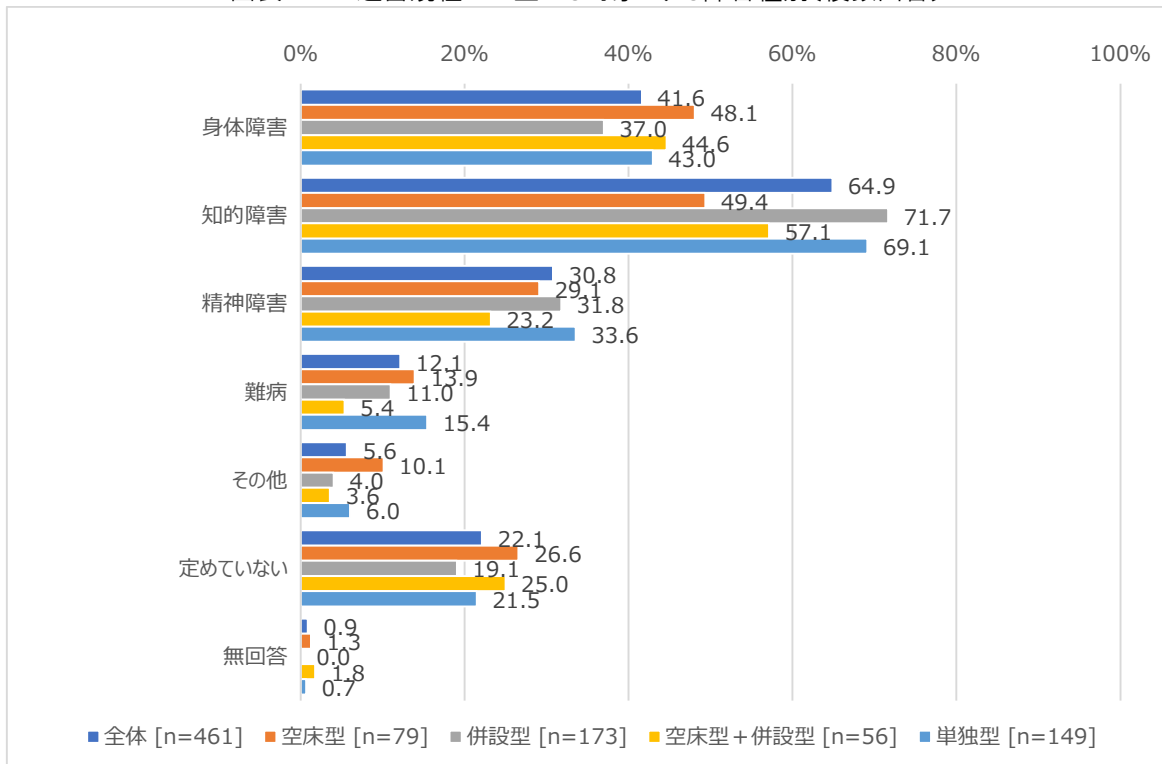
図表 125 短期入所の報酬区分〔複数回答〕



③運営規程上の主たる対象とする障害種別

運営規程上の主たる対象とする障害種別は、「知的障害」が64.9%、「身体障害」が41.6%、「精神障害」が30.8%、「定めていない」が22.1%となっている。

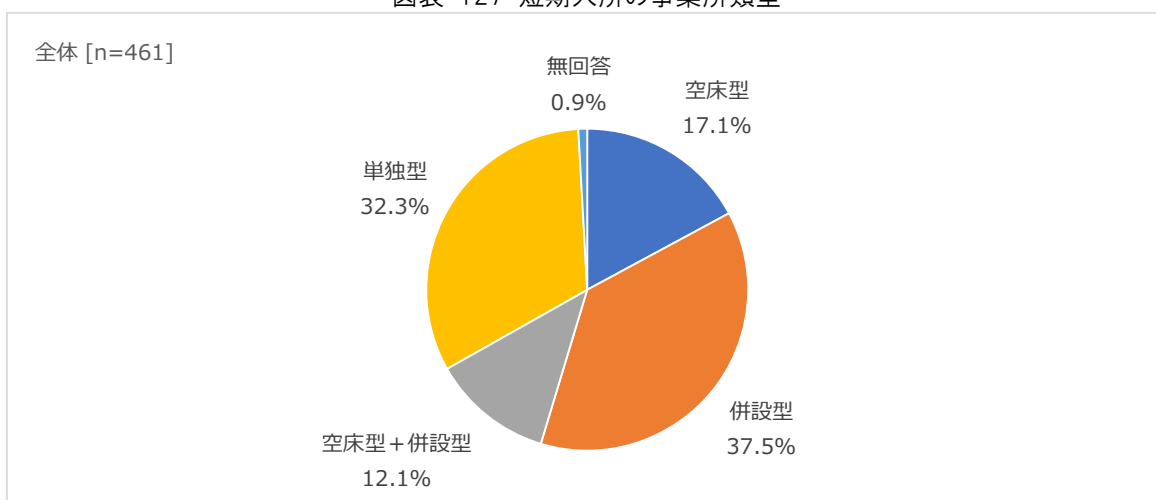
図表 126 運営規程上の主たる対象とする障害種別〔複数回答〕



④短期入所の事業所類型

短期入所の事業所類型は、「併設型」が37.5%、「単独型」が32.3%、「空床型」が17.1%、「空床型＋併設型」が12.1%となっている。

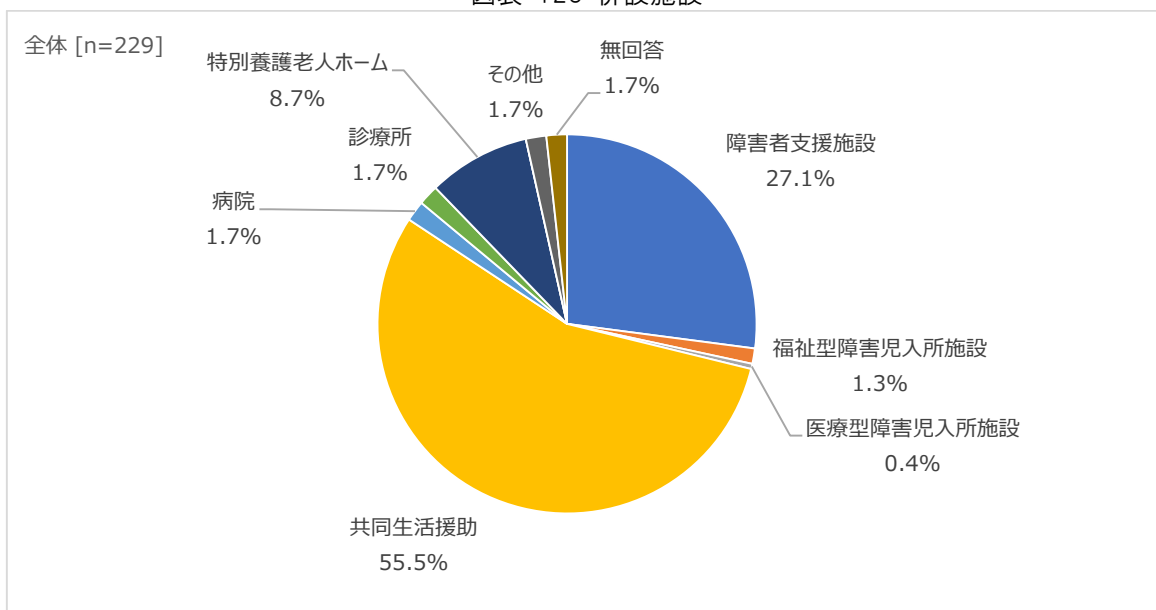
図表 127 短期入所の事業所類型



⑤併設施設

併設施設は、「共同生活援助」が55.5%、「障害者支援施設」が27.1%、「特別養護老人ホーム」が8.7%等となっている。

図表 128 併設施設

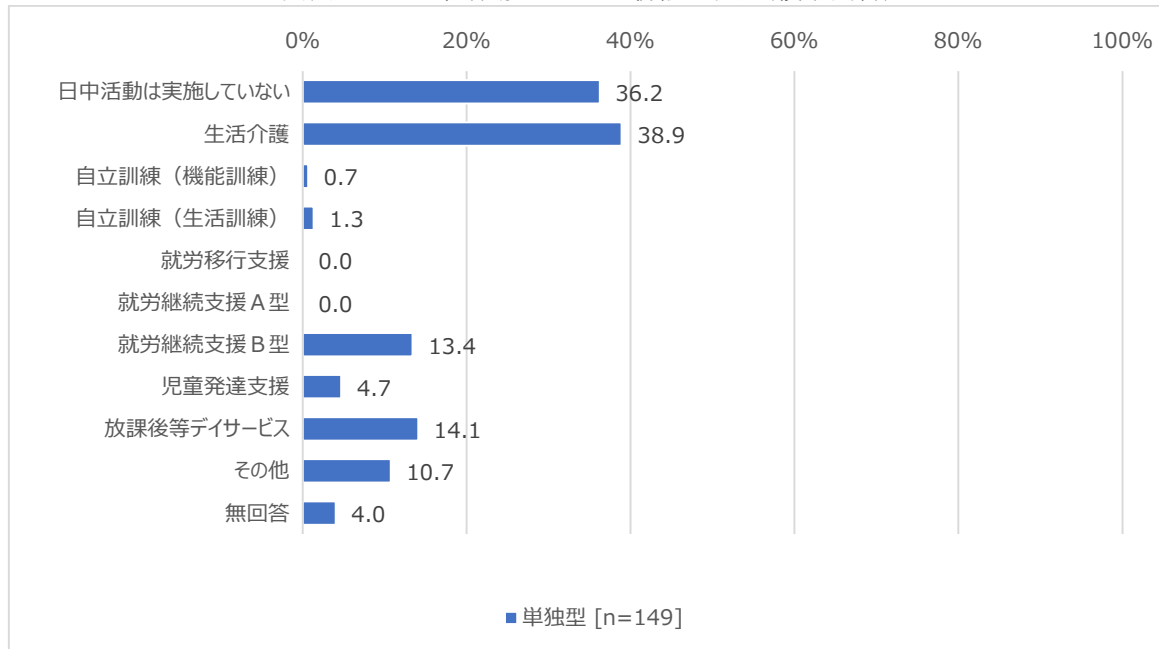


⑥単独型事業所の状況

単独型事業所にサービス提供状況等を聞いた。

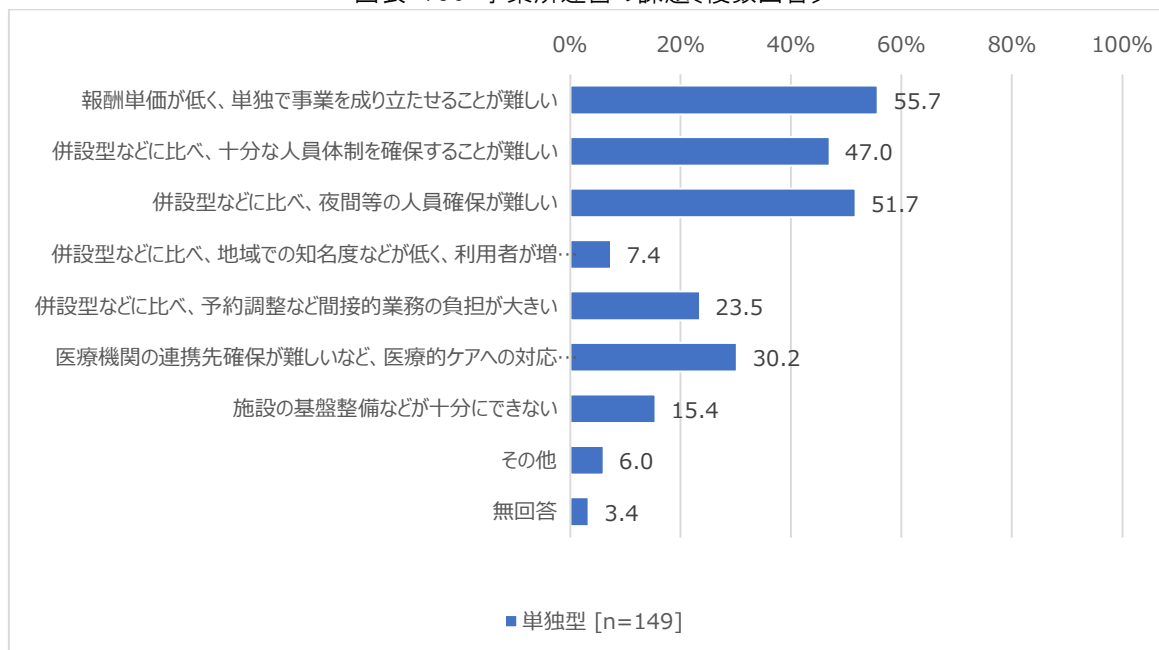
日中活動サービスの併設の状況は、「生活介護」が38.9%と多くなっている。「日中活動は実施していない」は36.2%である。

図表 129 日中活動サービスの併設の状況〔複数回答〕



事業所運営の課題は、「報酬単価が低く、単独で事業を成り立たせることが難しい」が55.7%と多く、次いで、「併設型などに比べ、夜間等の人員確保が難しい」が51.7%、「併設型などに比べ、十分な人員体制を確保することが難しい」が47.0%等となっている。

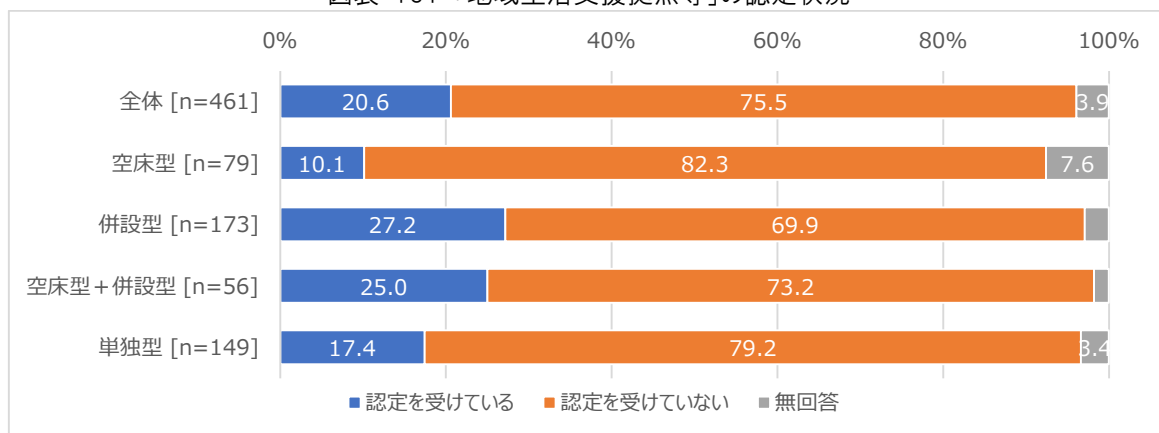
図表 130 事業所運営の課題〔複数回答〕



⑦ 「地域生活支援拠点等」の認定状況

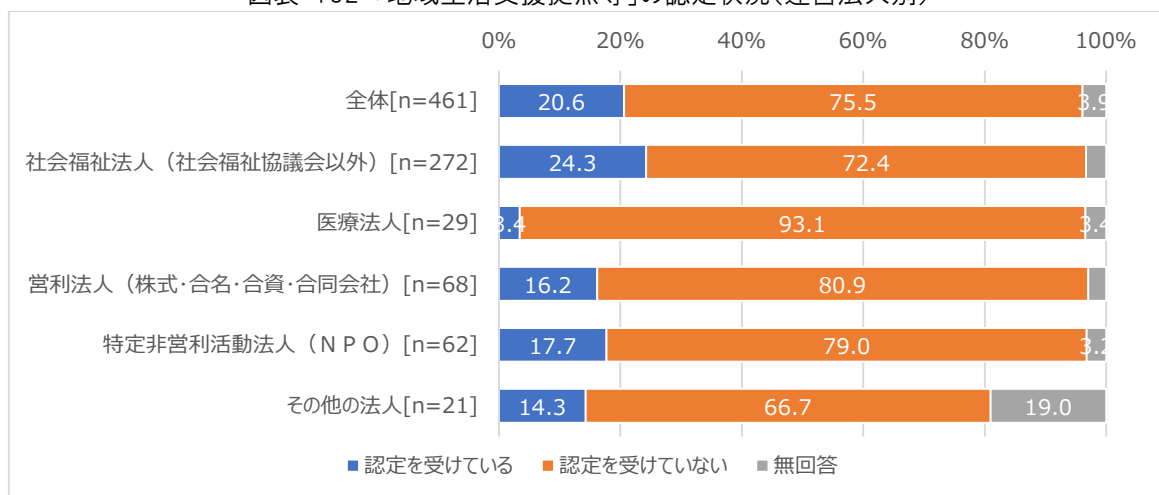
「地域生活支援拠点等」の認定状況は、「認定を受けていない」が75.5%、「認定を受けている」が20.6%となっている。

図表 131 「地域生活支援拠点等」の認定状況



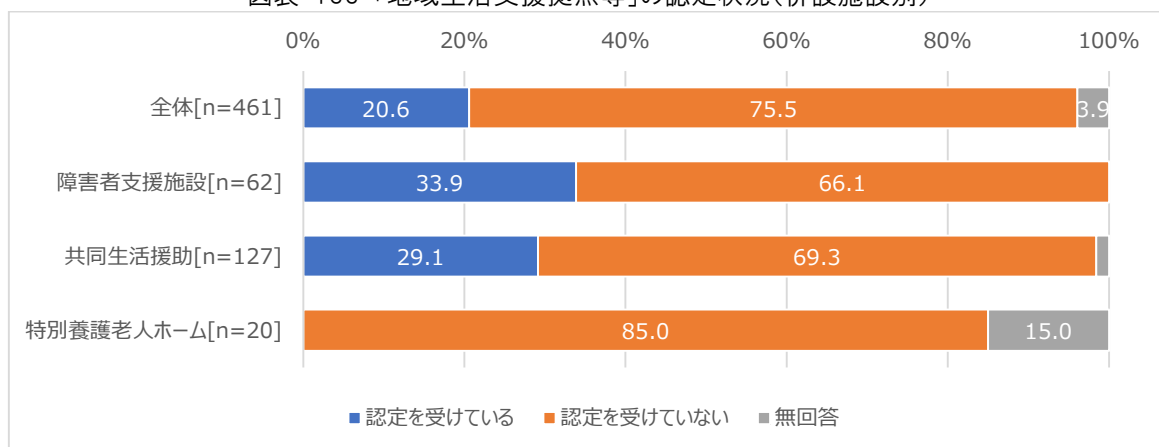
運営法人別で見ると、社会福祉法人の認定が比較的多くなっている。

図表 132 「地域生活支援拠点等」の認定状況(運営法人別)



併設施設の別で見ると、障害者支援施設の認定が比較的多くなっている。

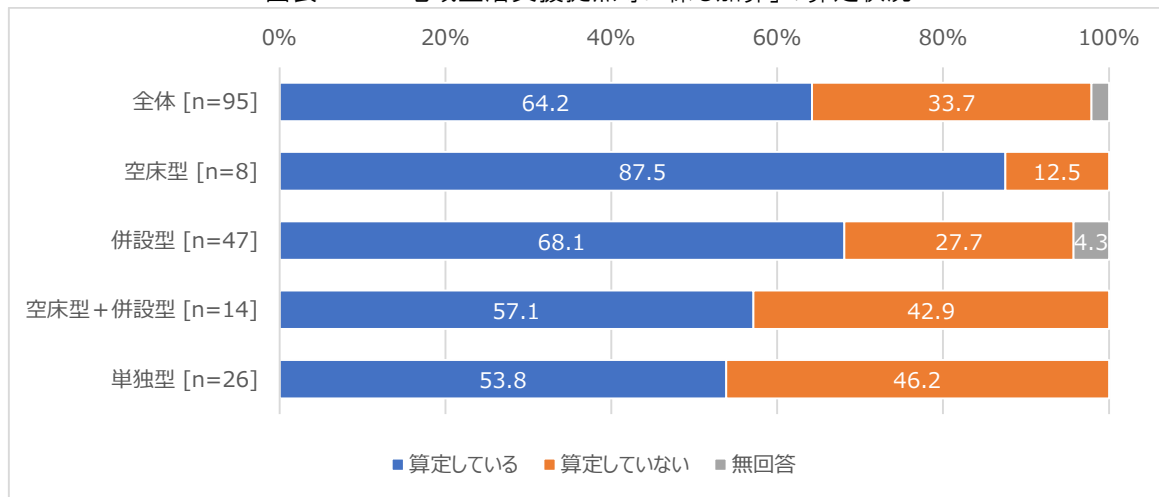
図表 133 「地域生活支援拠点等」の認定状況(併設施設別)



⑧ 「地域生活支援拠点等に係る加算」の算定状況

「地域生活支援拠点等に係る加算」の算定状況は、「算定している」が64.2%、「算定していない」が33.7%となっている。

図表 134 「地域生活支援拠点等に係る加算」の算定状況



(2) サービスの提供状況について

①定員数・居室数

定員数・居室数は、令和4年12月の平均で定員数4.8人、居室数4.2室となっている。

図表 135 定員数・居室数(令和4年12月)

	全体 [n=358]	併設型 [n=171]	空床型+併 設型 [n=38]	単独型 [n=146]
定員数(人)	4.8	3.4	9.2	5.4
別途緊急対応の利用枠(人)	0.2	0.1	0.7	0.2
居室数(室)	4.2	3.2	7.2	4.6
うち、個室数(室)	3.4	2.5	5.6	3.8

図表 136 定員数・居室数(令和3年12月)

	全体 [n=336]	併設型 [n=164]	空床型+併 設型 [n=37]	単独型 [n=133]
定員数(人)	4.8	3.4	9.3	5.3
別途緊急対応の利用枠(人)	0.2	0.0	0.7	0.2
居室数(室)	4.2	3.1	7.3	4.7
うち、個室数(室)	3.4	2.5	5.6	3.9

図表 137 定員数・居室数(令和2年12月)

	全体 [n=310]	併設型 [n=149]	空床型+併 設型 [n=34]	単独型 [n=125]
定員数(人)	4.9	3.5	9.8	5.4
別途緊急対応の利用枠(人)	0.2	0.1	0.7	0.2
居室数(室)	4.3	3.3	7.6	4.7
うち、個室数(室)	3.4	2.5	5.9	3.9

②障害種別の実利用者数

短期入所の令和4年12月の実利用者数は、平均で12.7人となっている。

図表 138 障害種別の実利用者数

(人)	全体 [n=411]	空床型 [n=68]	併設型 [n=154]	空床型+併 設型 [n=50]	単独型 [n=137]
身体障害	3.4	4.7	2.2	2.7	4.3
知的障害	8.6	2.8	5.8	4.4	15.8
精神障害	0.6	0.6	0.3	0.4	1.1
難病等	0.1	0.3	0.0	0.0	0.3
合計	12.7	8.3	8.2	7.6	21.5
(再掲) 発達障害	0.5	0.1	0.1	0.3	1.0
(再掲) 高次脳機能障害	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1

③年齢別・支援区分別実利用者数

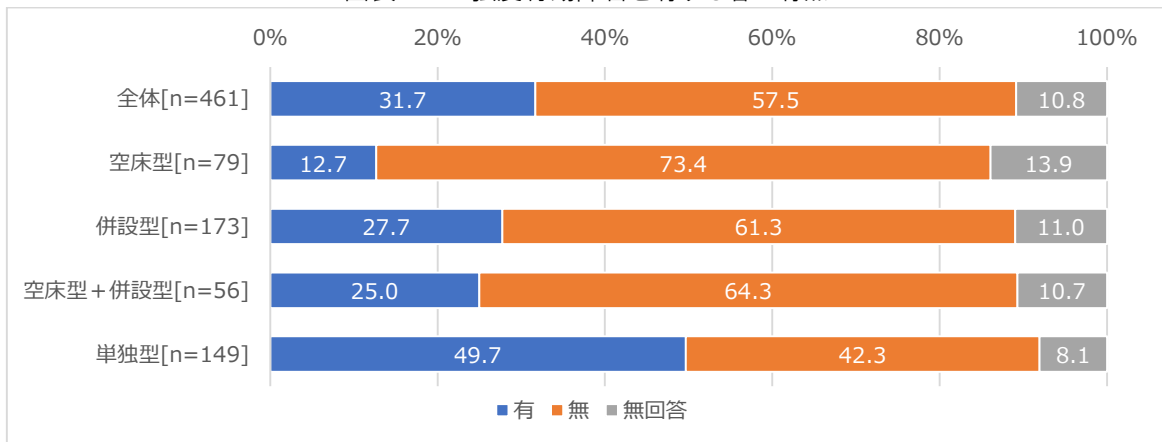
年齢別・支援区分別で実利用者数を見ると、20歳以上35歳未満の区分6等が比較的多くなっている。

図表 139 年齢別・支援区分別実利用者数

全体 [n=411] (人)	18歳未 満	18歳以 上20歳 未満	20歳以 上35歳 未満	35歳以 上50歳 未満	50歳以 上65歳 未満	65歳以 上	合計
区分1利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.1
うち、強度行動障害を有する者	-	-	-	-	-	-	-
うち、重症心身障害者	-	-	-	-	-	-	-
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	-	-	-	-	-
うち、同一法人の通所サービス利用者	0.0	-	0.0	0.0	-	-	0.0
うち、併設事業所の通所サービス利用者	-	-	-	-	-	-	-
区分2利用者	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.7
うち、強度行動障害を有する者	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	-	-	-	-	-	0.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	-	0.0	-	-	0.0
うち、同一法人の通所サービス利用者	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
うち、併設事業所の通所サービス利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分3利用者	0.5	0.1	0.5	0.3	0.2	0.0	1.6
うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.0	0.0	-	-	0.0	0.1
うち、重症心身障害者	0.1	0.0	0.0	-	0.0	-	0.1
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
うち、同一法人の通所サービス利用者	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.4
うち、併設事業所の通所サービス利用者	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分4利用者	0.0	0.1	1.1	0.5	0.2	0.0	2.0
うち、強度行動障害を有する者	-	-	0.1	0.0	0.0	-	0.1
うち、重症心身障害者	0.0	-	0.0	-	-	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0
うち、同一法人の通所サービス利用者	-	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	0.6
うち、併設事業所の通所サービス利用者	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	-	0.2
区分5利用者	0.1	0.1	1.2	0.7	0.2	0.0	2.3
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	-	0.3
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.1
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
うち、同一法人の通所サービス利用者	-	0.0	0.4	0.3	0.0	0.0	0.8
うち、併設事業所の通所サービス利用者	-	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
区分6利用者	0.2	0.1	1.7	1.1	0.4	0.1	3.8
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.5	0.4	0.1	-	1.0
うち、重症心身障害者	0.2	0.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.9
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
うち、同一法人の通所サービス利用者	-	0.0	0.6	0.4	0.1	0.0	1.1
うち、併設事業所の通所サービス利用者	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	-	0.4
障害児・非該当・その他_利用者	1.2	0.1	0.0	0.0	-	0.0	1.3
うち、強度行動障害を有する者	0.1	-	0.0	-	-	-	0.1
うち、重症心身障害者	0.6	0.0	0.0	0.0	-	-	0.6
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	-	-	-	-	-	0.0
うち、同一法人の通所サービス利用者	0.2	-	0.0	0.0	-	-	0.2
うち、併設事業所の通所サービス利用者	0.1	0.0	0.0	-	-	-	0.1
合計	2.1	0.5	4.8	2.9	1.2	0.2	11.7

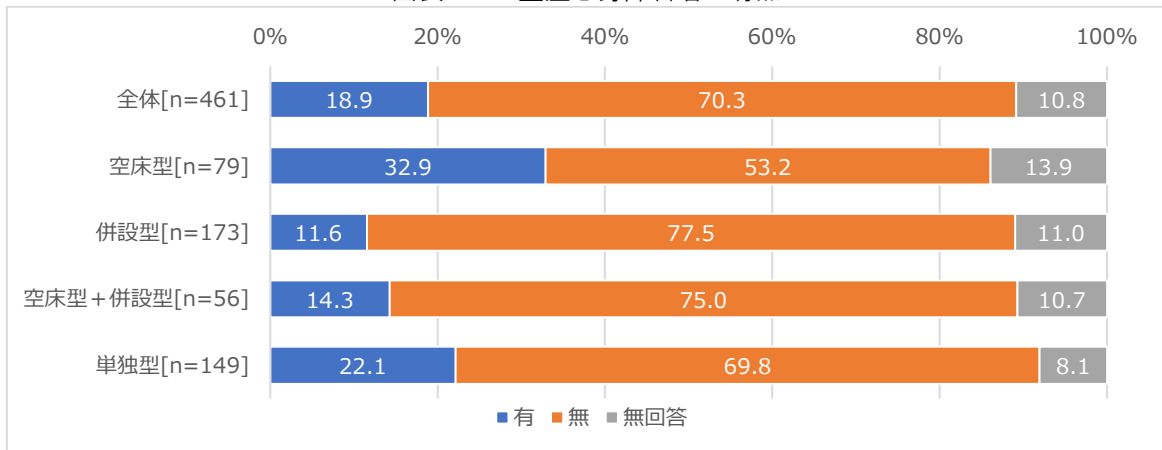
強度行動障害を有する利用者の有無を見ると、強度行動障害を有する利用者がある事業所は31.7%となっている。

図表 140 強度行動障害を有する者の有無



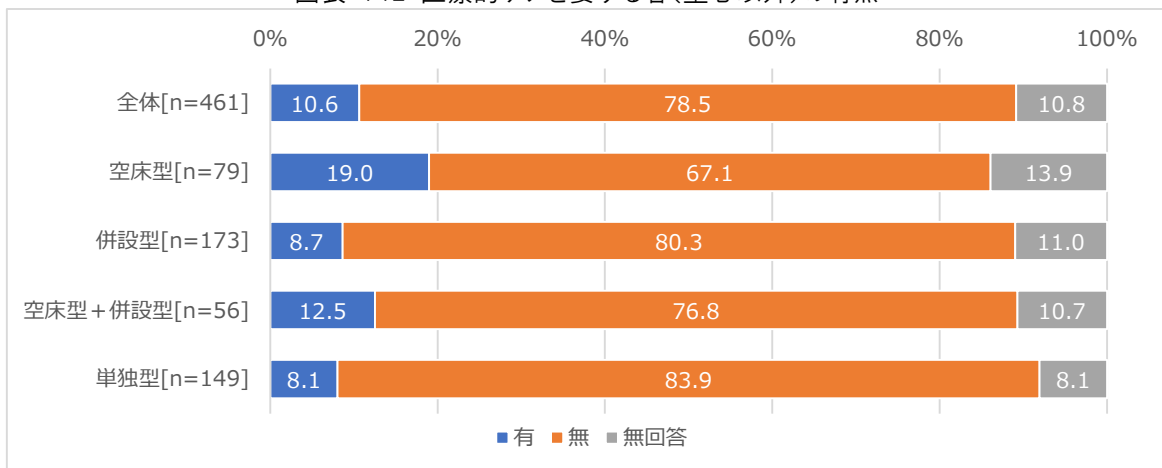
重症心身障害者の有無を見ると、重症心身障害者の利用者のある事業所は18.9%となっている。

図表 141 重症心身障害者の有無



医療的ケアを要する利用者（重心以外）の有無を見ると、医療的ケアを要する利用者（重心以外）のある事業所は10.6%となっている。

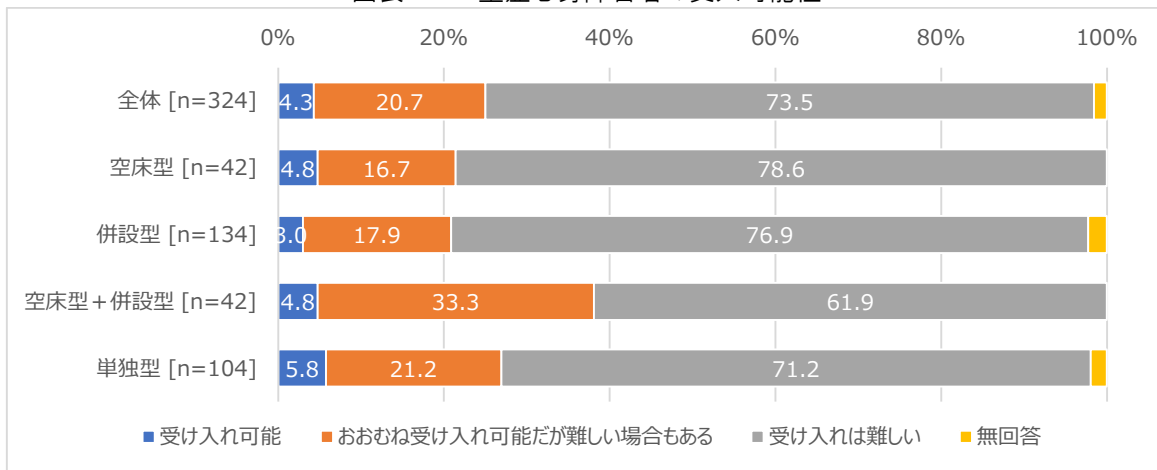
図表 142 医療的ケアを要する者(重心以外)の有無



④重症心身障害者の受入可能性

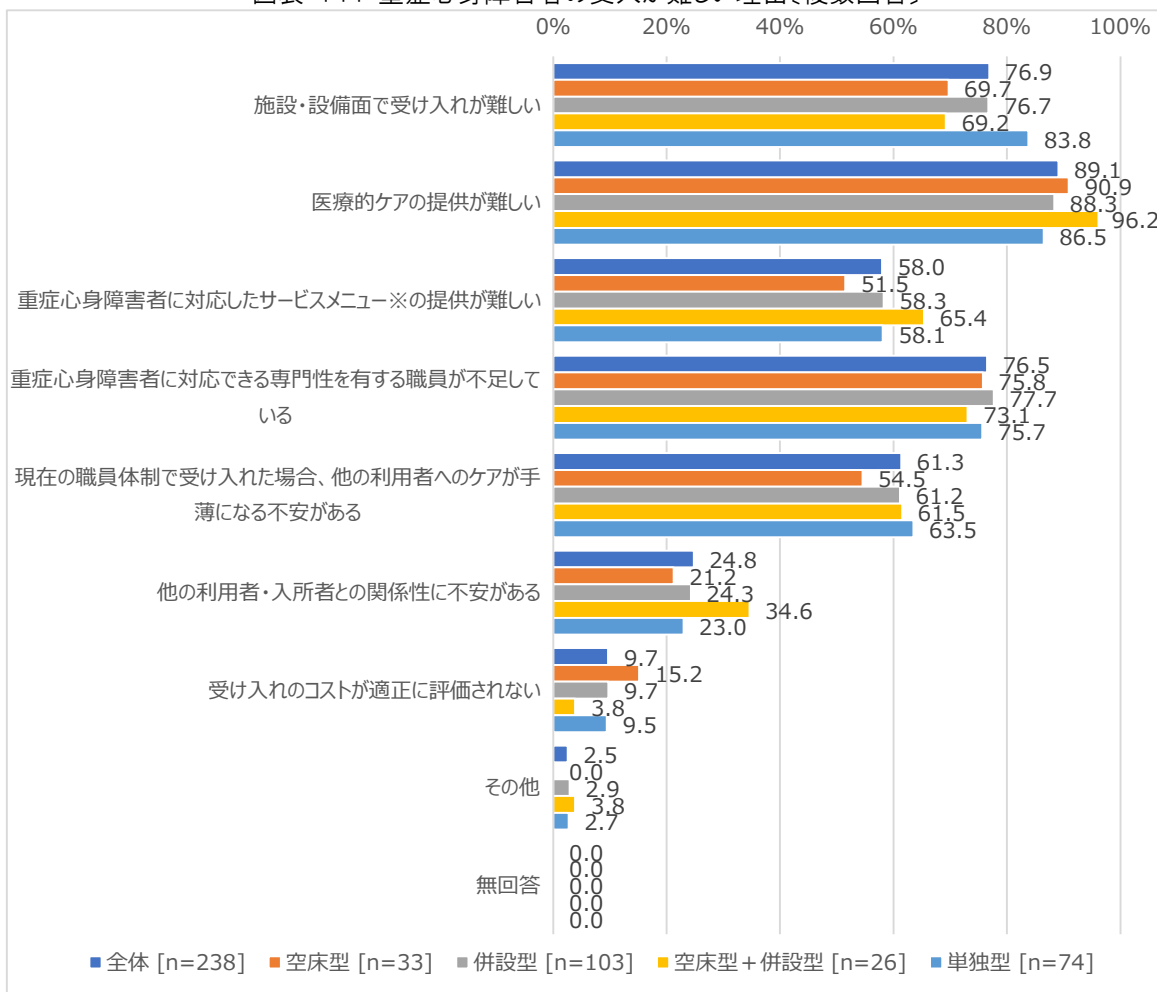
重症心身障害者の利用者のいない事業所に、重症心身障害者の受入可能性について聞いたところ、「受け入れは難しい」が73.5%、「おおむね受け入れ可能だが難しい場合もある」が20.7%、「受け入れ可能」が4.3%となっている。

図表 143 重症心身障害者の受入可能性



重症心身障害者の受入が難しい事業所に、その理由を聞いたところ、「医療的ケアの提供が難しい」が89.1%、「施設・設備面で受け入れが難しい」が76.9%、「重症心身障害者に対応できる専門性を有する職員が不足している」が76.5%等となっている。

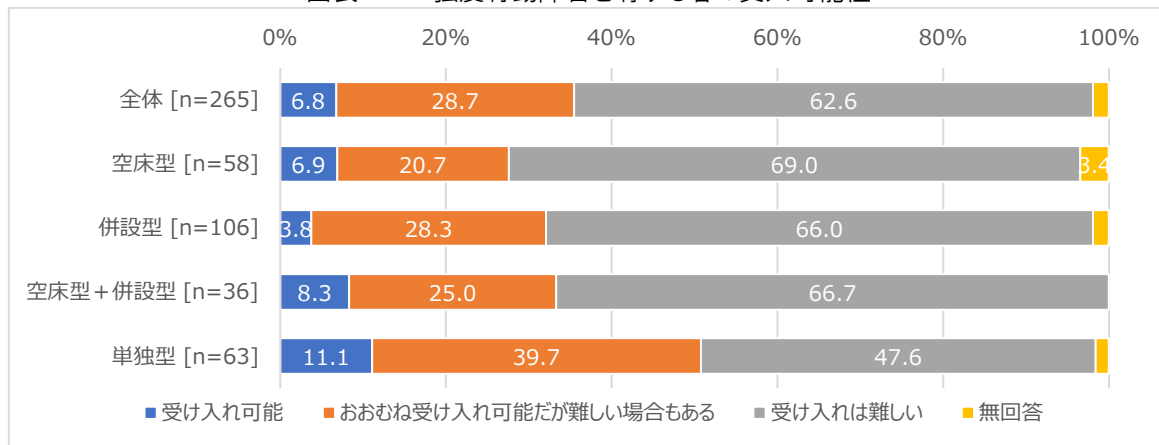
図表 144 重症心身障害者の受入が難しい理由〔複数回答〕



⑤強度行動障害を有する者の受入可能性

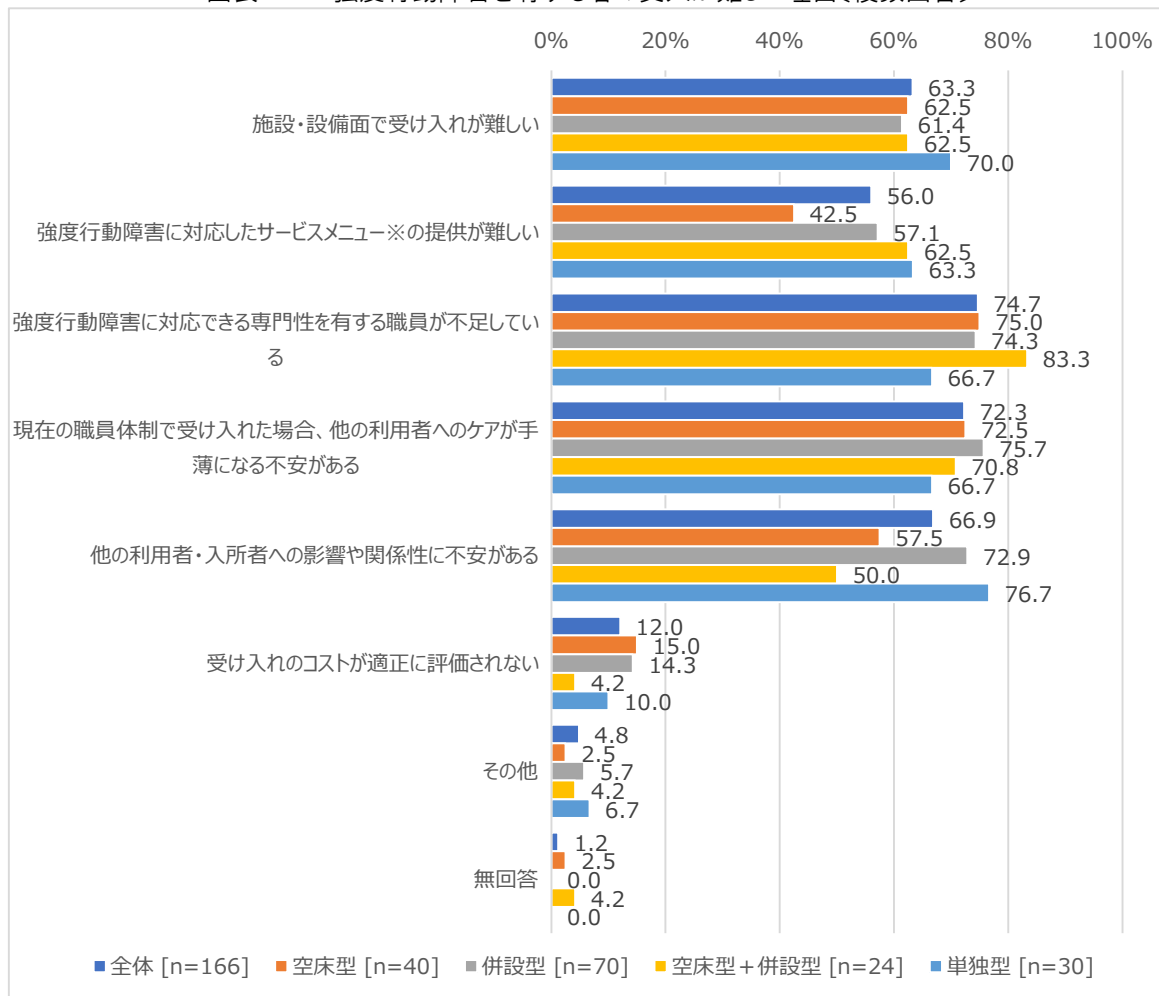
強度行動障害を有する利用者がいない事業所に、強度行動障害を有する者の受入可能性について聞いたところ、「受け入れは難しい」が62.6%、「おおむね受け入れ可能だが難しい場合もある」が28.7%、「受け入れ可能」が6.8%となっている。

図表 145 強度行動障害を有する者の受入可能性



強度行動障害を有する者の受入が難しい事業所に、その理由を聞いたところ、「強度行動障害に対応できる専門性を有する職員が不足している」が74.7%、「現在の職員体制で受け入れた場合、他の利用者へのケアが手薄になる不安がある」が72.3%等となっている。

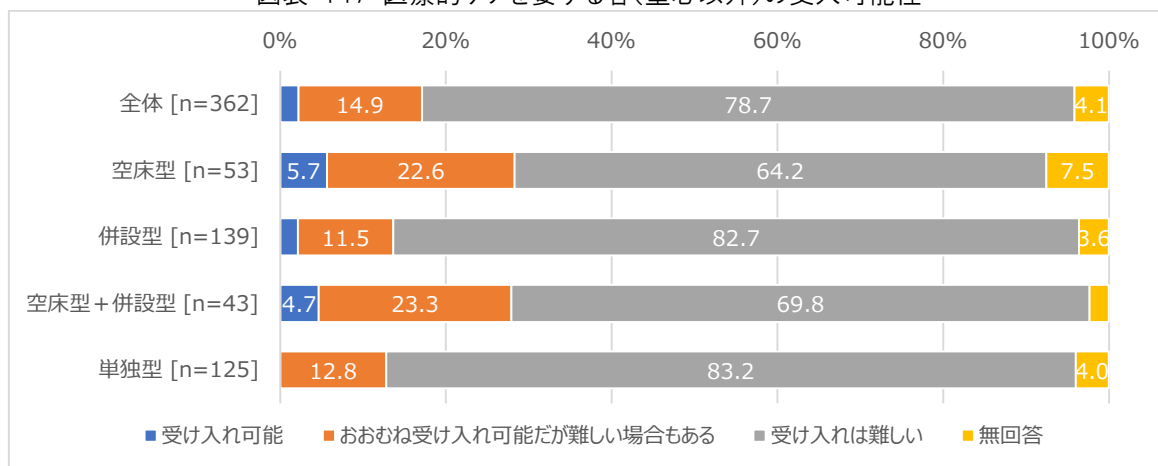
図表 146 強度行動障害を有する者の受入が難しい理由〔複数回答〕



⑥医療的ケアを要する者（重心以外）の受入可能性

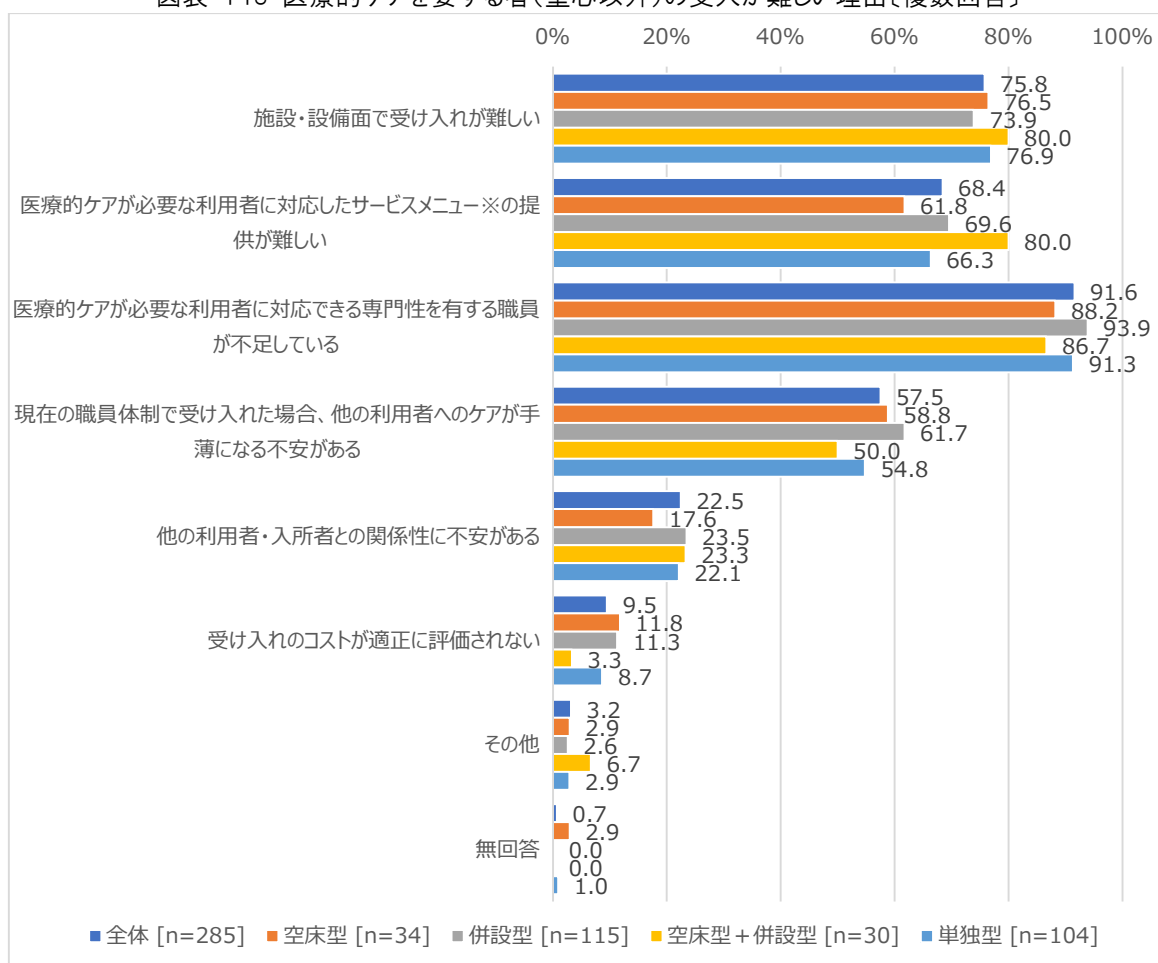
医療的ケアを要する利用者（重心以外）のいない事業所に、医療的ケアを要する者（重心以外）の受入可能性について聞いたところ、は、「受け入れは難しい」が78.7%、「おおむね受け入れ可能だが難しい場合もある」が14.9%となっている。

図表 147 医療的ケアを要する者(重心以外)の受入可能性



医療的ケアを要する者（重心以外）の受入が難しい事業所に、その理由を聞いたところ、「医療的ケアが必要な利用者に対応できる専門性を有する職員が不足している」が91.6%、「施設・設備面で受け入れが難しい」が75.8%等となっている。

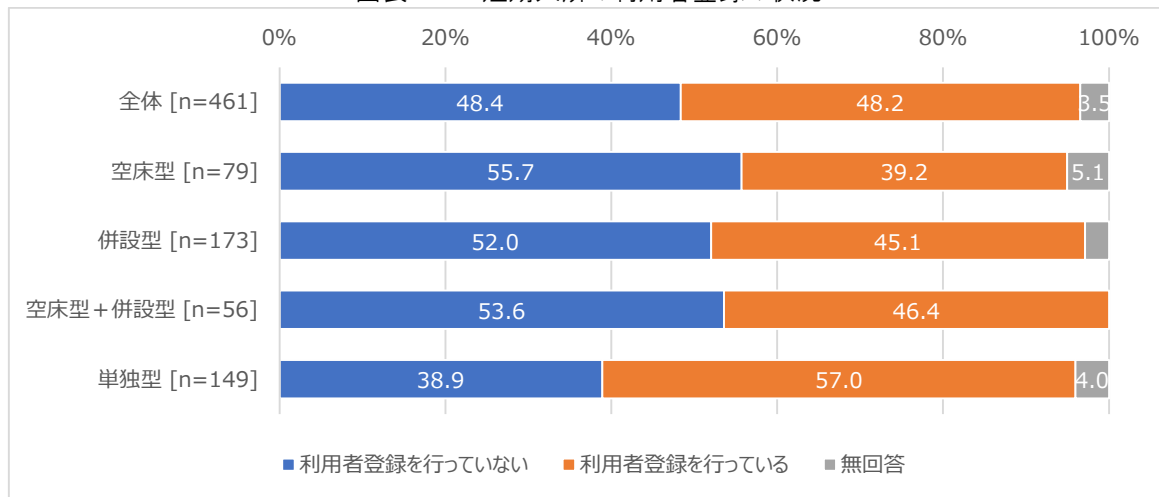
図表 148 医療的ケアを要する者(重心以外)の受入が難しい理由[複数回答]



⑦短期入所の利用者登録の状況

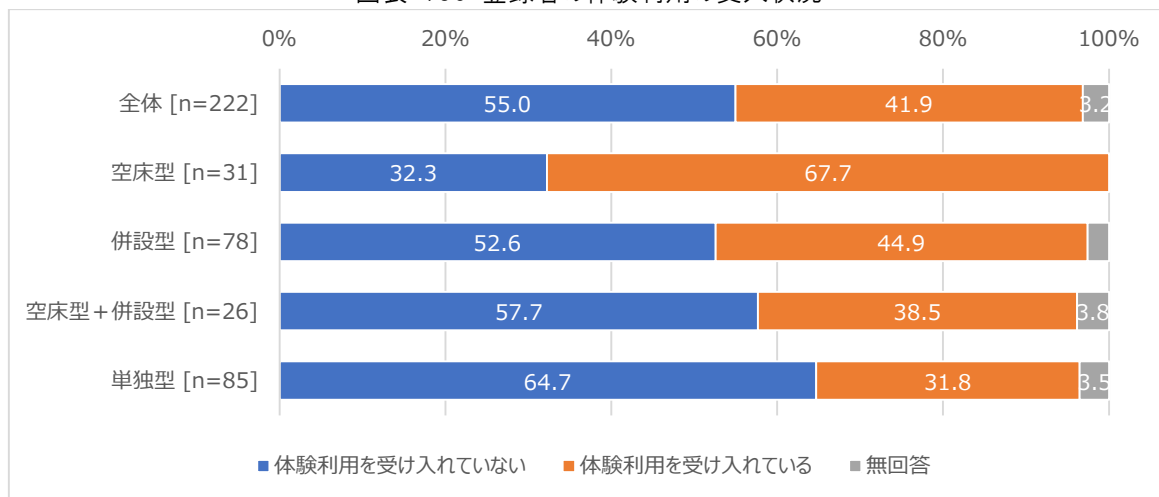
短期入所の利用者登録の状況は、「利用者登録を行っていない」が48.4%、「利用者登録を行っている」が48.2%となっている。利用者登録を行っている事業所の令和4年12月末時点の登録者数は、平均で32.9人となっている。

図表 149 短期入所の利用者登録の状況



利用者登録を行っている事業所に、登録者の体験利用の受入状況を聞いたところ、「体験利用を受け入れていない」が55.0%、「体験利用を受け入れている」が41.9%となっている。体験利用を受け入れている事業所の、令和4年7月～令和4年12月の半年間の体験利用者数（実利用者数）は、平均で3.0人となっている。

図表 150 登録者の体験利用の受入状況



⑧一週間における1日あたりの利用者数

12月1日(木)～12月7日(水)の一週間における1日あたりの利用者数を聞いたところ、日曜日の利用者数が比較的少なくなっている。

図表 151 一週間における1日あたりの利用者数

(人)	全体 [n=366]	空床型 [n=51]	併設型 [n=140]	空床型+ 併設型 [n=44]	単独型 [n=129]
12月1日(木)	1.8	1.4	1.3	1.7	2.7
12月2日(金)	2.1	1.6	1.4	2.2	3.0
12月3日(土)	1.9	1.6	1.4	2.1	2.5
12月4日(日)	1.4	1.2	1.1	2.0	1.7
12月5日(月)	1.9	1.7	1.5	2.0	2.5
12月6日(火)	2.0	1.7	1.5	2.0	2.7
12月7日(水)	2.1	1.9	1.4	2.0	3.0

⑨1年間における各月の延べ利用者数

1年間における各月の延べ利用者数は以下のようにになっている。

図表 152 1年間における各月の延べ利用者数

(人)	全体 [n=442]	空床型 [n=73]	併設型 [n=168]	空床型+ 併設型 [n=56]	単独型 [n=142]
1月	37.1	27.7	24.2	36.1	57.6
2月	31.3	23.9	20.3	26.6	50.1
3月	37.5	28.2	24.5	36.2	58.4
4月	38.9	28.9	25.9	35.6	60.8
5月	40.6	30.5	25.5	41.8	63.4
6月	43.1	31.3	28.9	42.5	66.3
7月	41.9	31.1	27.9	41.5	64.3
8月	35.6	24.8	24.0	30.7	57.1
9月	38.9	27.4	25.4	34.6	62.7
10月	43.6	30.9	29.4	41.7	67.7
11月	42.2	29.4	28.2	39.7	66.7
12月	39.7	28.4	26.3	33.4	64.0

⑩入浴サービスの提供延べ回数

令和4年12月の入浴サービスの提供延べ回数は、平均で29.4回となっている。また、利用者1人あたりの平均回数は3.8回となっている。

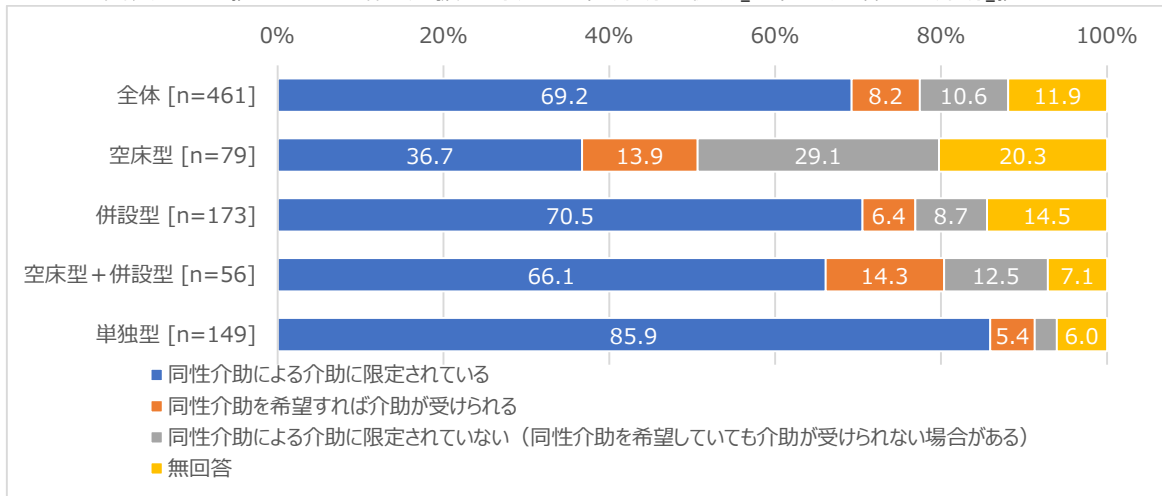
図表 153 入浴サービスの提供延べ回数

	全体 [n=460]	空床型 [n=79]	併設型 [n=172]	空床型+ 併設型 [n=56]	単独型 [n=149]
提供延べ回数(回)	29.4	14.2	21.2	26.6	48.3
利用者1人あたり提供延べ回数(回/人)	3.8	3.3	4.5	4.0	3.2

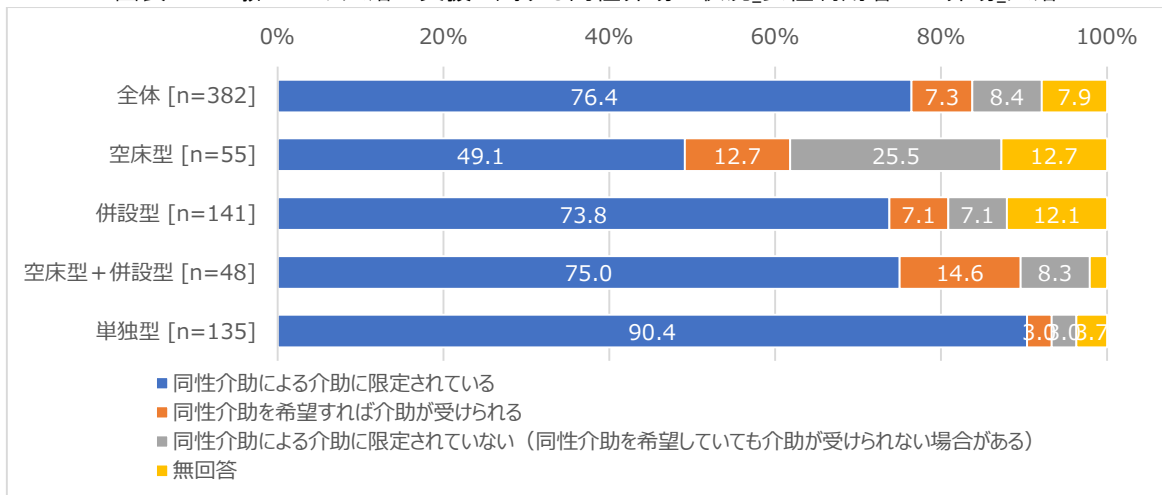
①排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況

排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況を聞いたところ、女性利用者への介助における「同性介助による介助に限定されている」が比較的多くなっている。

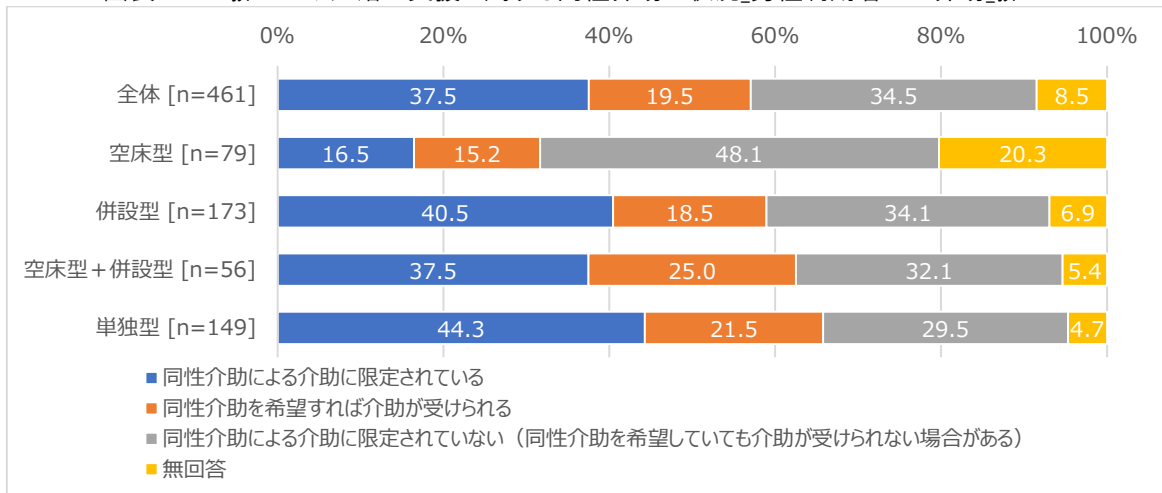
図表 154 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_女性利用者への介助_排せつ



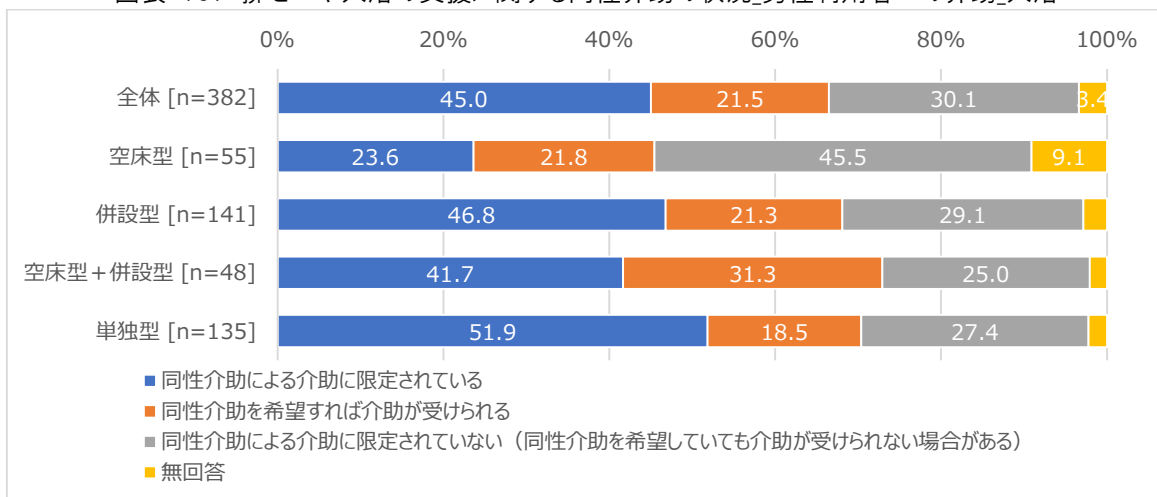
図表 155 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_女性利用者への介助_入浴



図表 156 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_男性利用者への介助_排せつ



図表 157 排せつや入浴の支援に関する同性介助の状況_男性利用者への介助_入浴



⑫短期入所の長期利用者の状況

短期入所の長期利用者の状況について聞いた。長期利用者に該当する者について、全体で132人分の回答があり、回答のあった事業所の利用者全体の2.5%に相当する。

図表 158 短期入所の長期利用者の回答数・利用者全体に対する割合

	全体 [n=411]	空床型 [n=68]	併設型 [n=154]	空床型+併設型 [n=50]	単独型 [n=137]
長期利用者に該当する者の人数（人）	132	6	54	19	53
利用者全体に対する割合	2.5%	1.1%	4.3%	5.0%	1.8%

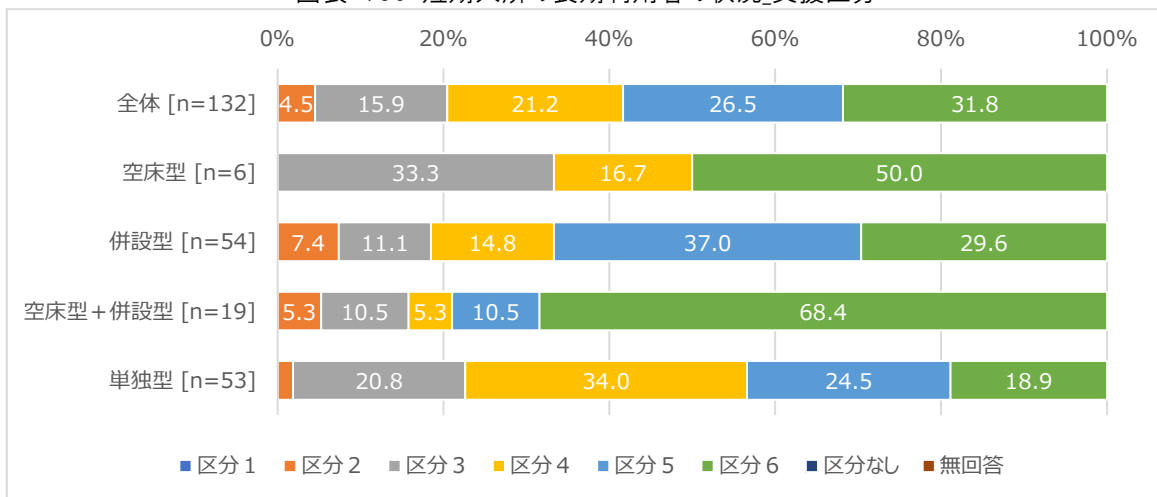
以下、長期利用者の個々の状況を見る。該当者の年齢は、平均で42.8歳となっている。

図表 159 短期入所の長期利用者の状況_年齢

	全体 [n=132]	空床型 [n=6]	併設型 [n=54]	空床型+併設型 [n=19]	単独型 [n=53]
平均年齢（歳）	42.8	42.8	40.7	42.5	45.1

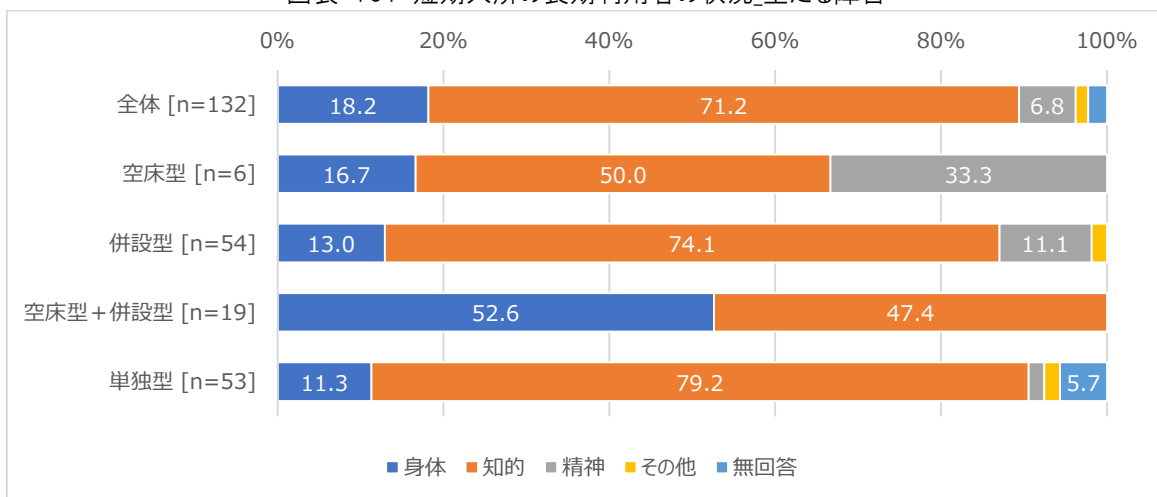
支援区分は、「区分6」が31.8%、「区分5」が26.5%、「区分4」が21.2%等となっている。

図表 160 短期入所の長期利用者の状況_支援区分



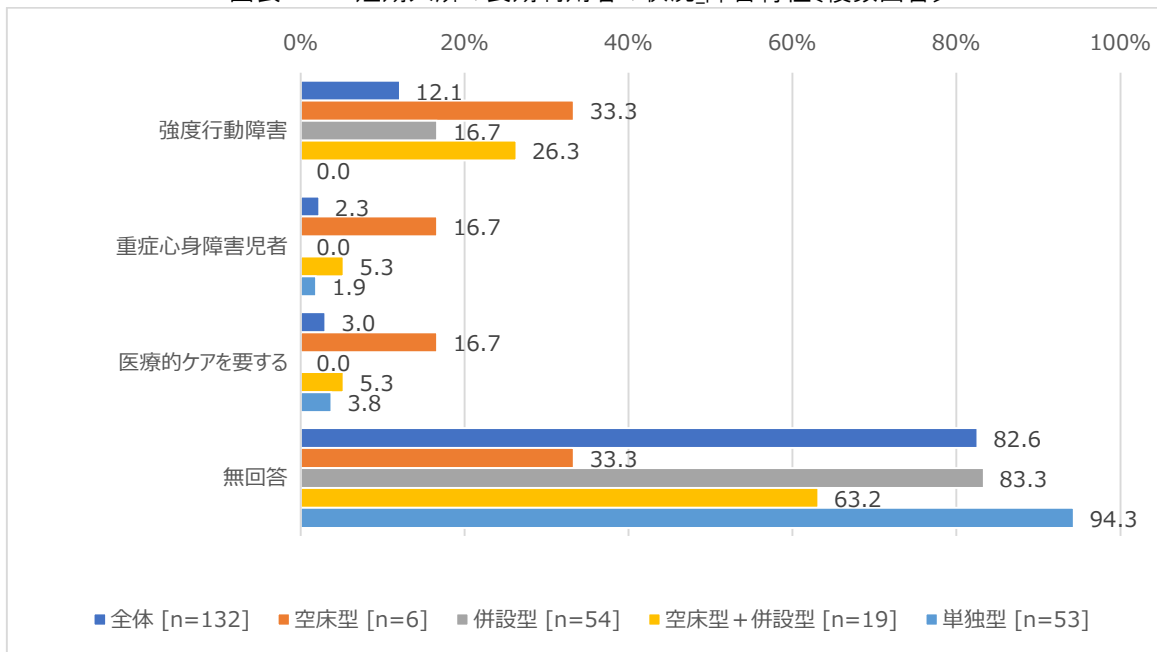
主たる障害は、「知的」が71.2%と多くなっている。

図表 161 短期入所の長期利用者の状況_主たる障害



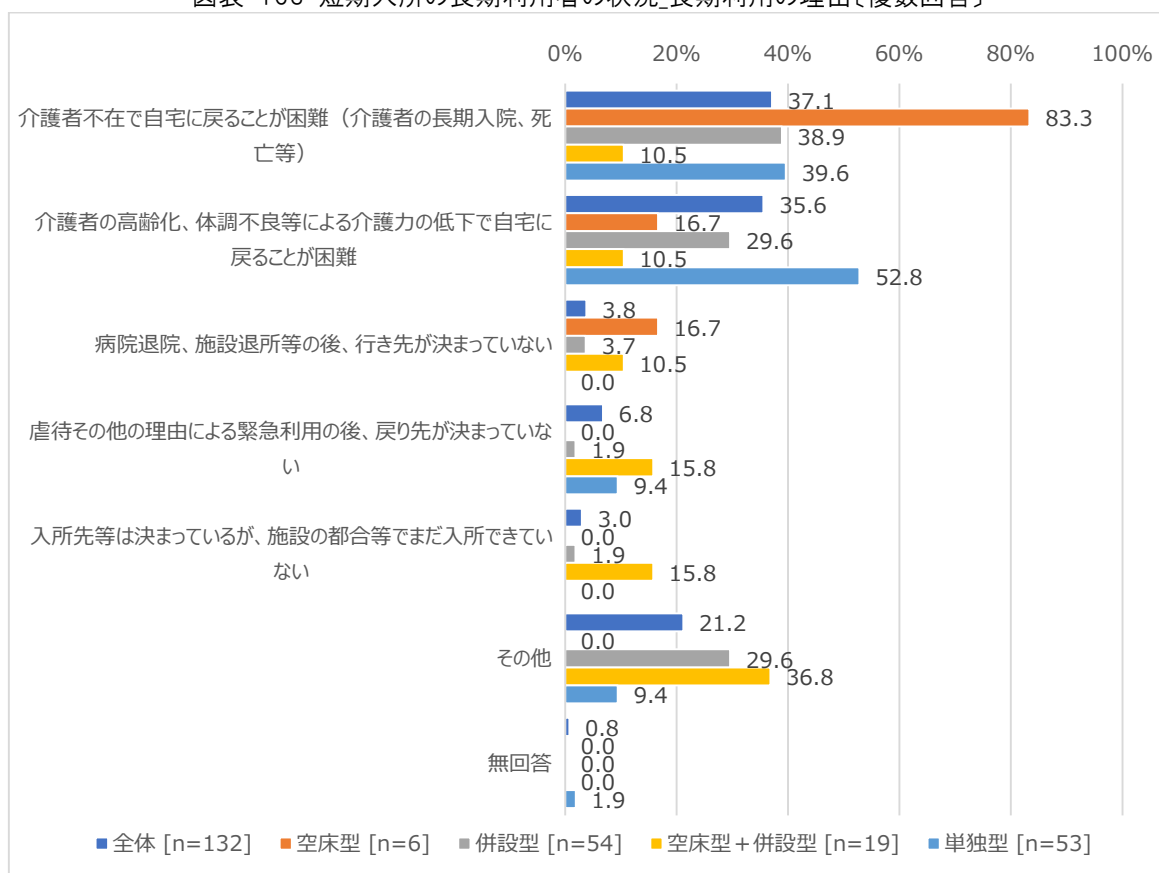
該当者の障害特性としては、「強度行動障害」が12.1%見られる。

図表 162 短期入所の長期利用者の状況_障害特性〔複数回答〕



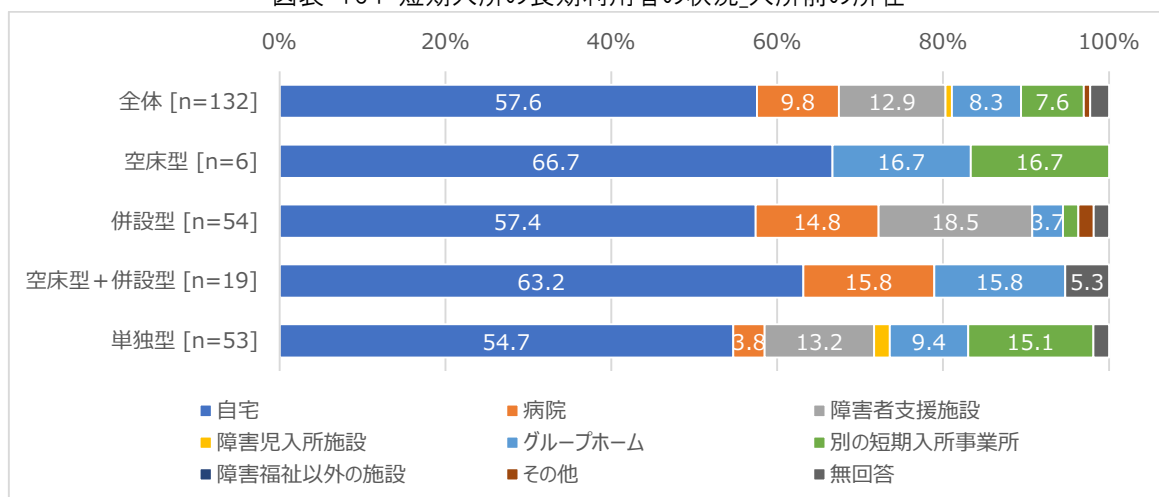
長期利用の理由を聞いたところ、「介護者不在で自宅に戻ることが困難（介護者の長期入院、死亡等）」が37.1%、「介護者の高齢化、体調不良等による介護力の低下で自宅に戻ることが困難」が35.6%等となっている。

図表 163 短期入所の長期利用者の状況_長期利用の理由〔複数回答〕



入所前の所在は、「自宅」が57.6%と多くなっている。

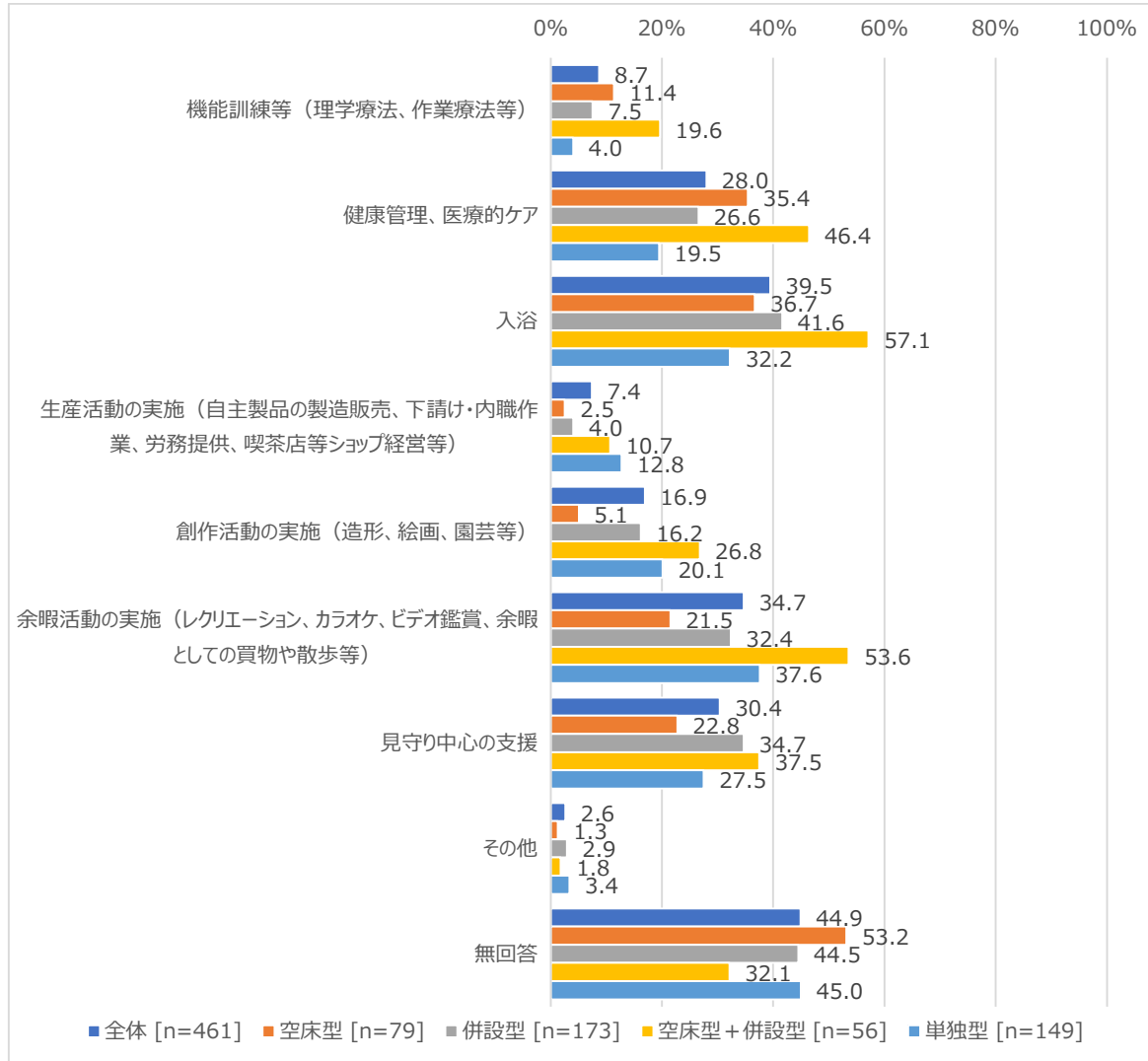
図表 164 短期入所の長期利用者の状況_入所前の所在



⑬日中活動サービスで利用者に提供しているサービス

日中活動サービスで利用者に提供しているサービスを聞いたところ、「入浴」が39.5%、「余暇活動の実施（レクリエーション、カラオケ、ビデオ鑑賞、余暇としての買物や散歩等）」が34.7%、「見守り中心の支援」が30.4%等となっている。

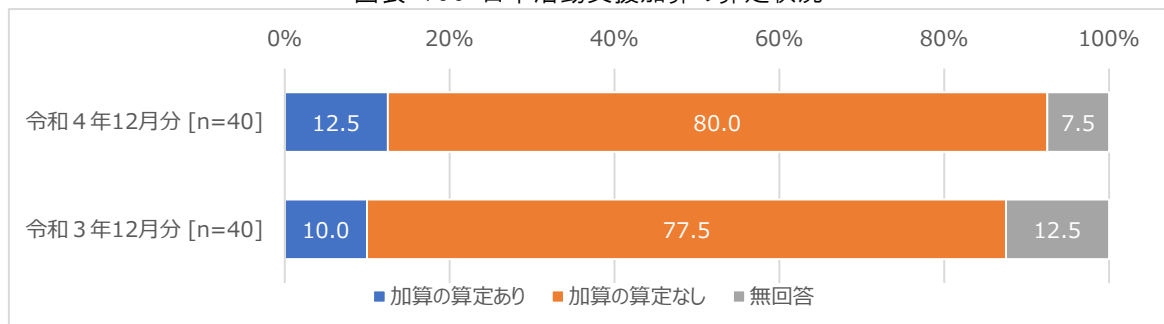
図表 165 日中活動サービスで利用者に提供しているサービス〔複数回答〕



⑭日中活動支援加算の算定状況

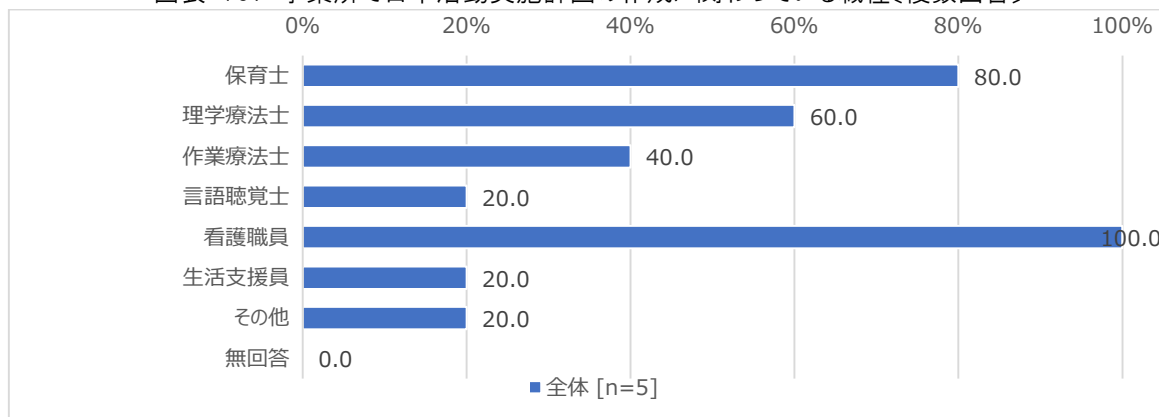
日中活動支援加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が80.0%となっている。令和3年12月分は、「加算の算定なし」が77.5%となっている。

図表 166 日中活動支援加算の算定状況



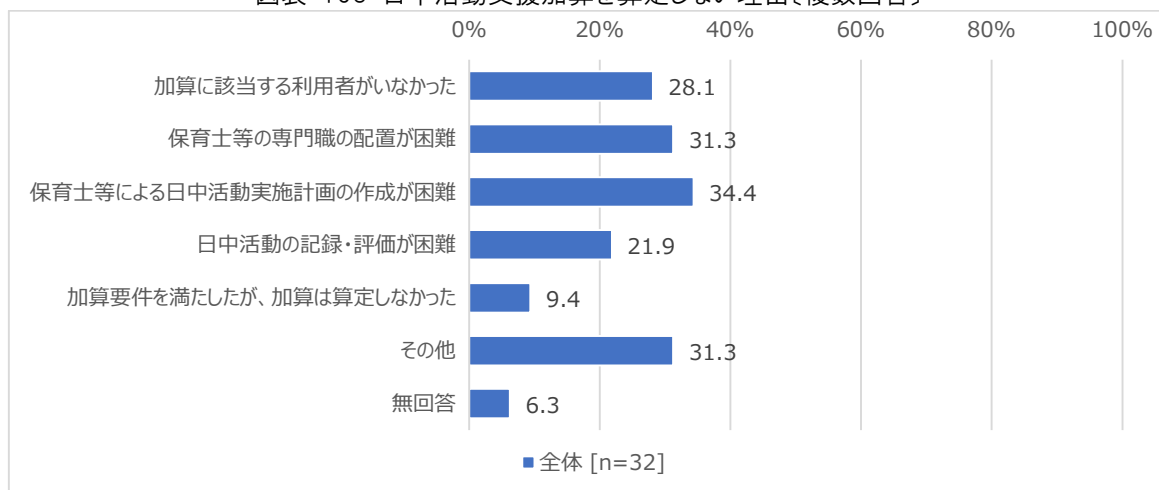
加算を算定している事業所に、事業所で日中活動実施計画の作成に関わっている職種を聞いたところ、「看護職員」が100.0%、「保育士」が80.0%等となっている。

図表 167 事業所で日中活動実施計画の作成に関わっている職種〔複数回答〕



加算を算定していない事業所に、その理由を聞いたところ、「保育士等による日中活動実施計画の作成が困難」が34.4%、「保育士等の専門職の配置が困難」が31.3%等となっている。

図表 168 日中活動支援加算を算定しない理由〔複数回答〕

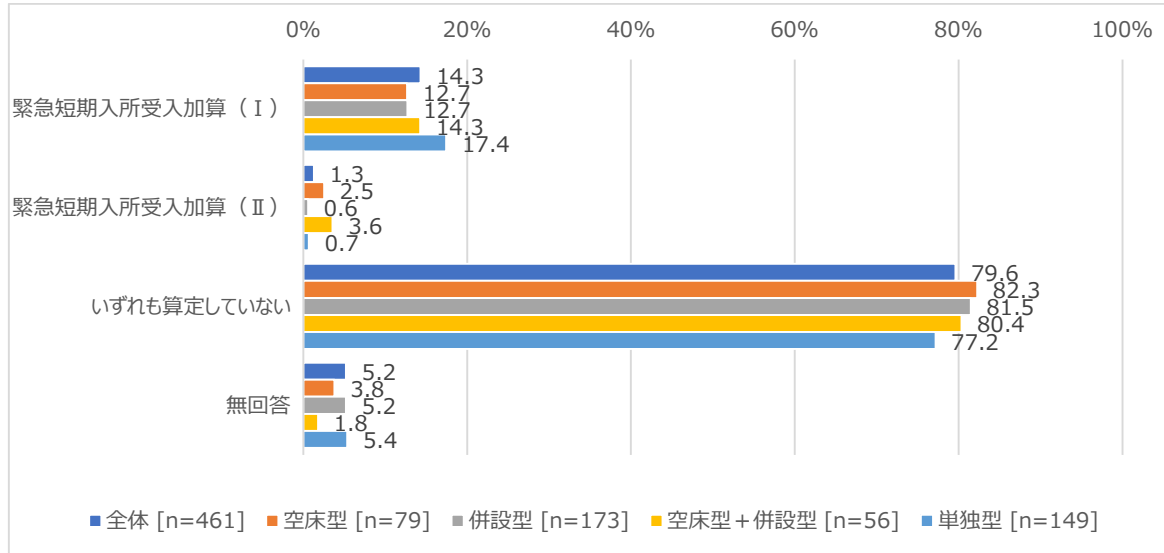


(3) 緊急利用の状況について

①緊急短期入所受入加算の算定状況

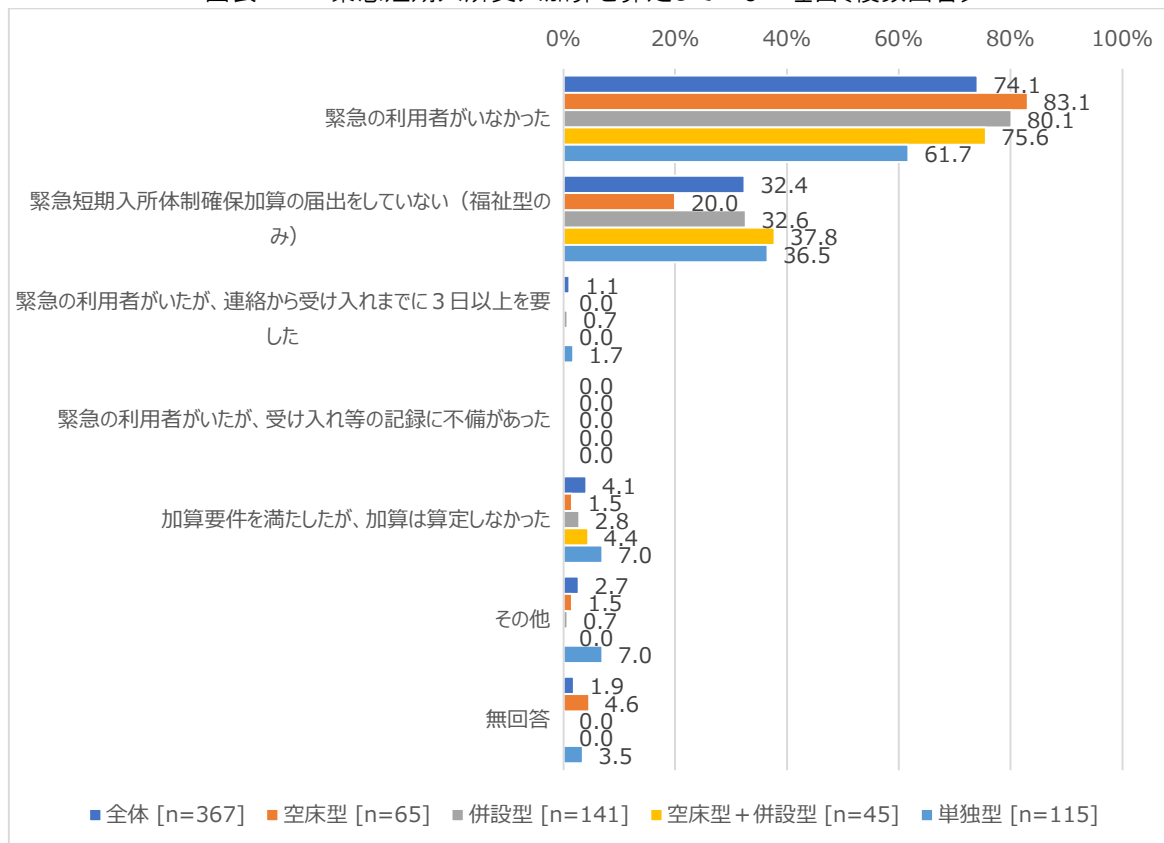
緊急短期入所受入加算の算定状況は、「いずれも算定していない」が79.6%と多くなっている。

図表 169 緊急短期入所受入加算の算定状況〔複数回答〕



緊急短期入所受入加算を算定していない事業所に、その理由を聞いたところ、「緊急の利用者がいなかった」が74.1%と多く、次いで、「緊急短期入所体制確保加算の届出をしていない（福祉型のみ）」が32.4%となっている。

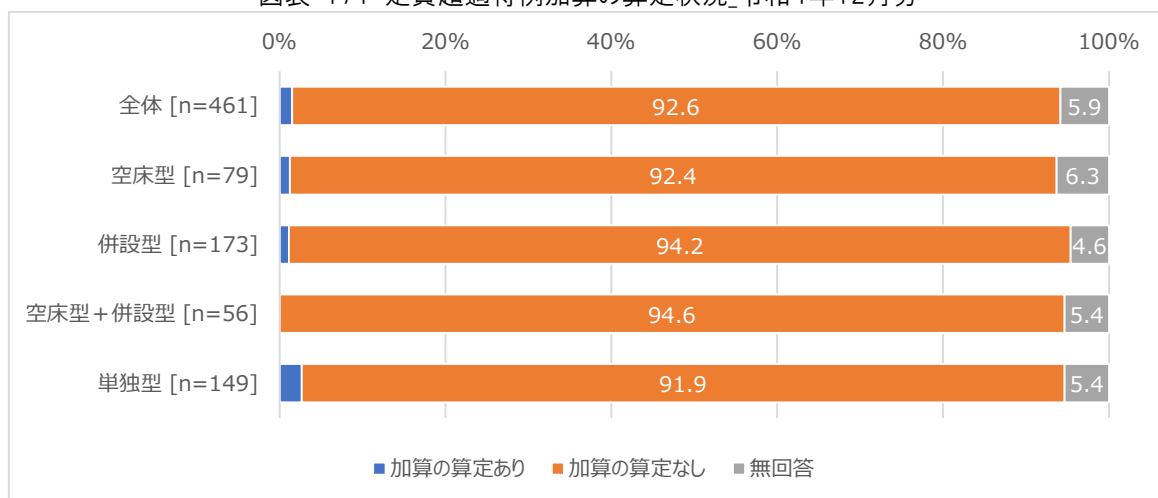
図表 170 緊急短期入所受入加算を算定していない理由〔複数回答〕



②定員超過特例加算の算定状況

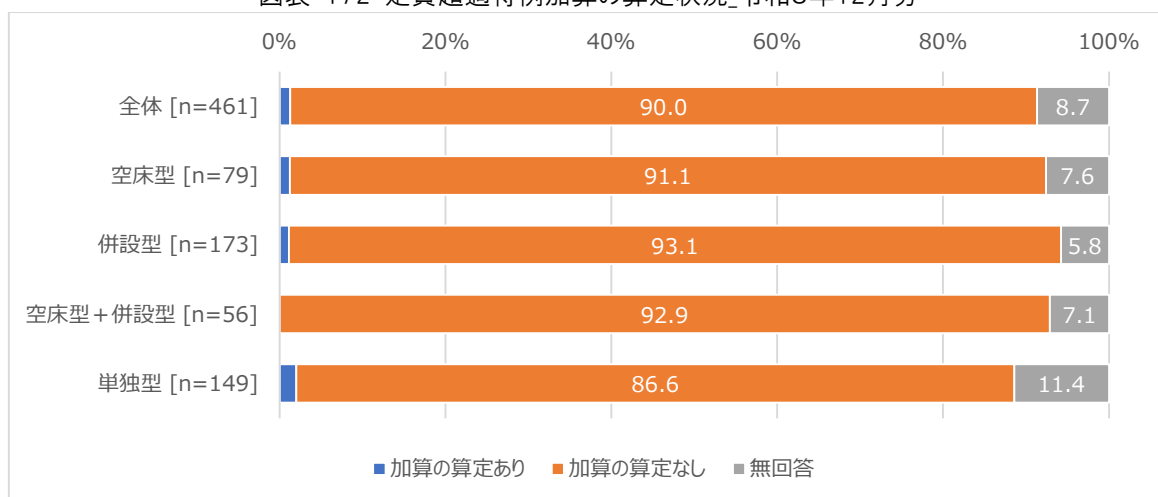
定員超過特例加算の算定状況については、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が92.6%となっている。

図表 171 定員超過特例加算の算定状況_令和4年12月分



令和3年12月分は、「加算の算定なし」が90.0%となっている。

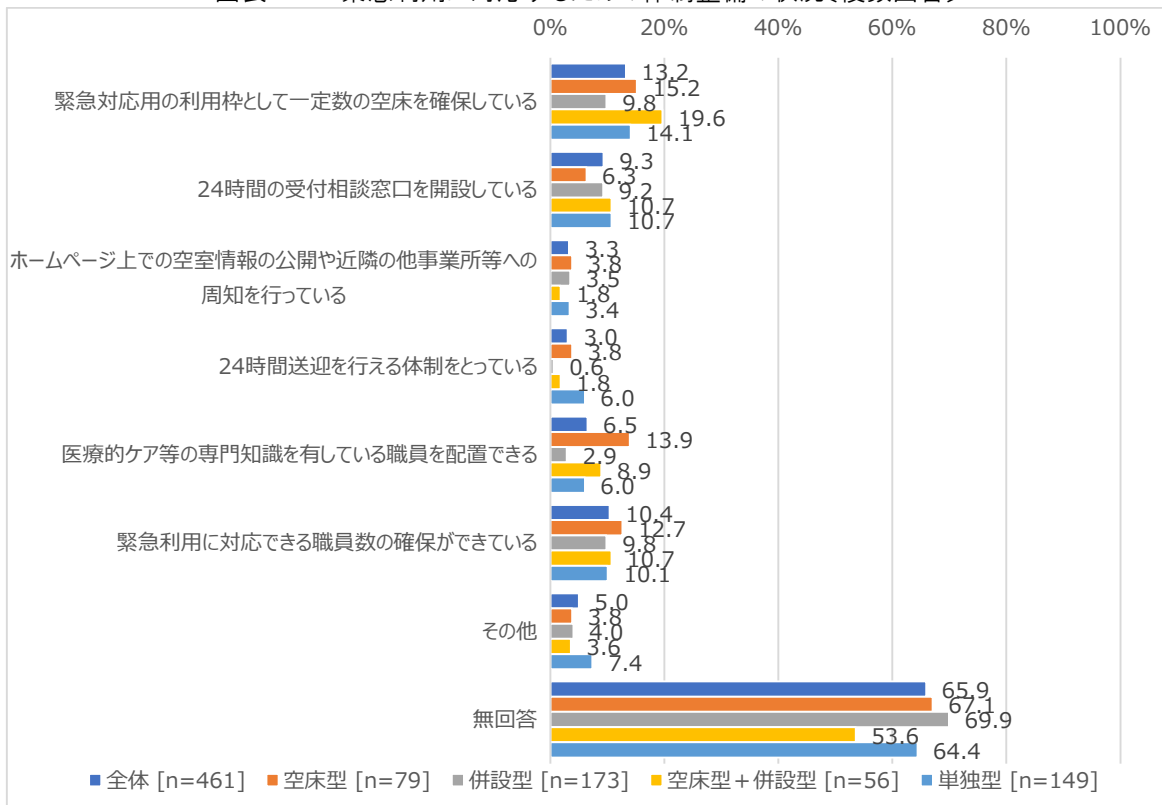
図表 172 定員超過特例加算の算定状況_令和3年12月分



③緊急利用に対応するための体制整備の状況

緊急利用に対応するための体制整備の状況を聞いたところ、「緊急対応用の利用枠として一定数の空床を確保している」が13.2%、「緊急利用に対応できる職員数の確保ができている」が10.4%等となっている。

図表 173 緊急利用に対応するための体制整備の状況〔複数回答〕



④短期入所の緊急利用者の状況

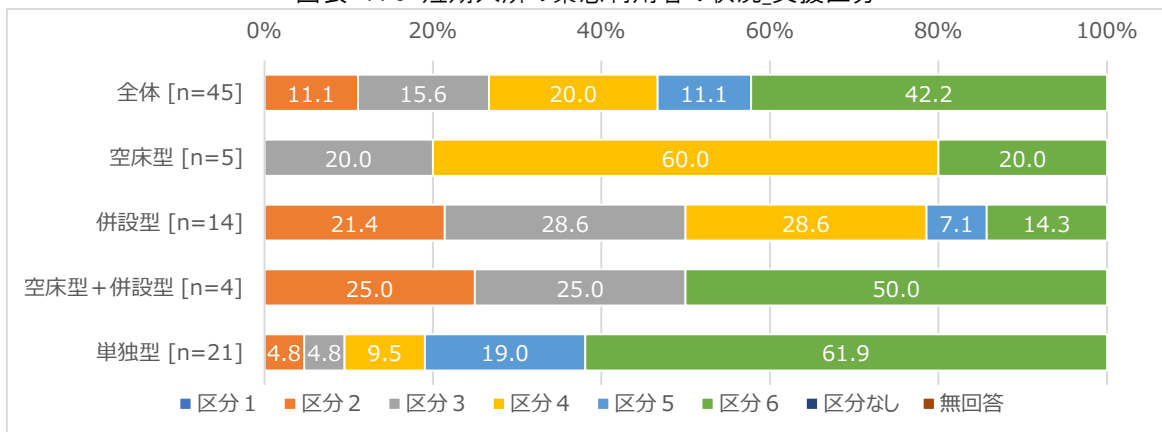
短期入所の緊急利用者がある事業所に、利用者の状況を聞いた。年齢は、平均で34.3歳となっている。

図表 174 短期入所の緊急利用者の状況_年齢

	全体 [n=50]	空床型 [n=6]	併設型 [n=15]	空床型+併設型 [n=4]	単独型 [n=24]
平均年齢(歳)	34.3	41.7	36.2	37.8	31.2

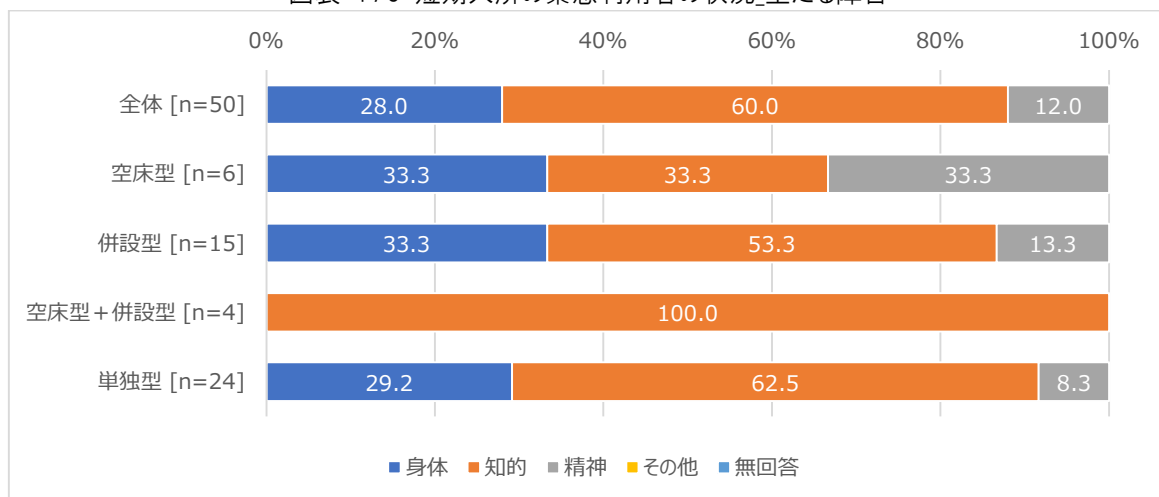
支援区分は、「区分6」が42.2%、「区分4」が20.0%、「区分3」が15.6%等となっている。

図表 175 短期入所の緊急利用者の状況_支援区分



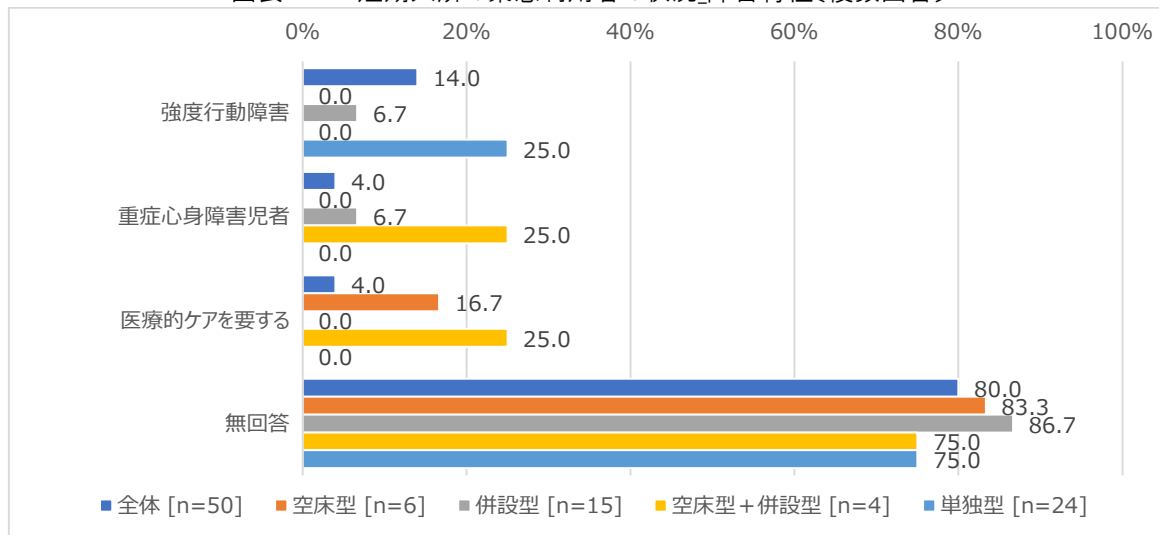
主たる障害は、「知的」が60.0%、「身体」が28.0%、「精神」が12.0%となっている。

図表 176 短期入所の緊急利用者の状況_主たる障害



障害特性について聞いたところ、「強度行動障害」が14.0%見られる。

図表 177 短期入所の緊急利用者の状況_障害特性〔複数回答〕



申込から入所までの期間は、平均で1.2日となっている。

図表 178 短期入所の緊急利用者の状況_申込から入所までの期間

	全体 [n=50]	空床型 [n=6]	併設型 [n=15]	空床型+併設型 [n=4]	単独型 [n=24]
平均期間 (日)	1.2	1.2	1.1	0.8	1.2

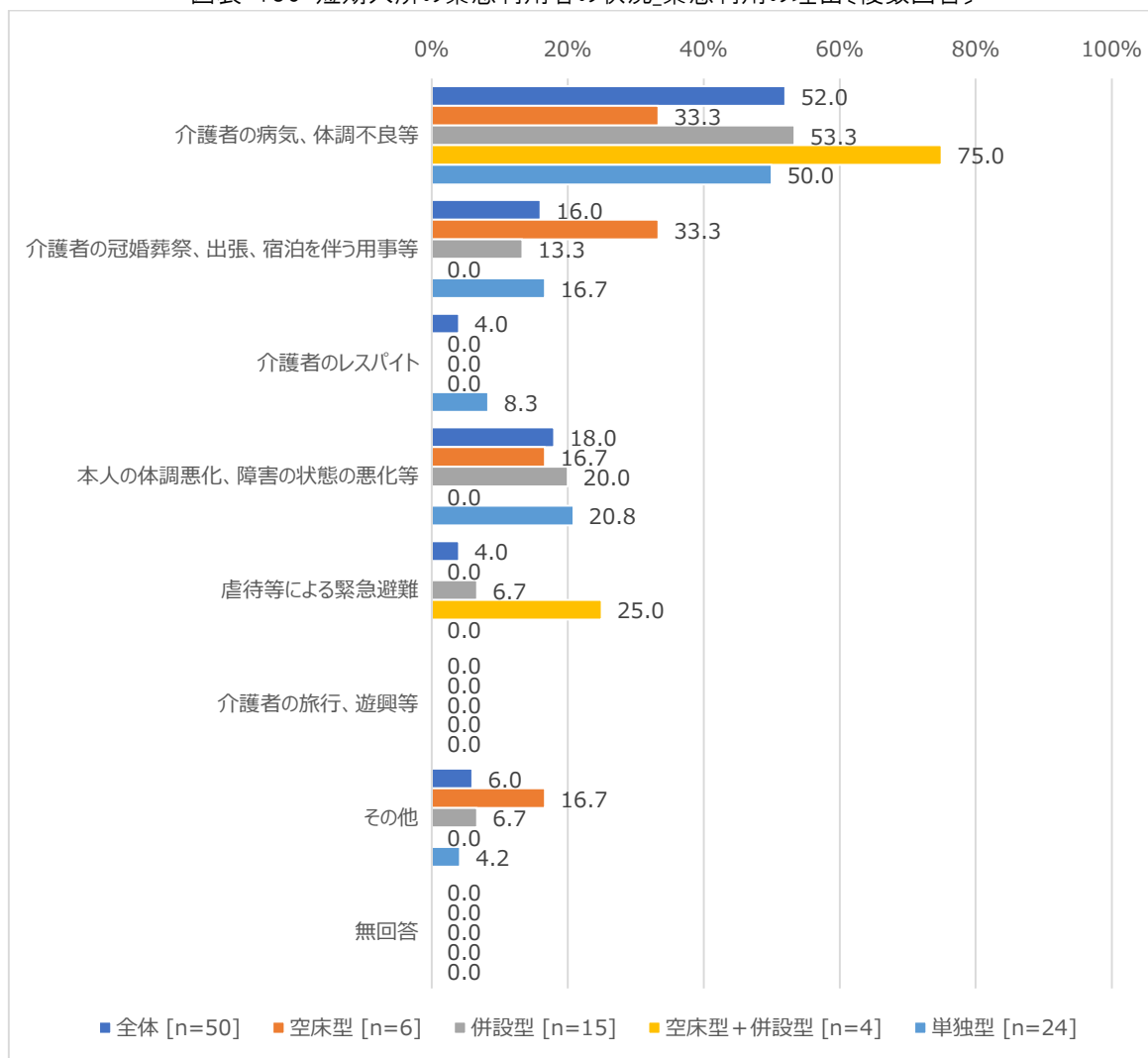
利用日数は、平均で6.7日となっている。

図表 179 短期入所の緊急利用者の状況_利用日数

	全体 [n=50]	空床型 [n=6]	併設型 [n=15]	空床型+併設型 [n=4]	単独型 [n=24]
平均利用日数 (日)	6.7	11.3	6.5	9.5	5.2

緊急利用の理由は、「介護者の病気、体調不良等」が52.0%と多くなっている。

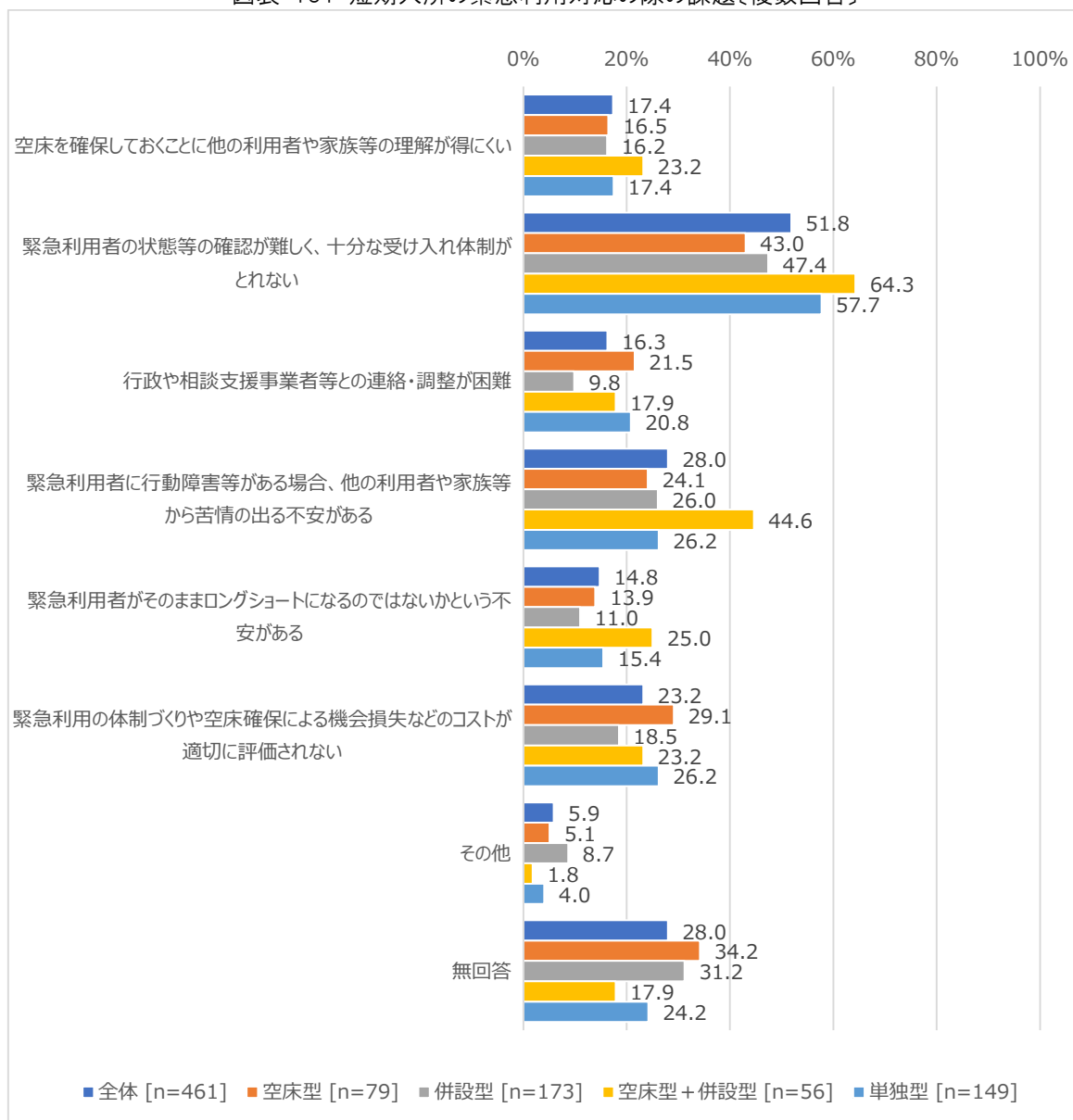
図表 180 短期入所の緊急利用者の状況_緊急利用の理由〔複数回答〕



⑤短期入所の緊急利用対応の際の課題

短期入所の緊急利用対応の際の課題について聞いたところ、「緊急利用者の状態等の確認が難しく、十分な受け入れ体制がとれない」が51.8%と多く、次いで、「緊急利用者に行動障害等がある場合、他の利用者や家族等から苦情の出る不安がある」が28.0%となっている。

図表 181 短期入所の緊急利用対応の際の課題〔複数回答〕

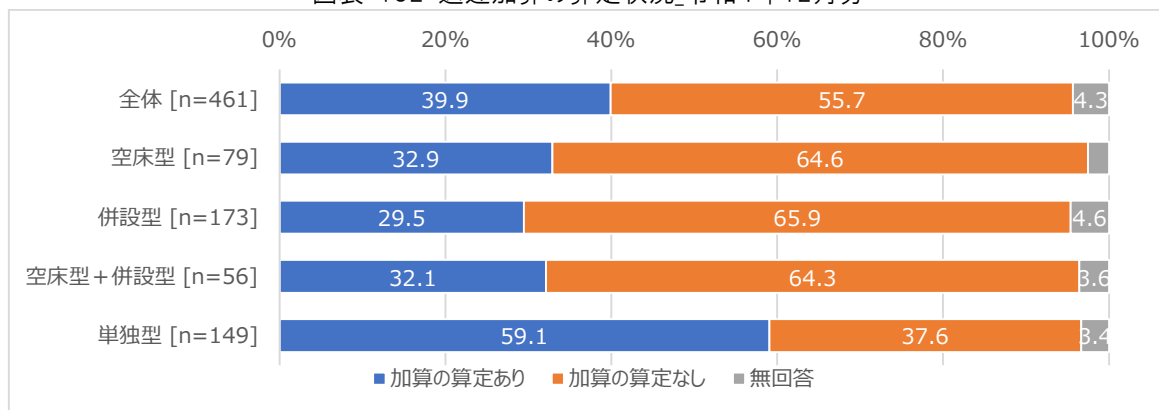


(4) 送迎等の状況について

①送迎加算の算定状況

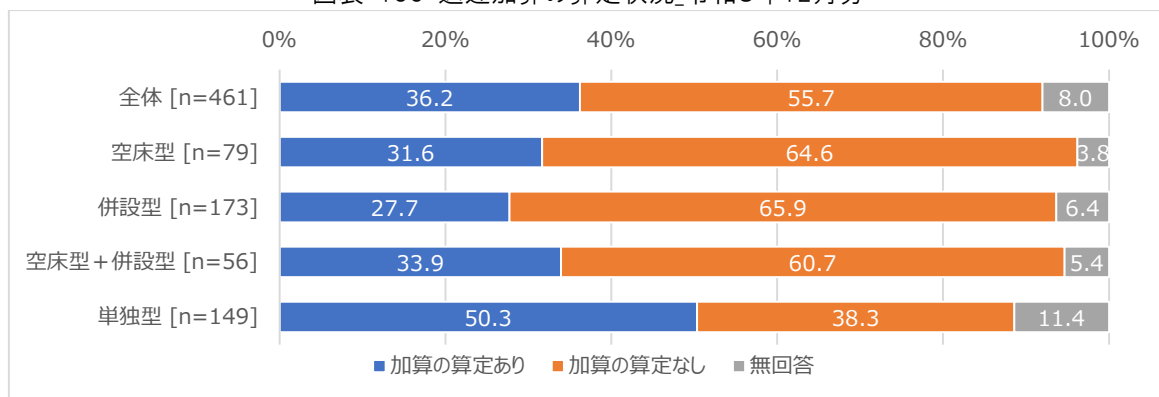
送迎加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が55.7%、「加算の算定あり」が39.9%となっている。

図表 182 送迎加算の算定状況_令和4年12月分



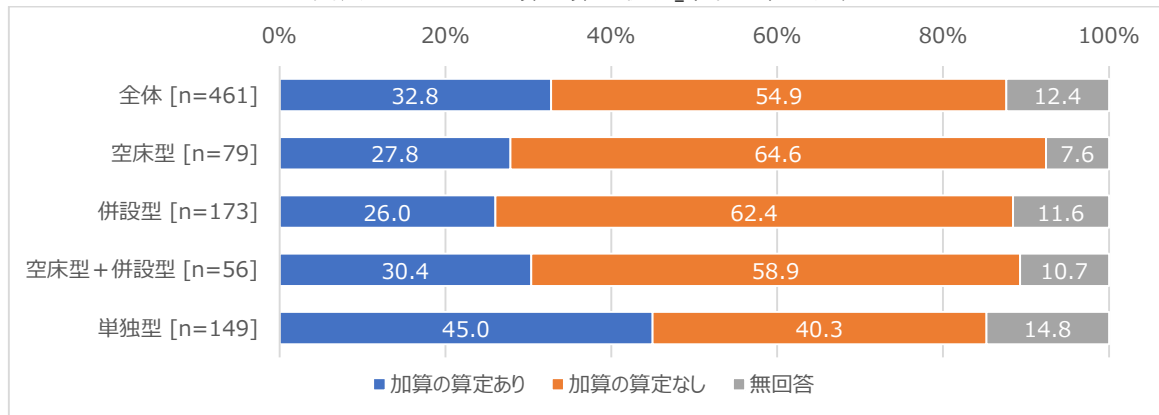
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が55.7%、「加算の算定あり」が36.2%となっている。

図表 183 送迎加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定なし」が54.9%、「加算の算定あり」が32.8%となっている。

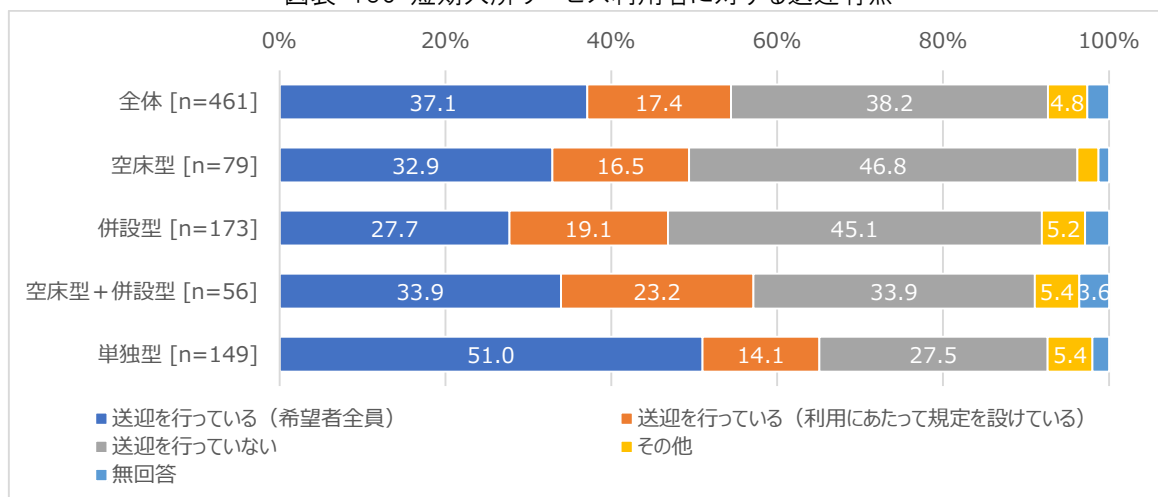
図表 184 送迎加算の算定状況_令和2年12月分



②短期入所サービス利用者に対する送迎有無

短期入所サービス利用者に対する送迎を実施しているかどうかを聞いたところ、「送迎を行っていない」が38.2%、「送迎を行っている（希望者全員）」が37.1%、「送迎を行っている（利用にあたって規定を設けている）」が17.4%となっている。

図表 185 短期入所サービス利用者に対する送迎有無



③送迎を実施している事業所の状況

送迎を実施している事業所に、その状況を聞いた。

送迎人数・日数については、平均で延べ人数25.4人、1回あたり平均送迎者数1.8人、送迎を行った日数11.6日となっている。

図表 186 送迎人数・日数

全体 [n=178]	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
送迎した者の延べ人数（人）	25.4	1.5	5.2	1.1
1回あたり平均送迎者数（人）	1.8	0.2	0.2	0.1
送迎を行った日数（日）	11.6	1.5	1.6	0.5

送迎方法別の延べ人数は、「送迎車両を使用」が平均で24.1人となっている。

図表 187 送迎方法別の延べ人数

全体 [n=178] (人)	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
送迎車両を使用	24.1	1.7	3.9	1.1
付き添い（公共交通機関を利用）	0.1	0.0	0.0	-
付き添い（徒歩のみ）	0.2	0.0	0.0	-

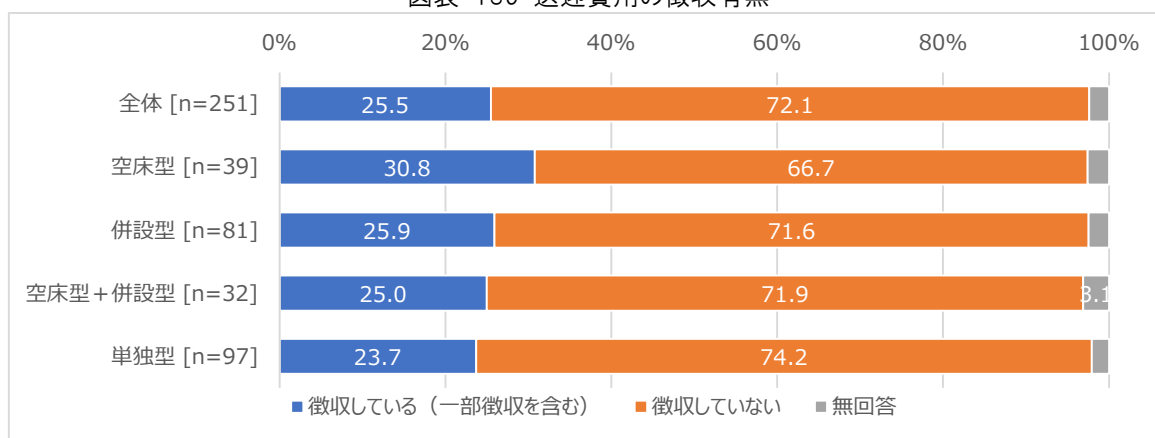
送迎先別の延べ人数は、「利用者宅の玄関先まで」が平均で13.5人となっている。

図表 188 送迎先別の延べ人数

全体 [n=178] (人)	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
利用者宅の玄関先まで	13.5	0.9	2.1	0.7
利用者の居室・ベッドまで	1.4	-	0.9	0.3
事業所の最寄り駅や利用者の居宅の近隣に設定した集合場所等	1.4	0.2	0.0	0.0
その他	8.3	0.7	0.7	0.1

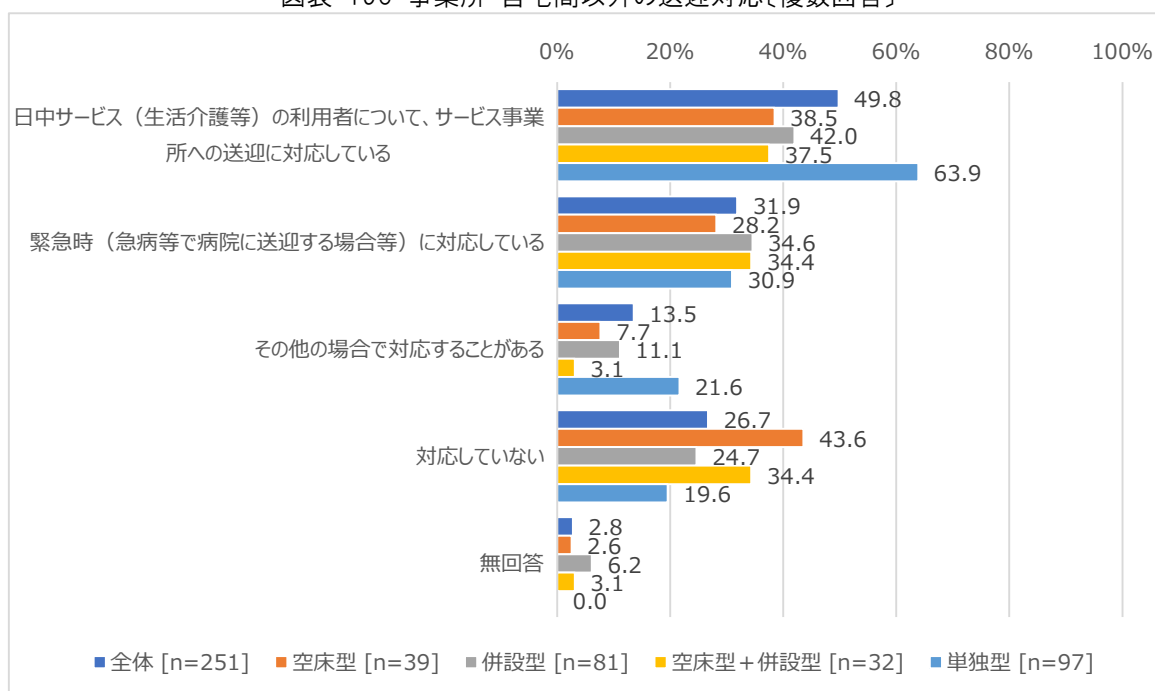
送迎費用の徴収について聞いたところ、「徴収していない」が72.1%、「徴収している(一部徴収を含む)」が25.5%となっている。

図表 189 送迎費用の徴収有無



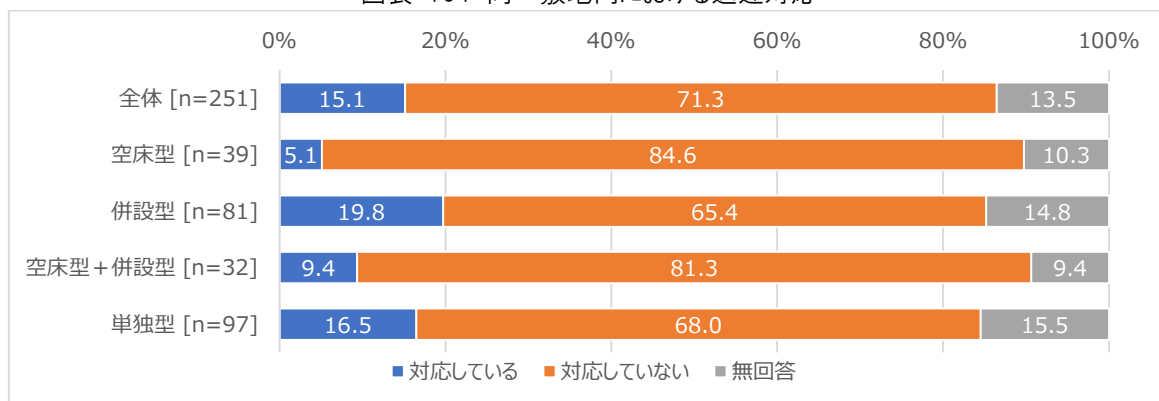
事業所・自宅間以外の送迎対応について聞いたところ、「日中サービス(生活介護等)の利用者について、サービス事業所への送迎に対応している」が49.8%、「緊急時(急病等で病院に送迎する場合等)に対応している」が31.9%、一方、「対応していない」が26.7%となっている。

図表 190 事業所・自宅間以外の送迎対応[複数回答]



同一敷地内における送迎対応は、「対応していない」が71.3%、「対応している」が15.1%となっている。

図表 191 同一敷地内における送迎対応



同一敷地内における送迎に対応している事業所に、送迎先別延べ人数を聞いたところ、障害者支援施設への送迎人数が多くなっている。

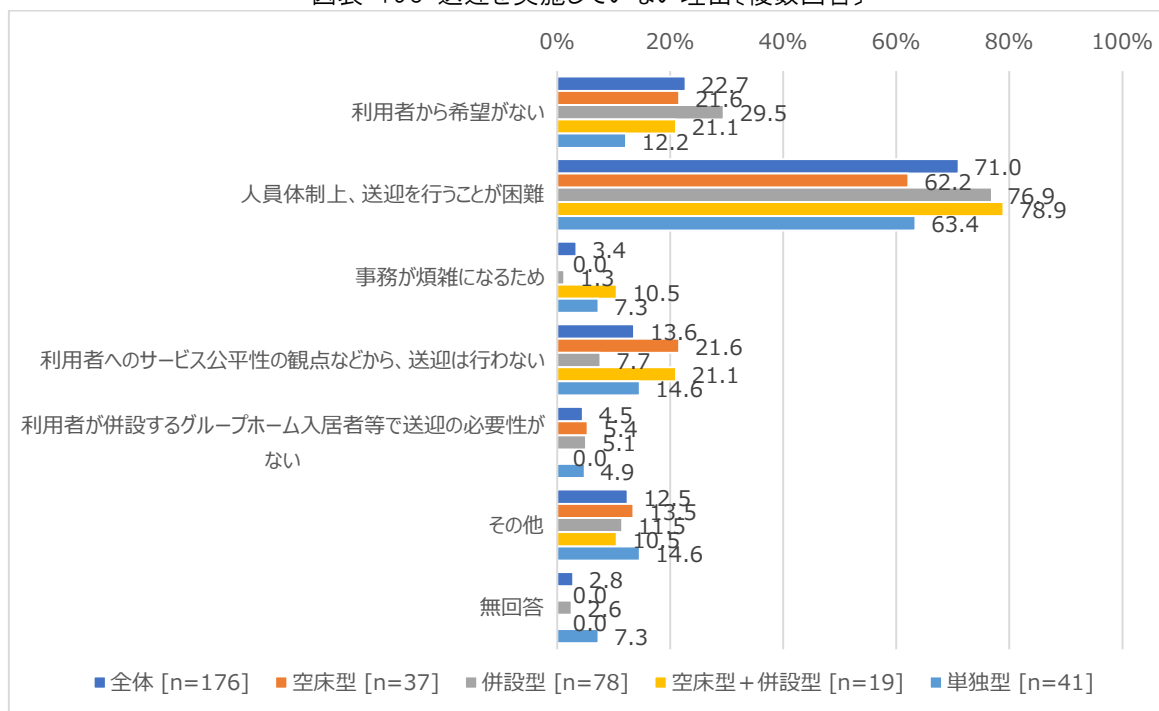
図表 192 同一敷地内における送迎対応の送迎先別延べ人数

施設タイプ	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
全体 [n=20] (人)				
グループホーム	2.1	0.2	-	-
障害者支援施設	10.3	0.4	1.0	0.1
障害児施設	1.3	-	-	0.8
その他	3.7	-	0.1	-

④送迎を実施していない理由

送迎を実施していない事業所に、その理由を聞いたところ、「人人体制上、送迎を行うことが困難」が71.0%と多くなっている。

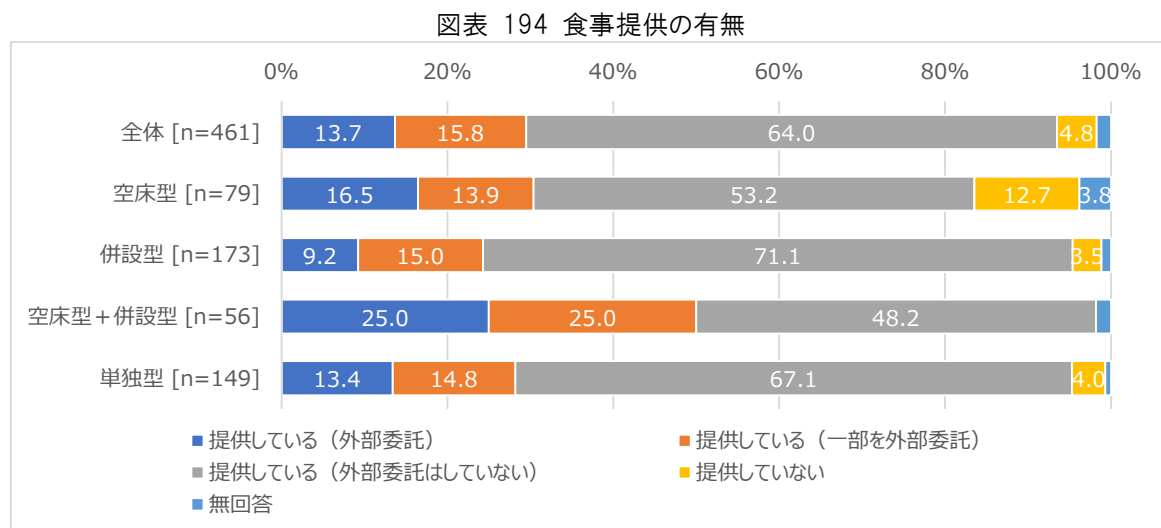
図表 193 送迎を実施していない理由〔複数回答〕



(5) 食事の提供について

① 食事提供の有無

食事提供の有無については、「提供している（外部委託はしていない）」が64.0%、「提供している（一部を外部委託）」が15.8%、「提供している（外部委託）」が13.7%、「提供していない」が4.8%となっている。



② 食事提供人数

食事を提供している事業所に、提供形態別の食事提供人数を聞いたところ、平均で12.8人、うち、「普通食（調整食ではない）」の提供人数が多くなっている。

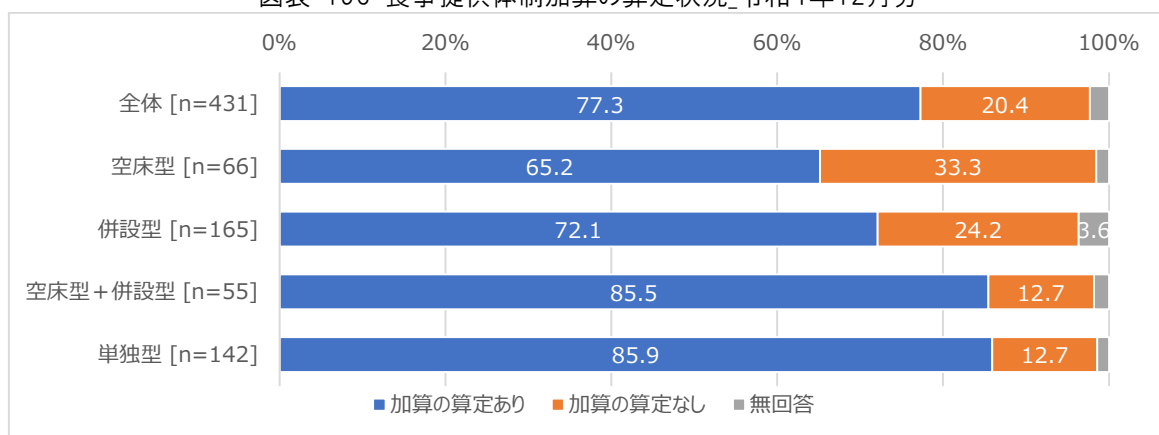
図表 195 提供形態別食事提供人数

(人)	全体 [n=405]	空床型 [n=62]	併設型 [n=149]	空床型+併設型 [n=53]	単独型 [n=138]
1 きざみ食（栄養素の調整あり）	0.3	0.8	0.1	0.3	0.4
2 きざみ食（栄養素の調整なし）	1.1	0.8	0.5	0.9	1.9
3 ソフト食（栄養素の調整あり）	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0
4 ソフト食（栄養素の調整なし）	0.2	0.5	0.0	0.0	0.2
5 流動食（栄養素の調整あり）	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0
6 流動食（栄養素の調整なし）	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
7 経管栄養食（栄養素の調整あり）	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0
8 経管栄養食（栄養素の調整なし）	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1
9 栄養素の調整のみの食事	0.2	0.9	0.0	0.2	0.1
10 普通食（調整食ではない）	10.4	4.5	6.2	7.6	18.3
合計	12.8	8.5	7.4	9.6	21.4

③食事提供体制加算の算定状況

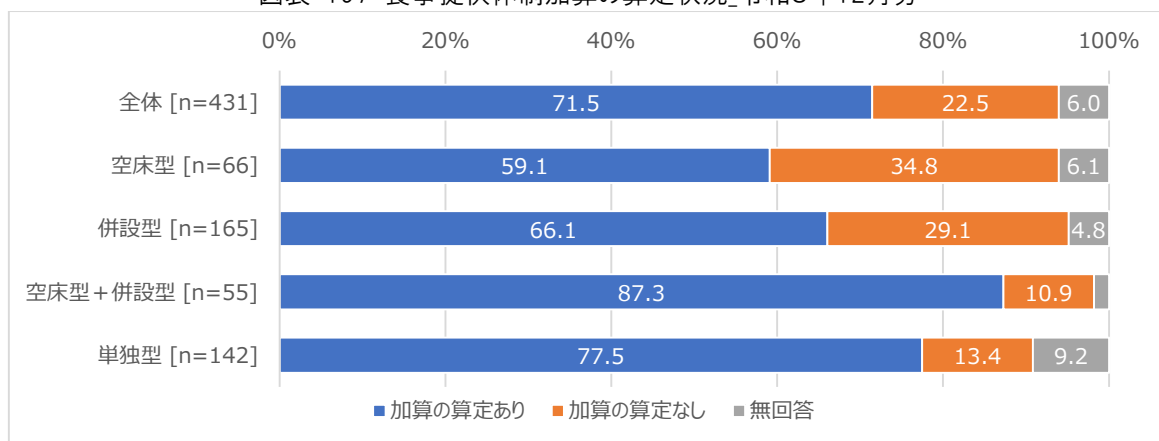
食事提供体制加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定あり」が77.3%、「加算の算定なし」が20.4%となっている。

図表 196 食事提供体制加算の算定状況_令和4年12月分



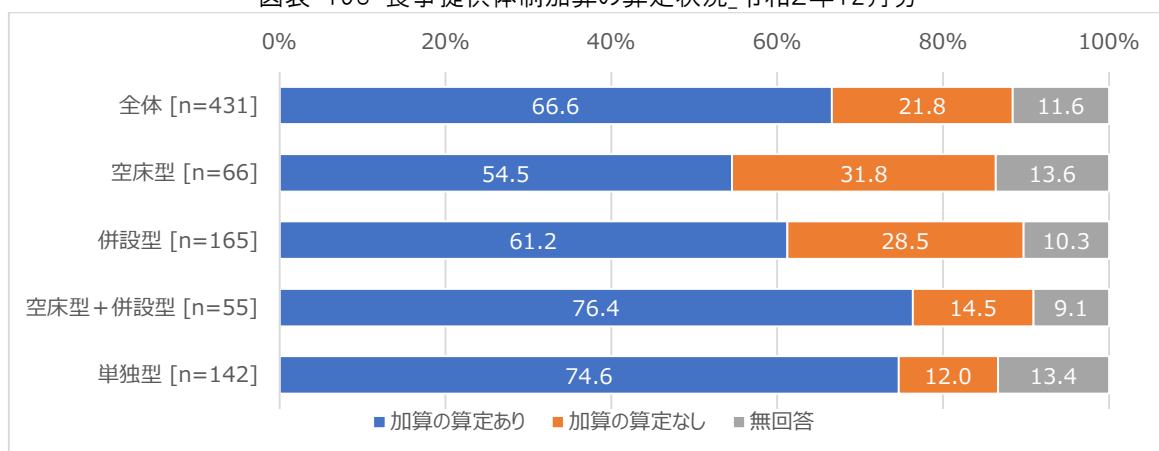
令和3年12月分は、「加算の算定あり」が71.5%、「加算の算定なし」が22.5%となっている。

図表 197 食事提供体制加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定あり」が66.6%、「加算の算定なし」が21.8%となっている。

図表 198 食事提供体制加算の算定状況_令和2年12月分



④食事の提供に要する費用に係る本人負担額の徴収人数・徴収金額

食事の提供に要する費用に係る本人負担額の徴収人数・徴収金額については、平均で、以下のようになっている。

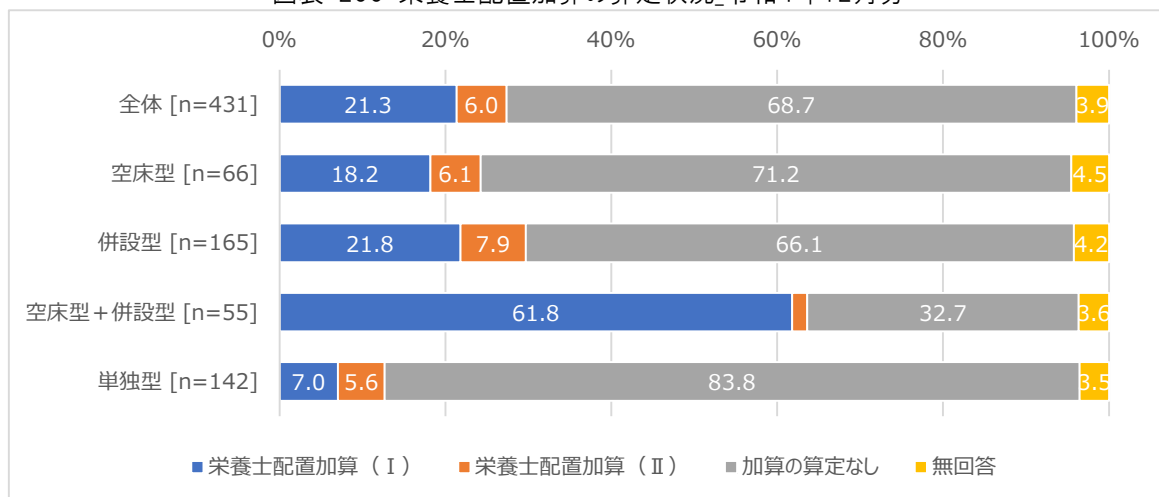
図表 199 食事の提供に要する費用に係る本人負担額の徴収人数・徴収金額

全体 [n=255]		食事提供の 費用徴収人数 (実人数)	本人負担額 (総額・円)	1人あたり負担 額 (円/人)
令和4年12月	一般所得者(食事提供体制加算の対象外の者)	1.9	6,824	3,508
	低所得者等(食事提供体制加算の対象者)	11.9	24,247	2,033
令和3年12月	一般所得者(食事提供体制加算の対象外の者)	1.9	5,647	3,025
	低所得者等(食事提供体制加算の対象者)	13.0	29,207	2,238
令和2年12月	一般所得者(食事提供体制加算の対象外の者)	1.9	6,849	3,524
	低所得者等(食事提供体制加算の対象者)	13.9	29,790	2,138

⑤栄養士配置加算の算定状況

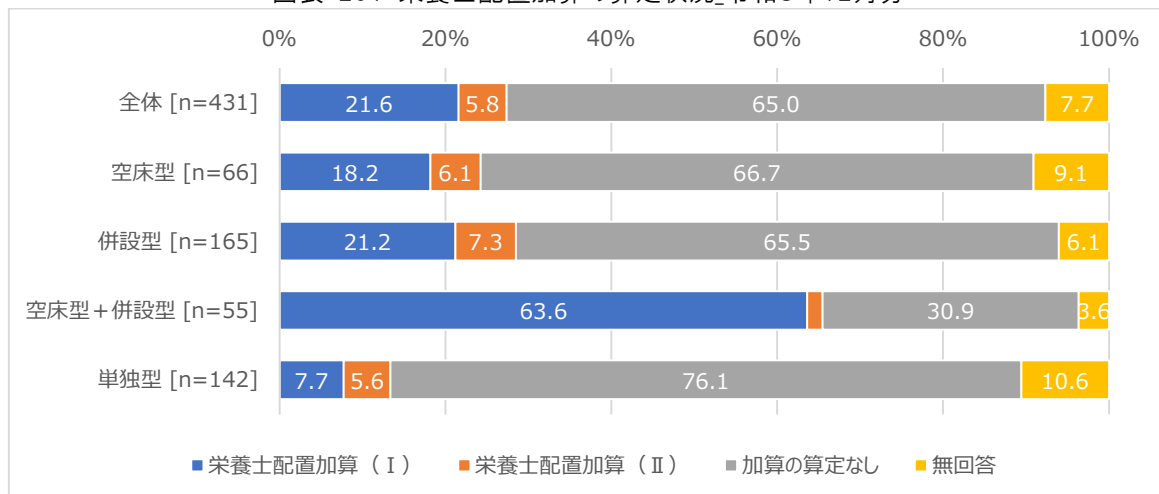
栄養士配置加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が68.7%、「栄養士配置加算（Ⅰ）」が21.3%、「栄養士配置加算（Ⅱ）」が6.0%となっている。

図表 200 栄養士配置加算の算定状況_令和4年12月分



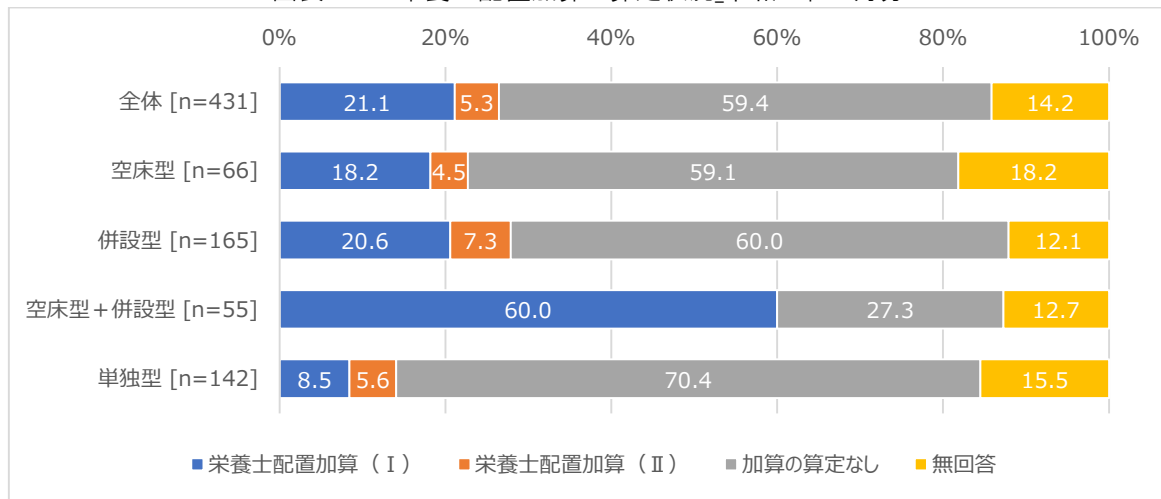
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が65.0%、「栄養士配置加算（Ⅰ）」が21.6%、「栄養士配置加算（Ⅱ）」が5.8%となっている。

図表 201 栄養士配置加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定なし」が59.4%、「栄養士配置加算（Ⅰ）」が21.1%、「栄養士配置加算（Ⅱ）」が5.3%となっている。

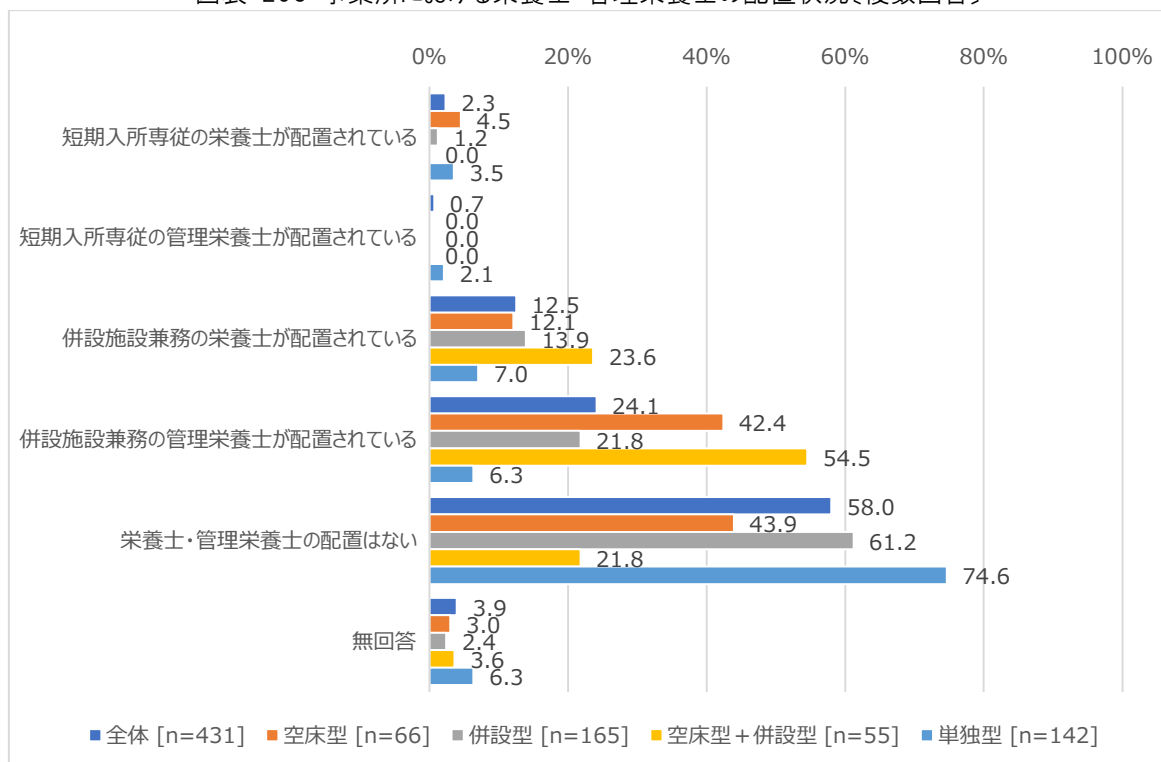
図表 202 栄養士配置加算の算定状況_令和2年12月分



⑥事業所における栄養士・管理栄養士の配置状況

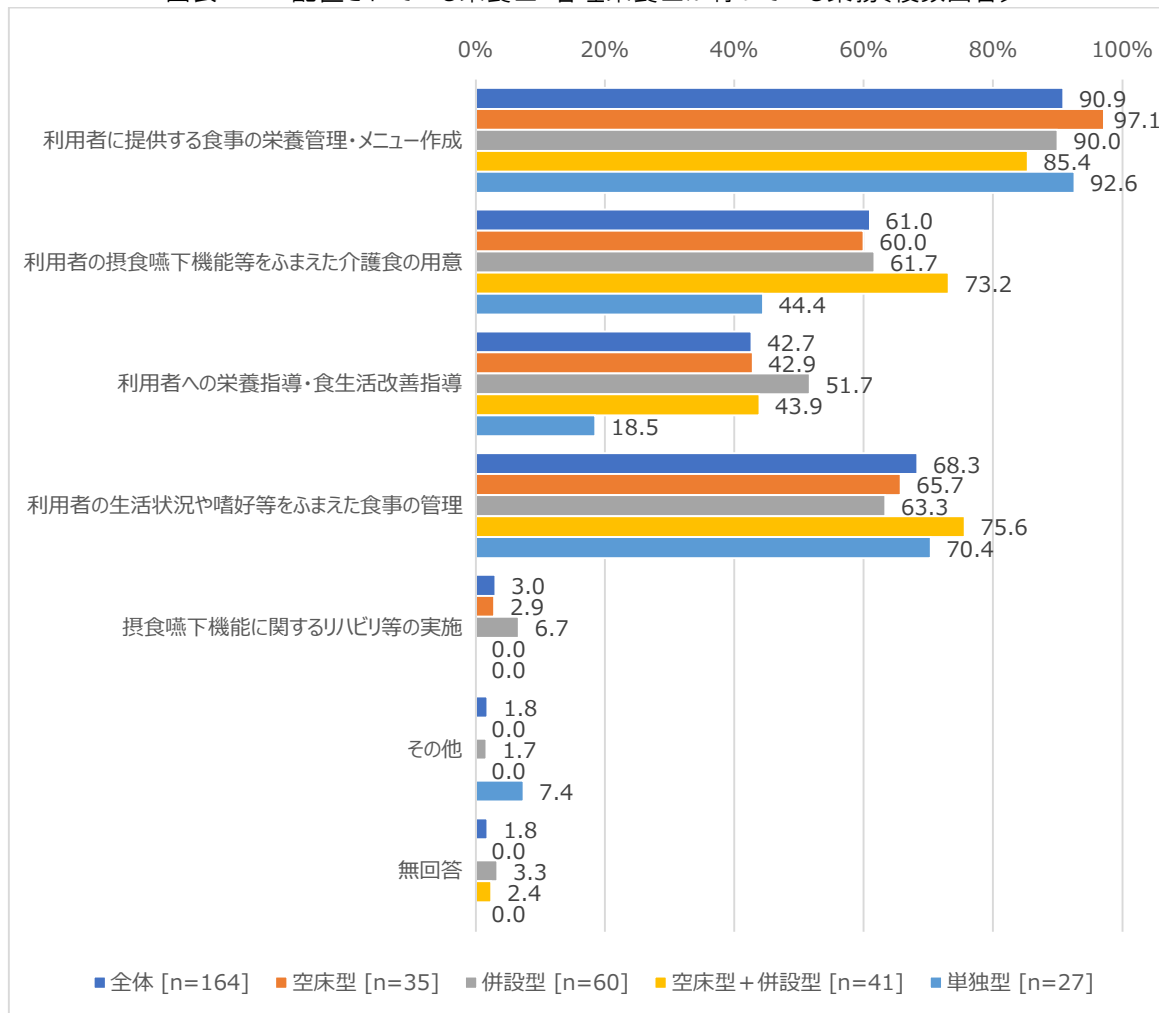
事業所における栄養士・管理栄養士の配置状況について聞いたところ、「栄養士・管理栄養士の配置はない」が58.0%と多く、配置のある場合は、「併設施設兼務の管理栄養士が配置されている」が24.1%となっている。

図表 203 事業所における栄養士・管理栄養士の配置状況〔複数回答〕



事業所における栄養士・管理栄養士の配置のある事業所に、配置されている栄養士・管理栄養士が行っている業務について聞いたところ、「利用者に提供する食事の栄養管理・メニュー作成」が90.9%、「利用者の生活状況や嗜好等をふまえた食事の管理」が68.3%、「利用者の摂食嚥下機能等をふまえた介護食の用意」が61.0%等となっている。

図表 204 配置されている栄養士・管理栄養士が行っている業務〔複数回答〕

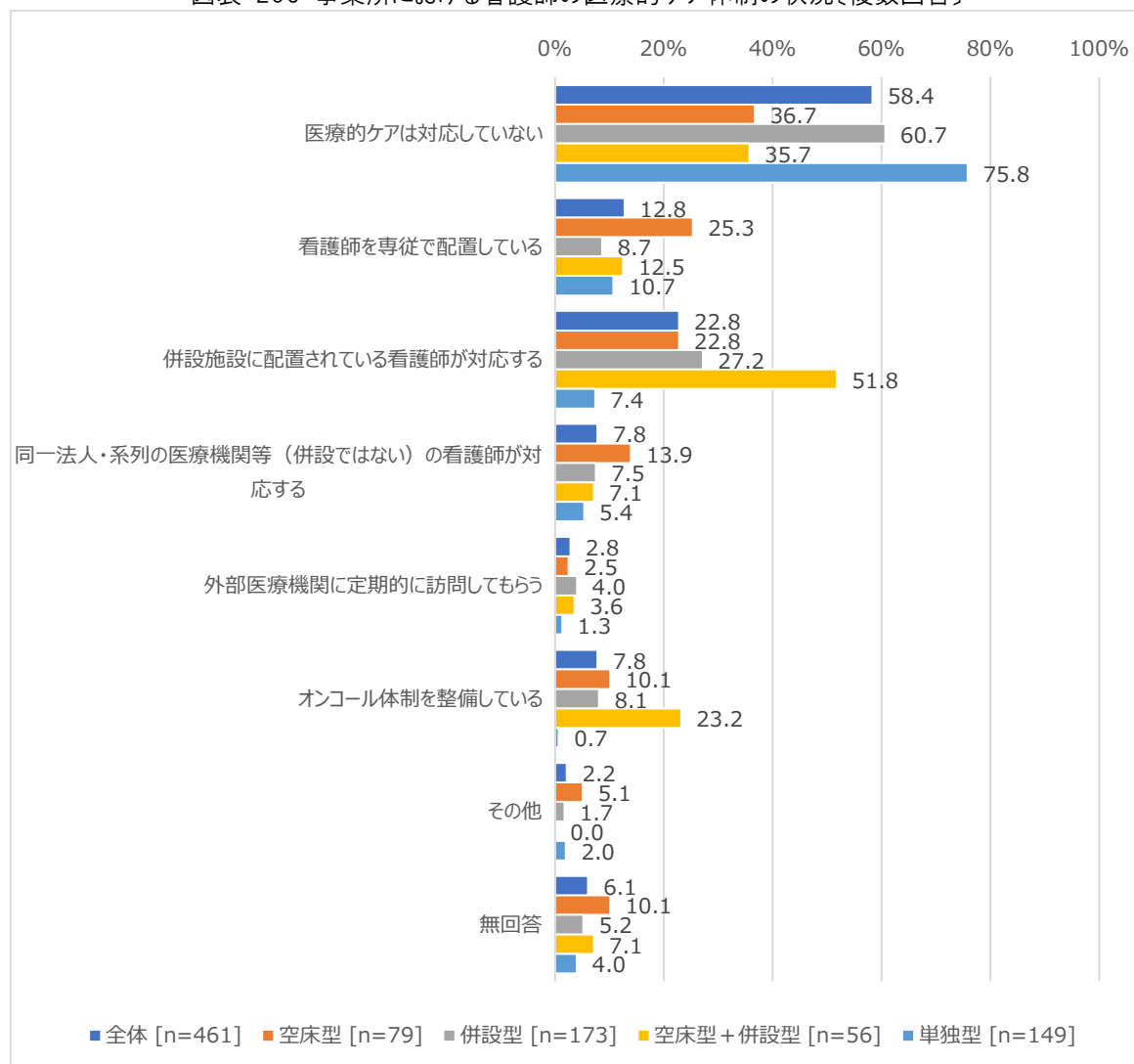


(6) 医療的ケアの状況について

①事業所における看護師の医療的ケア体制の状況

事業所における看護師の医療的ケア体制の状況は、「医療的ケアは対応していない」が58.4%と多くなっており、対応している場合は、「併設施設に配置されている看護師が対応する」が22.8%、「看護師を専従で配置している」が12.8%等となっている。

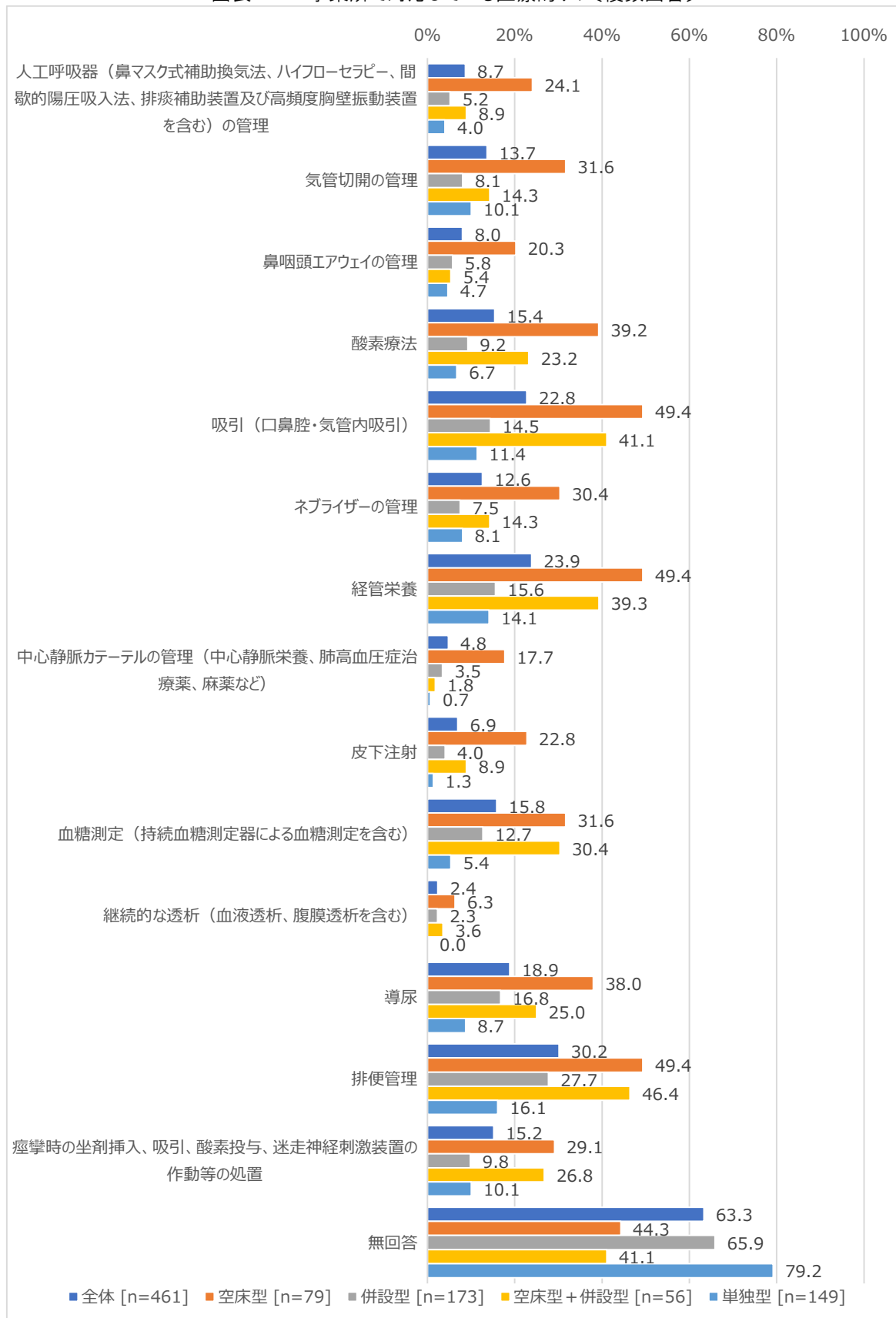
図表 205 事業所における看護師の医療的ケア体制の状況〔複数回答〕



②事業所で対応している医療的ケア

事業所で対応している医療的ケアについては、「排便管理」が30.2%、「経管栄養」が23.9%、「吸引（口鼻腔・気管内吸引）」が22.8%等となっている。

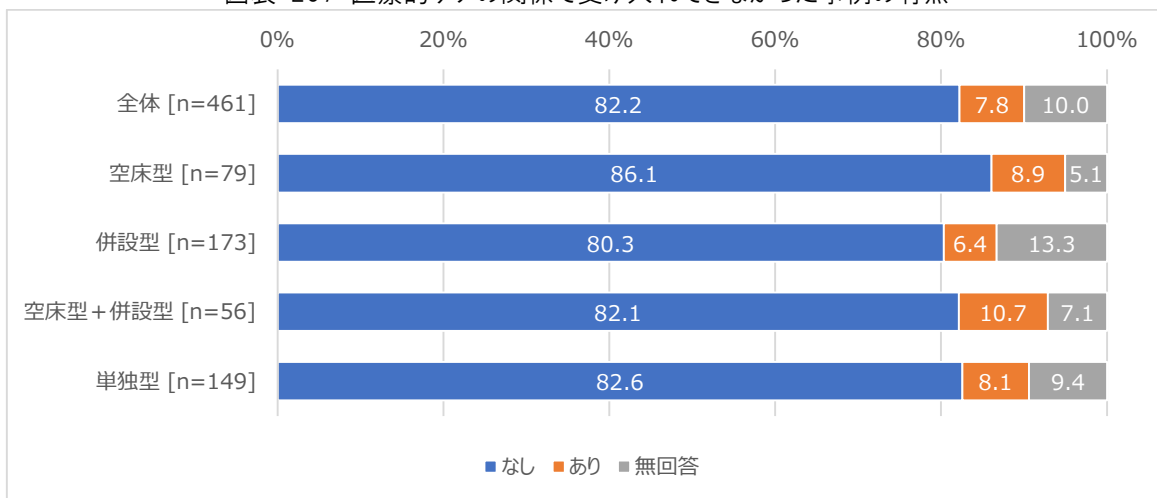
図表 206 事業所で対応している医療的ケア〔複数回答〕



③医療的ケアの関係で受け入れできなかった事例の有無

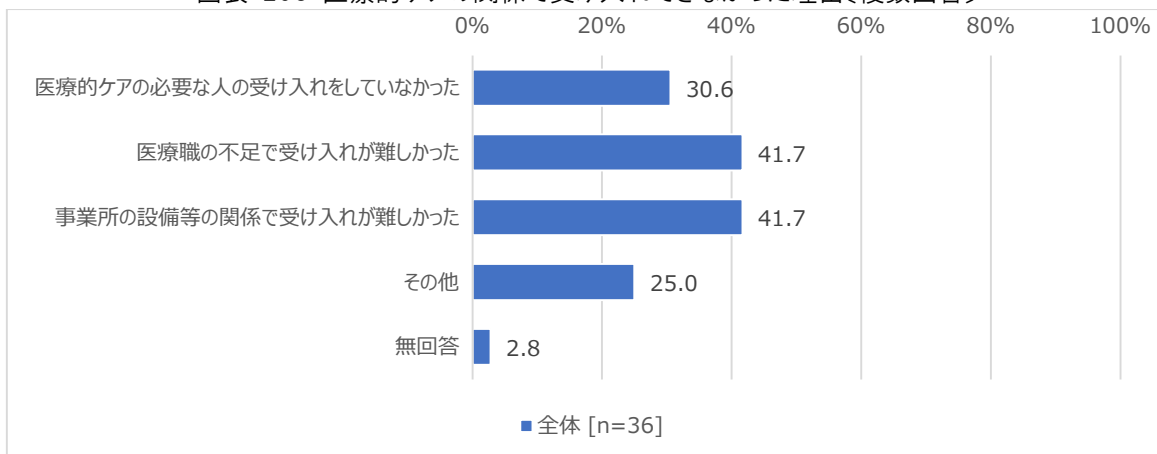
医療的ケアの関係で受け入れできなかった事例の有無を聞いたところ、「なし」が82.2%となっている。

図表 207 医療的ケアの関係で受け入れできなかった事例の有無



医療的ケアの関係で受け入れできなかった事例がある事業所の、事例件数の平均は1.8回、受け入れできなかった理由としては、「医療職の不足で受け入れが難しかった」「事業所の設備等の関係で受け入れが難しかった」が41.7%、「医療的ケアの必要な人の受け入れをしていなかった」が30.6%となっている。

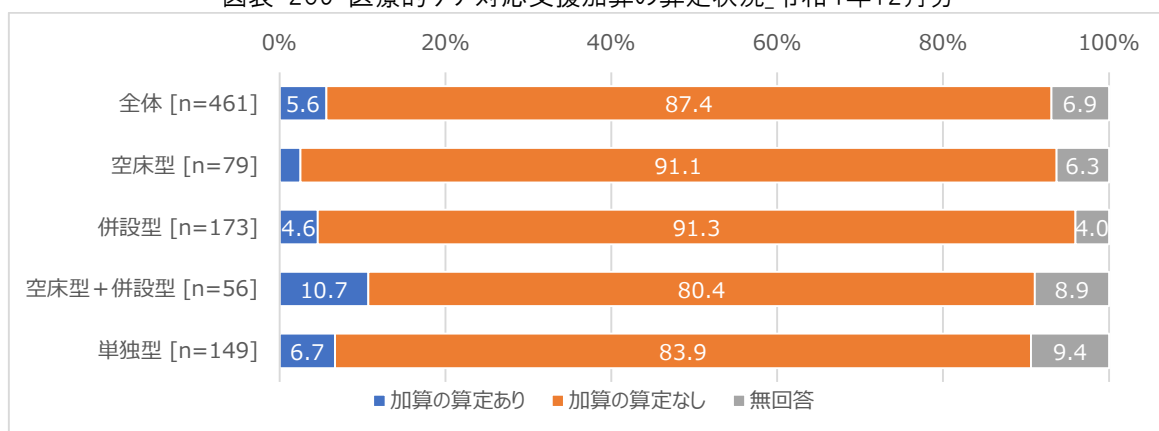
図表 208 医療的ケアの関係で受け入れできなかった理由〔複数回答〕



④医療的ケア対応支援加算の算定状況

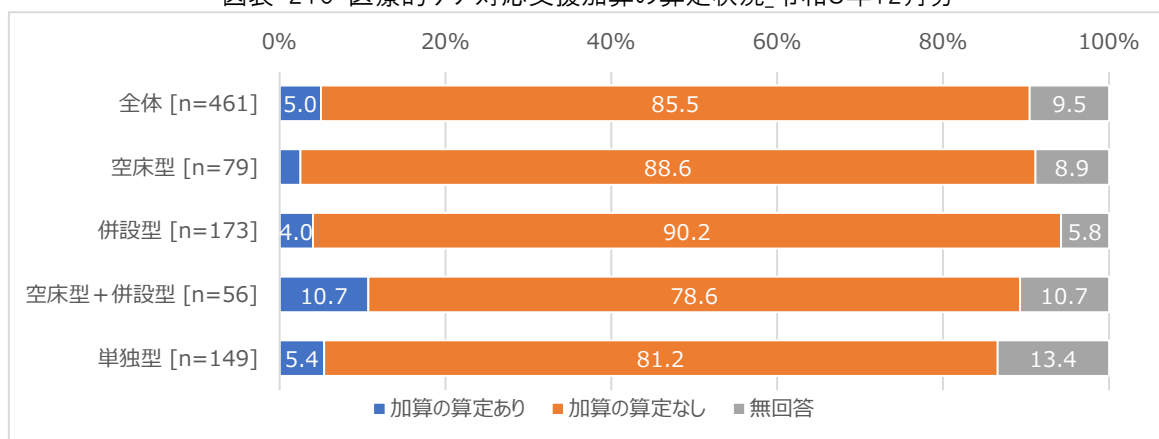
医療的ケア対応支援加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が87.4%、「加算の算定あり」が5.6%となっている。

図表 209 医療的ケア対応支援加算の算定状況_令和4年12月分



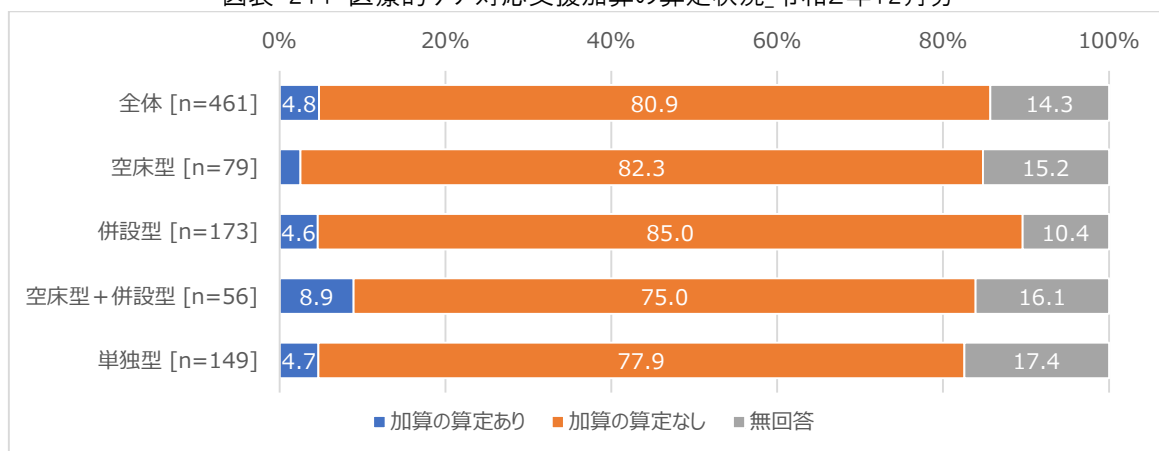
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が85.5%、「加算の算定あり」が5.0%となっている。

図表 210 医療的ケア対応支援加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定なし」が80.9%、「加算の算定あり」が4.8%となっている。

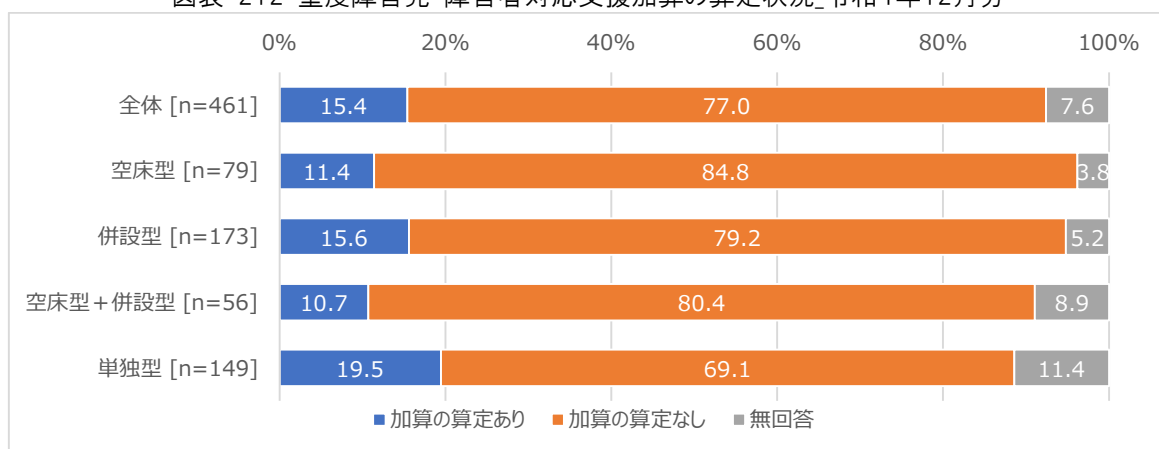
図表 211 医療的ケア対応支援加算の算定状況_令和2年12月分



⑤ 重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況

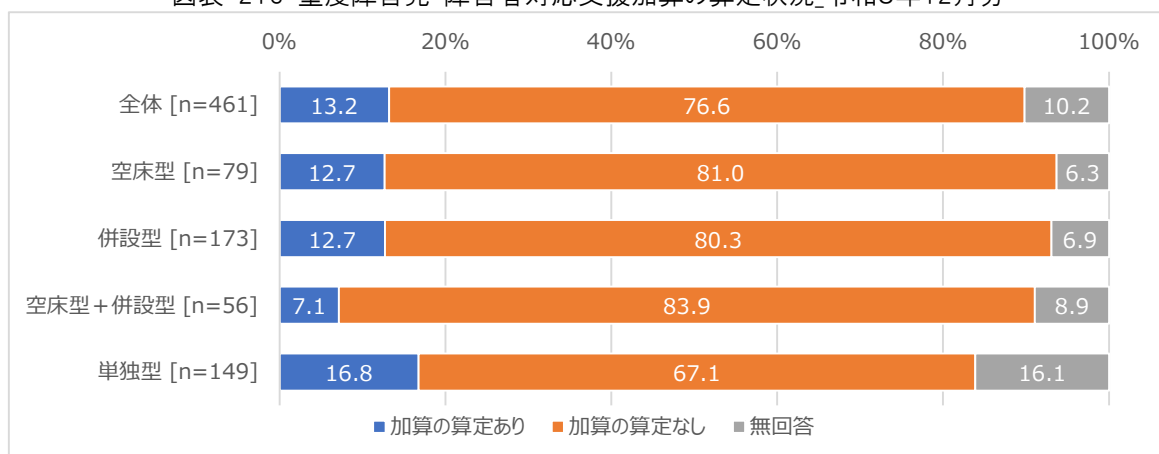
重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が77.0%、「加算の算定あり」が15.4%となっている。

図表 212 重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況_令和4年12月分



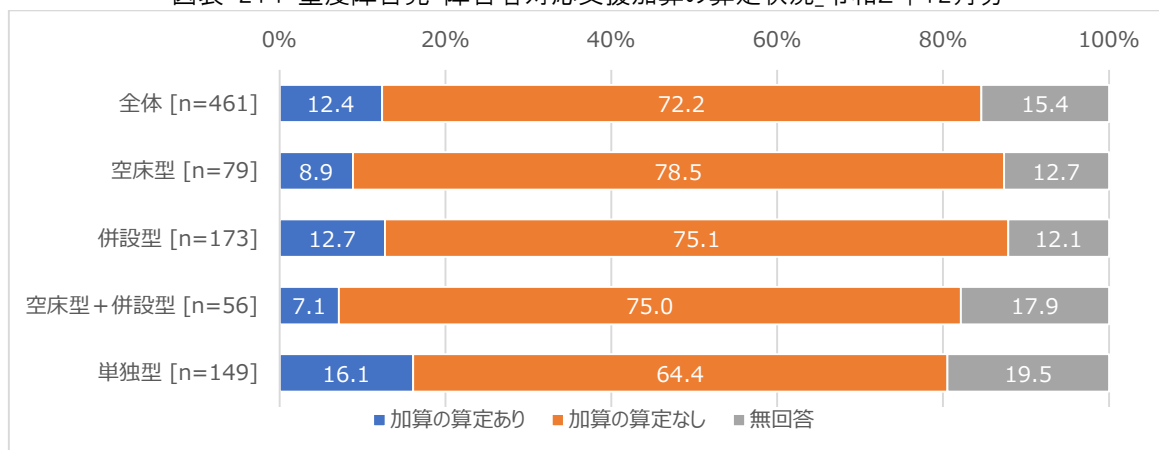
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が76.6%、「加算の算定あり」が13.2%となっている。

図表 213 重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況_令和3年12月分



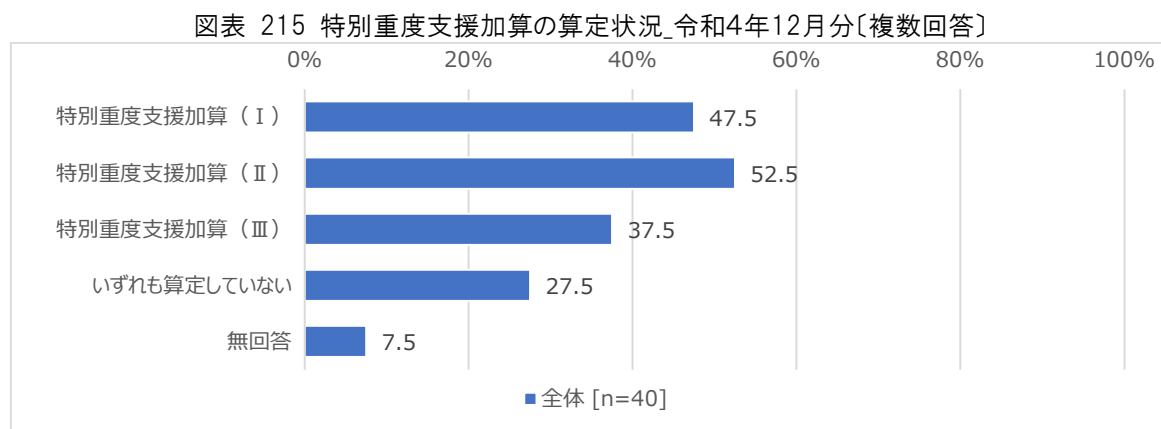
令和2年12月分は、「加算の算定なし」が72.2%、「加算の算定あり」が12.4%となっている。

図表 214 重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況_令和2年12月分

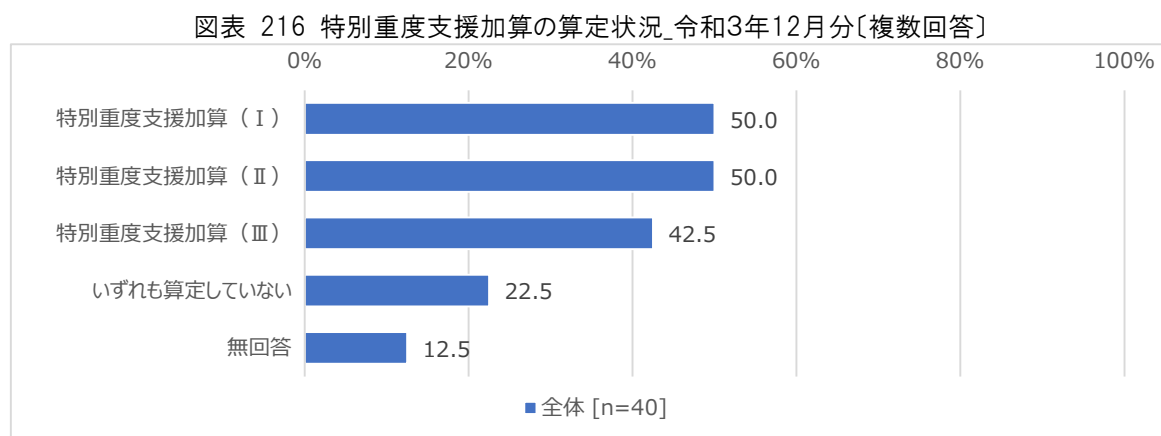


⑥特別重度支援加算の算定状況

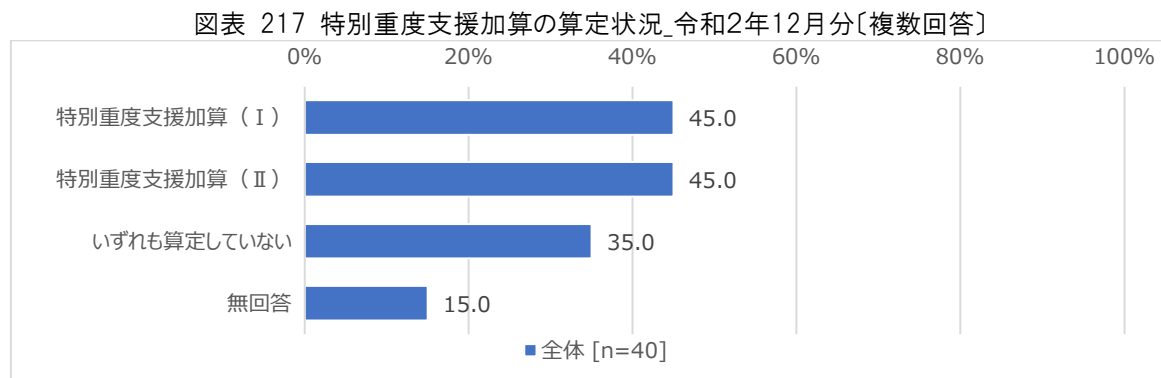
特別重度支援加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「特別重度支援加算（Ⅱ）」が52.5%、「特別重度支援加算（Ⅰ）」が47.5%、「特別重度支援加算（Ⅲ）」が37.5%、「いずれも算定していない」が27.5%となっている。



令和3年12月分は、「特別重度支援加算（Ⅰ）」が50.0%、「特別重度支援加算（Ⅱ）」が50.0%、「特別重度支援加算（Ⅲ）」が42.5%、「いずれも算定していない」が22.5%となっている。



令和2年12月分は、「特別重度支援加算（Ⅰ）」が45.0%、「特別重度支援加算（Ⅱ）」が45.0%、「いずれも算定していない」が35.0%となっている。



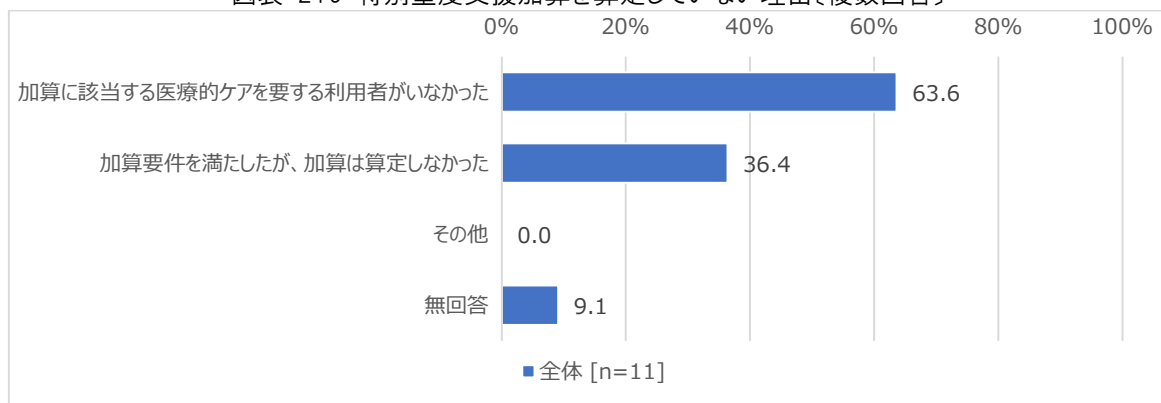
令和4年12月分で加算を算定している事業所に、加算対象者の実人数・算定日数を聞いたところ、以下のようになっている。

図表 218 特別重度支援加算の対象者の実人数・算定日数

全体 [n=18]	実人数 (人)	算定日数 (日)
特別重度支援加算 (Ⅰ)	8.1	25.9
特別重度支援加算 (Ⅱ)	4.8	19.4
特別重度支援加算 (Ⅲ)	6.3	23.2

令和4年12月分で加算を算定していない事業所に、特別重度支援加算を算定していない理由を聞いたところ、「加算に該当する医療的ケアを要する利用者がいなかった」が63.6%、「加算要件を満たしたが、加算は算定しなかった」が36.4%となっている。

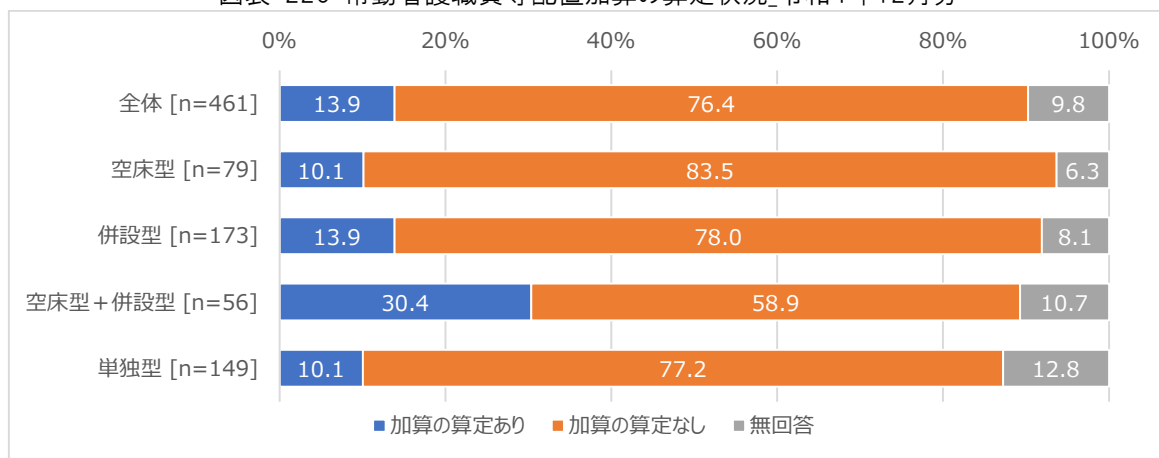
図表 219 特別重度支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



⑦常勤看護職員等配置加算の算定状況

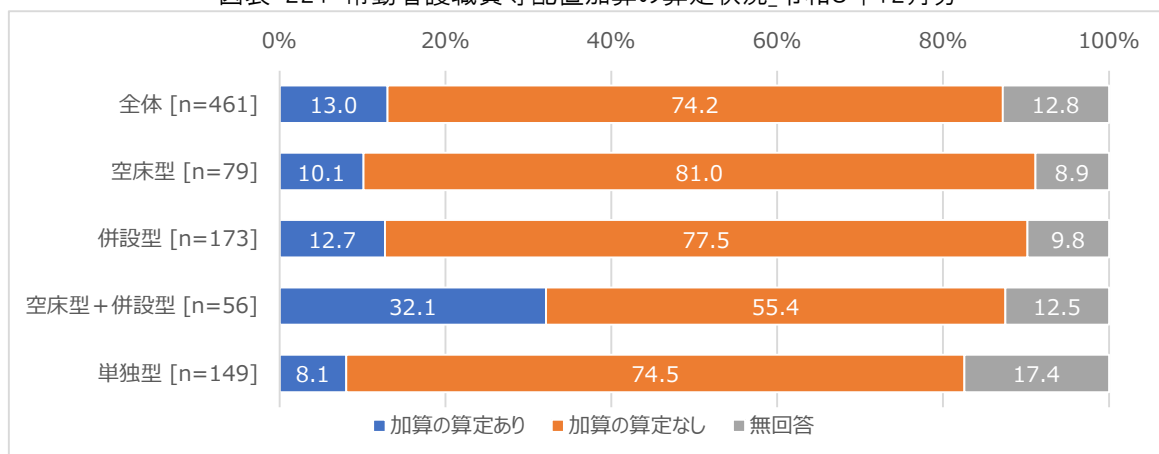
常勤看護職員等配置加算の算定状況について聞いたところ、令和4年12月分は、「加算の算定なし」が76.4%、「加算の算定あり」が13.9%となっている。

図表 220 常勤看護職員等配置加算の算定状況_令和4年12月分



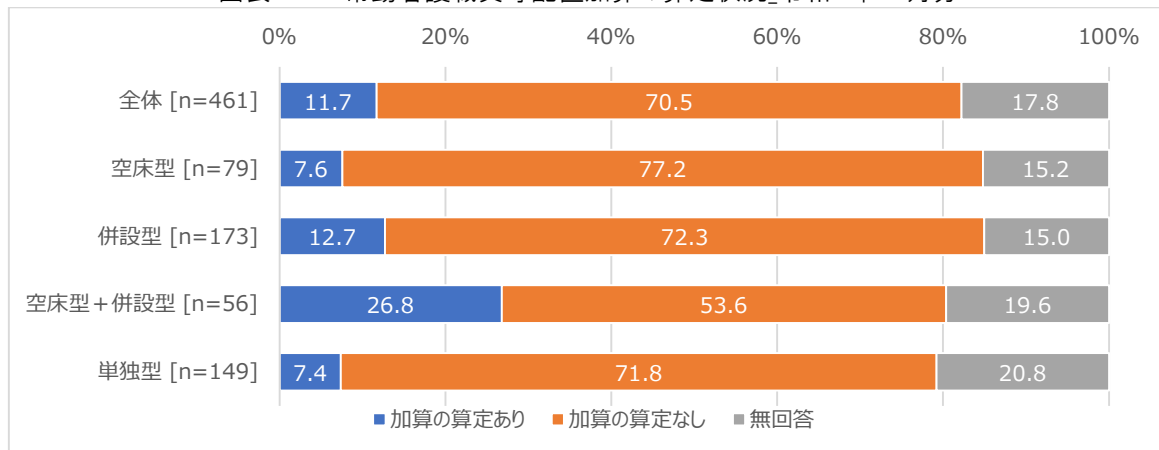
令和3年12月分は、「加算の算定なし」が74.2%、「加算の算定あり」が13.0%となっている。

図表 221 常勤看護職員等配置加算の算定状況_令和3年12月分



令和2年12月分は、「加算の算定なし」が70.5%、「加算の算定あり」が11.7%となっている。

図表 222 常勤看護職員等配置加算の算定状況_令和2年12月分

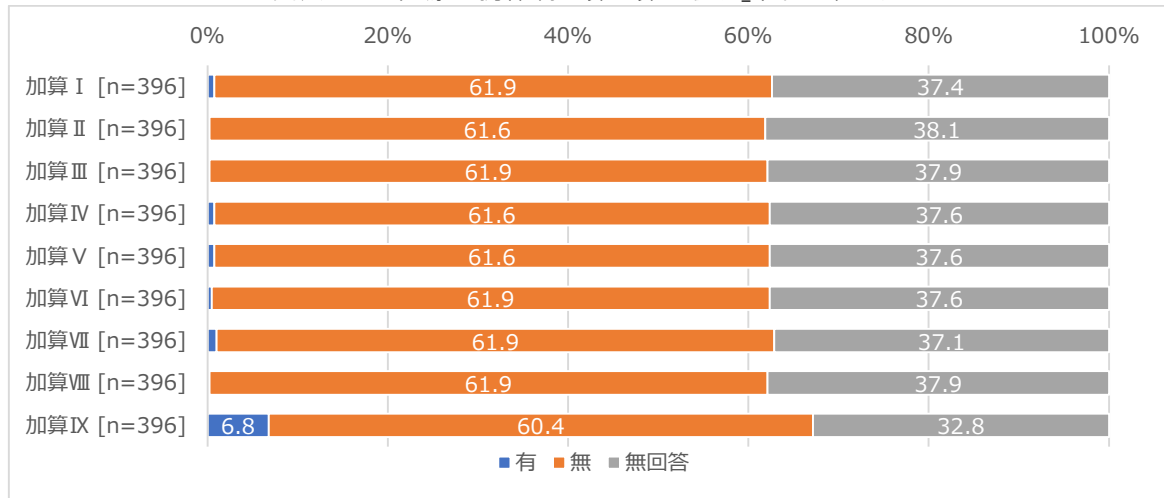


⑧医療連携体制加算の算定状況

医療連携体制加算の算定状況について聞いた。

令和4年12月における算定有無については、加算IXで算定「有」が6.8%となっている。

図表 223 医療連携体制加算の算定状況_令和4年12月



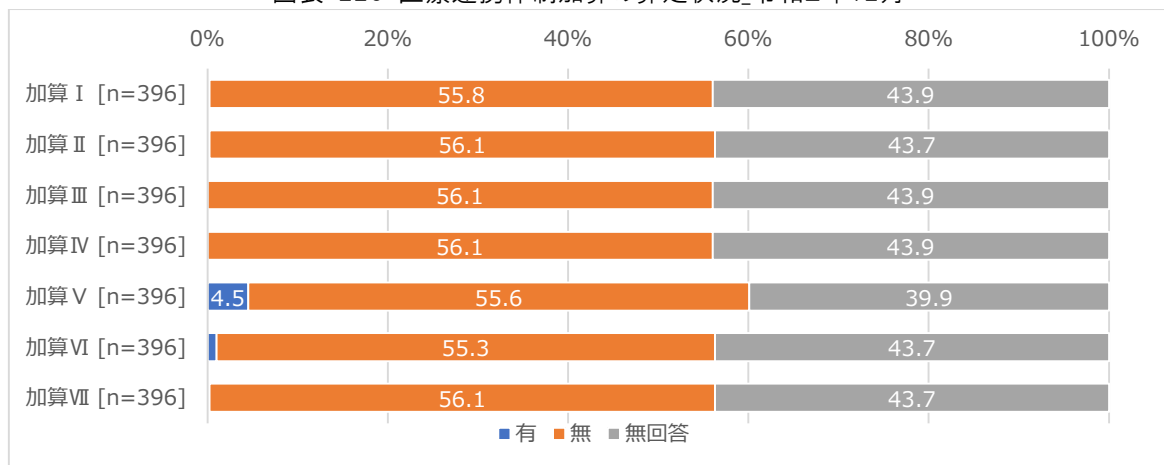
医療連携体制加算を算定している事業所の、算定実人数、算定延べ日数の平均は以下のようになっている。

図表 224 医療連携体制加算の算定実人数、算定延べ日数_令和4年12月

	加算I [n=3]	加算II [n=1]	加算III [n=1]	加算IV [n=3]	加算V [n=3]	加算VI [n=2]	加算VII [n=4]	加算VIII [n=1]	加算IX [n=26]
令和4年12月_算定実人数(人)	11.7	6.0	8.0	2.3	6.7	1.0	4.8	2.0	7.3
令和4年12月_算定延べ日数(日)	55.0	10.0	29.0	7.3	74.7	6.0	33.3	40.0	40.4
令和4年12月_看護職員配置・確保人数(人)									1.1

令和2年12月における算定有無については、加算Vで算定「有」が4.5%となっている。

図表 225 医療連携体制加算の算定状況_令和2年12月



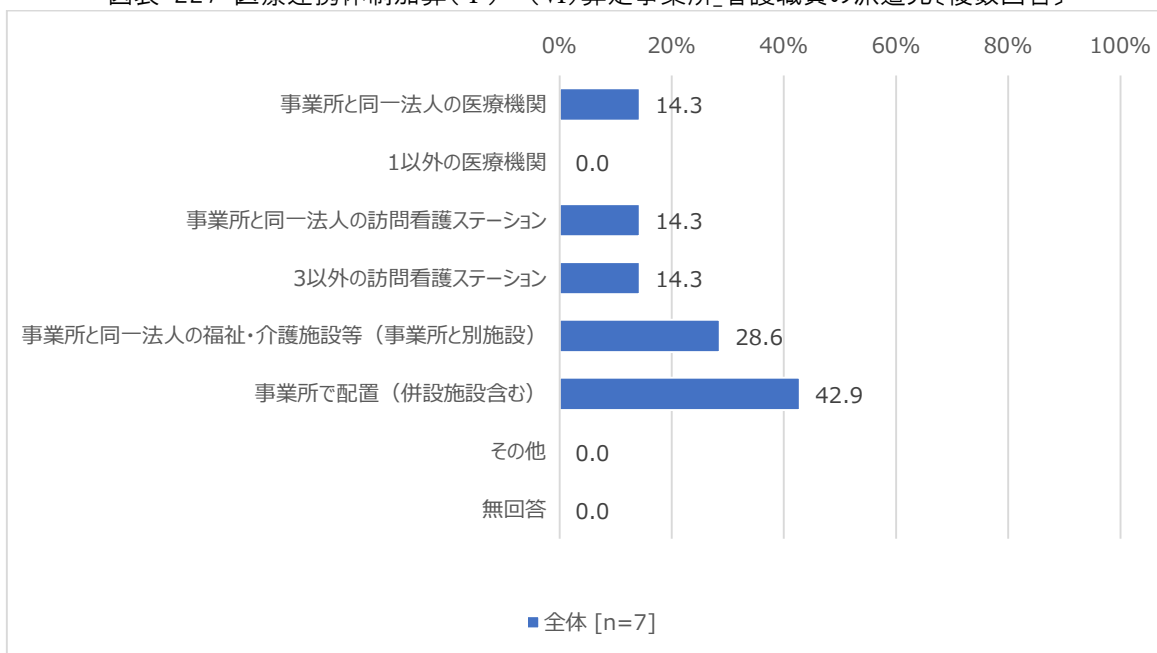
医療連携体制加算を算定している事業所の、算定実人数、算定延べ日数の平均は以下のようになっている。

図表 226 医療連携体制加算の算定実人数、算定延べ日数_令和2年12月

	加算I [n=1]	加算II [n=1]	加算III [n=0]	加算IV [n=0]	加算V [n=17]	加算VI [n=1]	加算VII [n=1]
令和2年12月_算定実人数(人)	3.0	3.0	-	-	9.4	1.0	1.0
令和2年12月_算定延べ日数(日)	40.0	15.0	-	-	66.8	8.0	2.0
令和2年12月_看護職員配置・確保人数(人)					1.1		

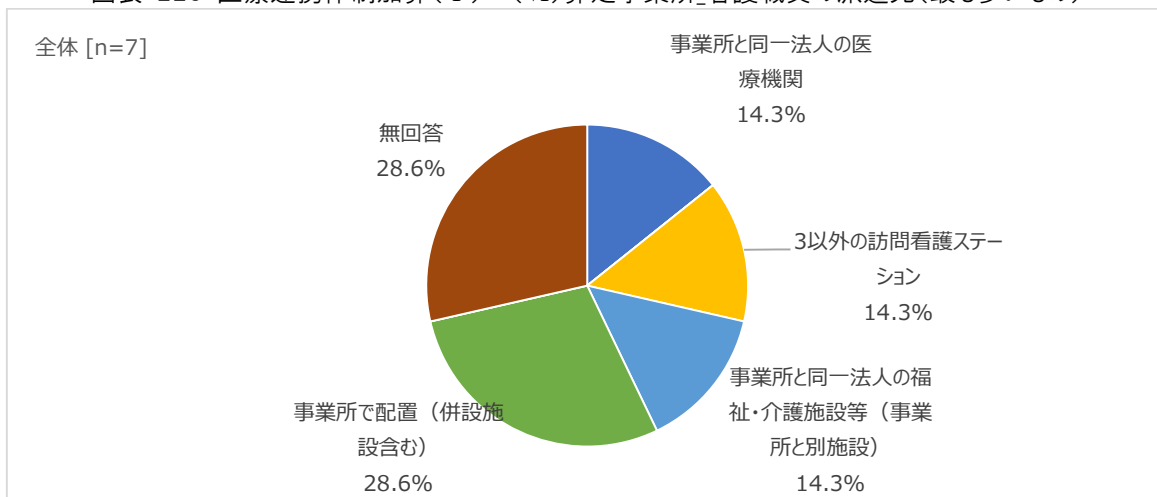
医療連携体制加算（Ⅰ）～（Ⅵ）を算定している事業所に、看護職員の派遣元を聞いたところ、「事業所で配置（併設施設含む）」が42.9%、「事業所と同一法人の福祉・介護施設等（事業所と別施設）」が28.6%等となっている。

図表 227 医療連携体制加算（Ⅰ）～（Ⅵ）算定事業所_看護職員の派遣元〔複数回答〕



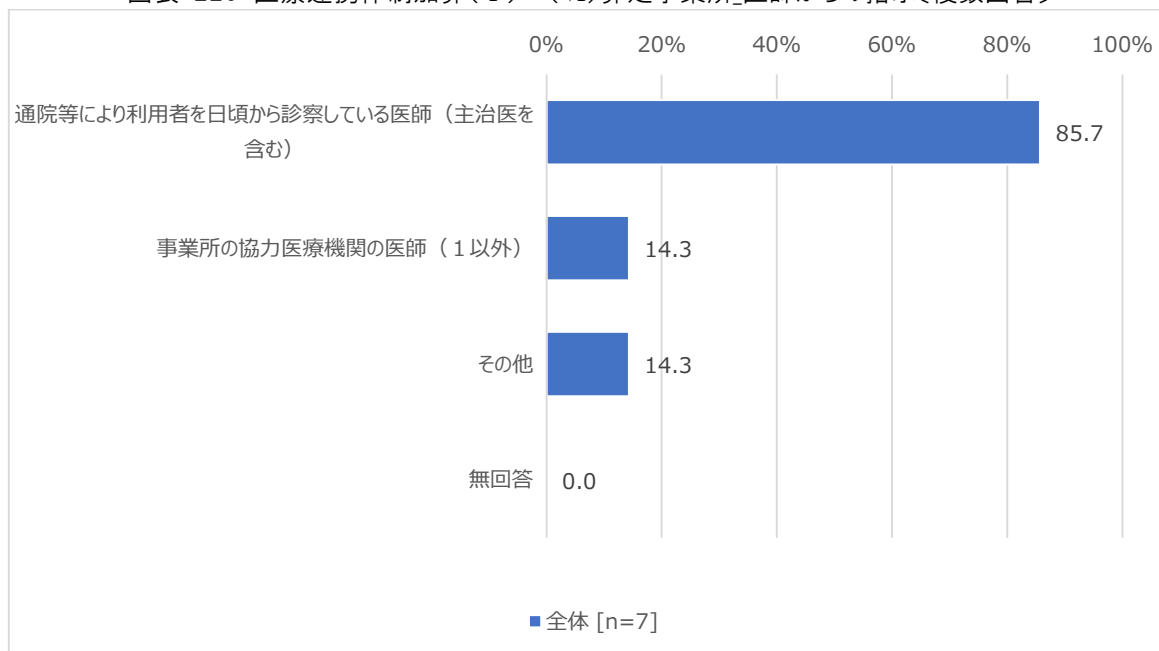
看護職員の派遣元（最も多いもの）については、「事業所で配置（併設施設含む）」が28.6%となっている。

図表 228 医療連携体制加算（Ⅰ）～（Ⅵ）算定事業所_看護職員の派遣元（最も多いもの）



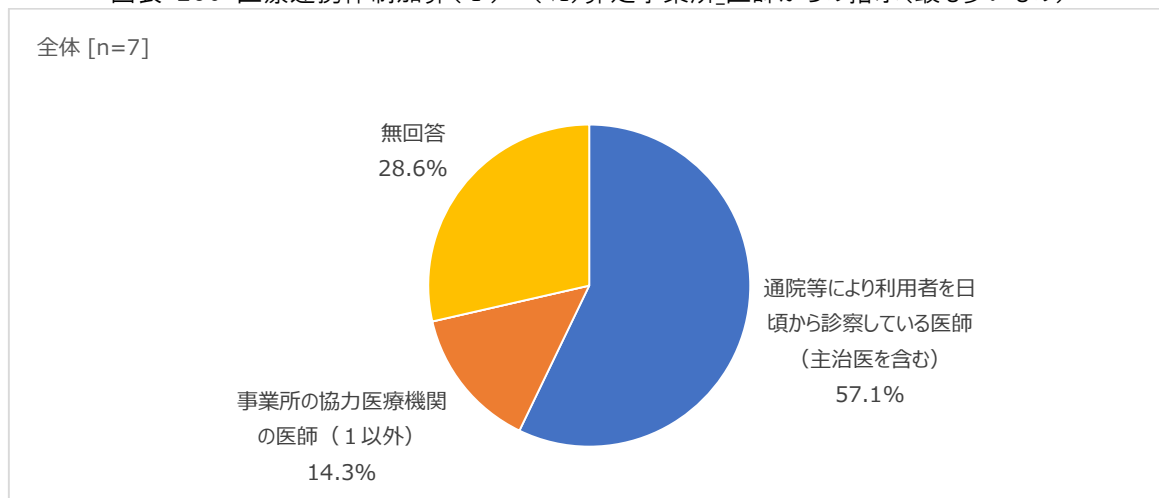
医療連携体制加算（Ⅰ）～（Ⅵ）を算定している事業所に、医師からの指示について聞いたところ、「通院等により利用者を日頃から診察している医師（主治医を含む）」が85.7%となっている。

図表 229 医療連携体制加算(Ⅰ)～(Ⅵ)算定事業所_医師からの指示[複数回答]



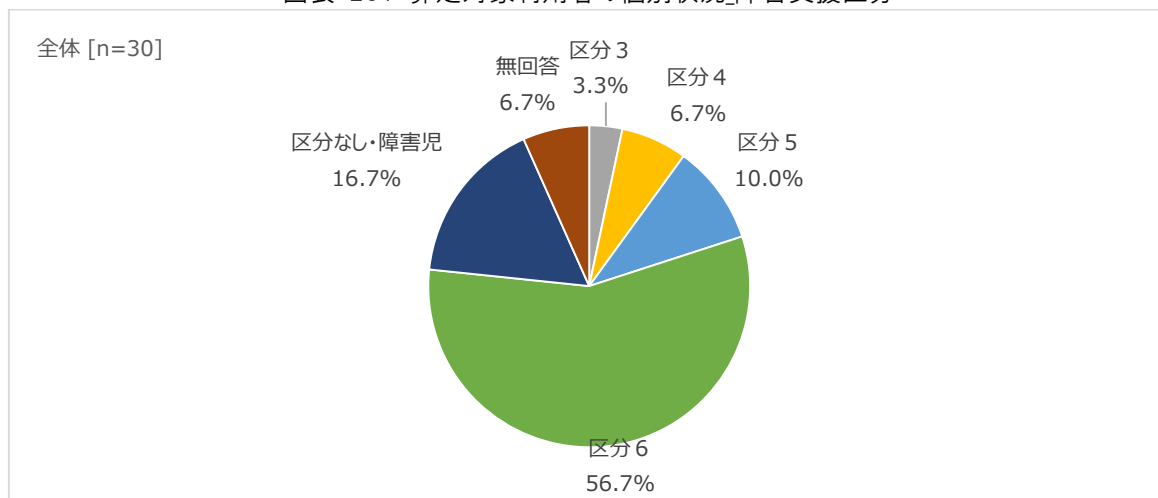
医師からの指示（最も多いもの）については、「通院等により利用者を日頃から診察している医師（主治医を含む）」が57.1%となっている。

図表 230 医療連携体制加算(Ⅰ)～(Ⅵ)算定事業所_医師からの指示(最も多いもの)



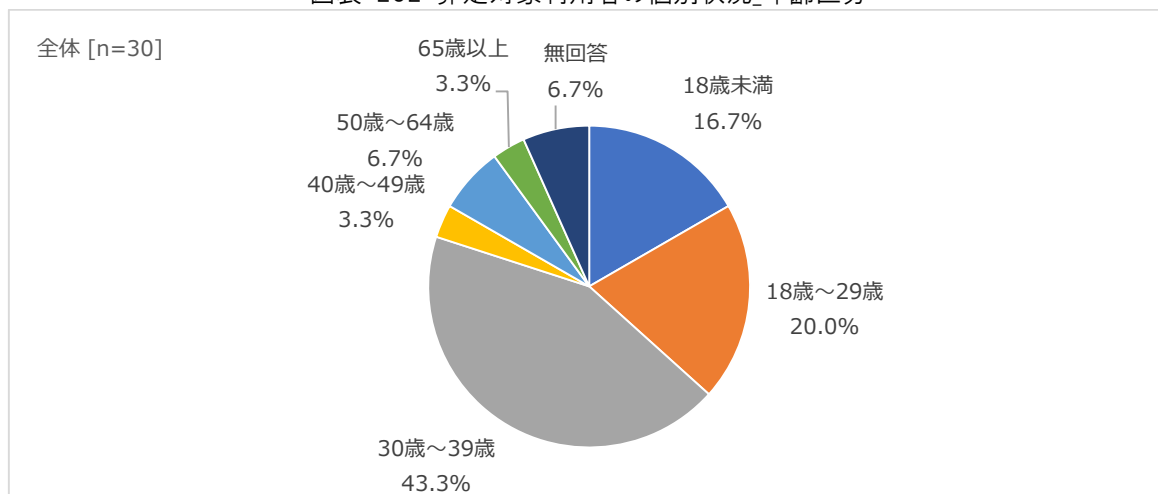
医療連携体制加算（Ⅰ）～（Ⅵ）を算定している事業所に、算定対象利用者の個別状況を聞いた。障害支援区分は、「区分6」が56.7%、「区分なし・障害児」が16.7%等となっている。

図表 231 算定対象利用者の個別状況_障害支援区分



年齢区分は、「30歳～39歳」が43.3%、「18歳～29歳」が20.0%、「18歳未満」が16.7%等となっている。

図表 232 算定対象利用者の個別状況_年齢区分



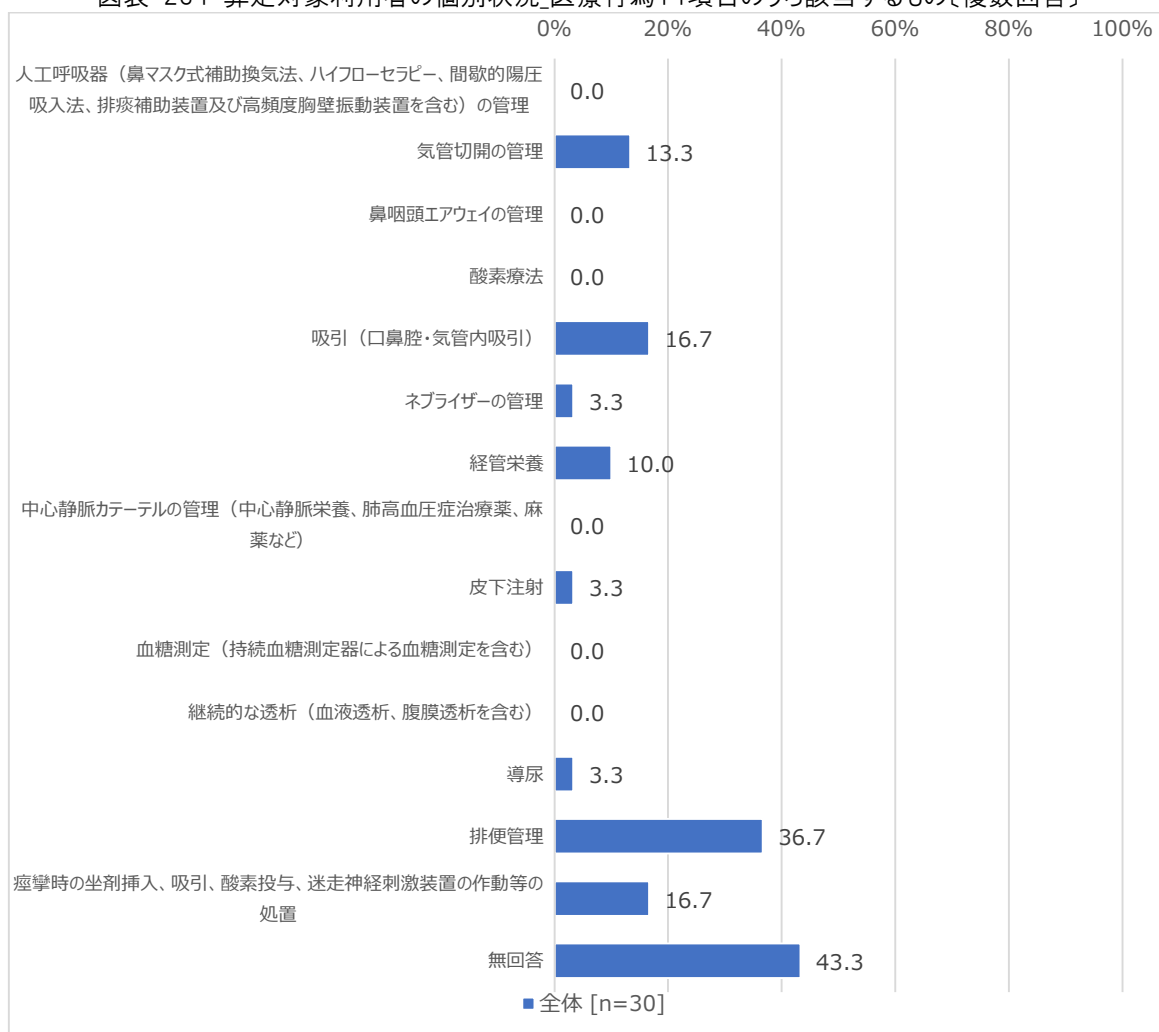
算定対象利用者の加算算定日数は以下のようにになっている。

図表 233 算定対象利用者の個別状況_算定日数

(日)	全体 [n=30]
算定日数_Ⅰ	1.9
算定日数_Ⅱ	0.1
算定日数_Ⅲ	0.3
算定日数_Ⅳ	0.7
算定日数_Ⅴ	5.4
算定日数_Ⅵ	0.4

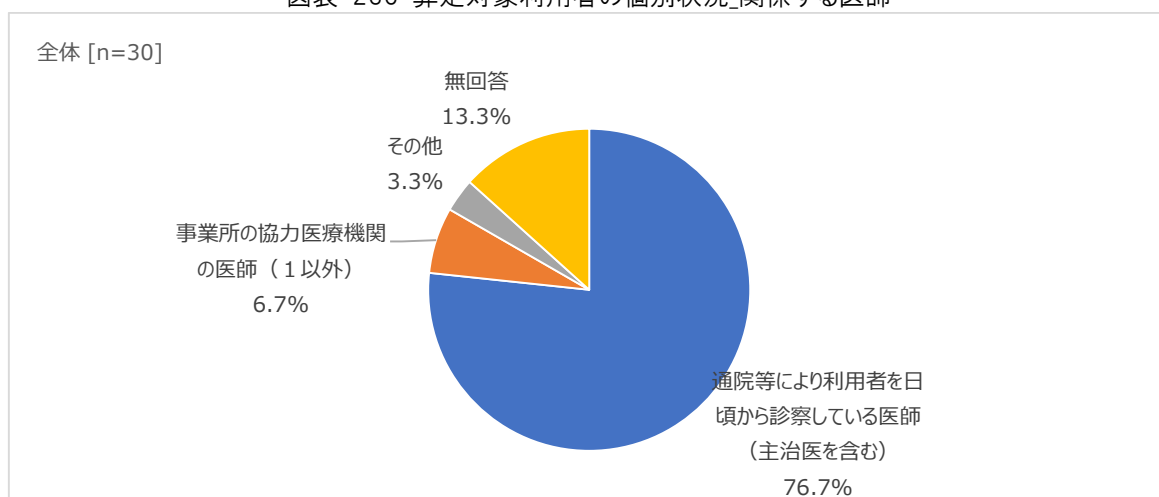
医療的ケア判定スコアは、平均で9.6となっている。また、医療行為14項目のうち該当するものは、「排便管理」が36.7%、「吸引（口鼻腔・気管内吸引）」「痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置」が16.7%等となっている。

図表 234 算定対象利用者の個別状況_医療行為14項目のうち該当するもの〔複数回答〕



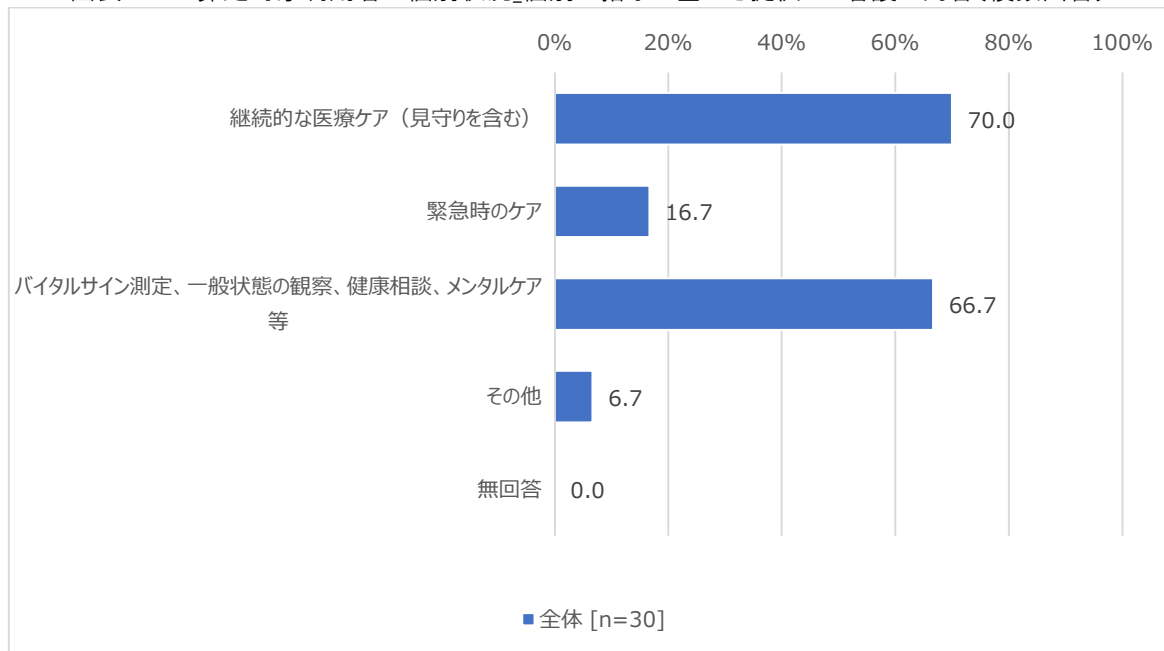
関係する医師は、「通院等により利用者を日頃から診察している医師（主治医を含む）」が76.7%となっている。

図表 235 算定対象利用者の個別状況_関係する医師



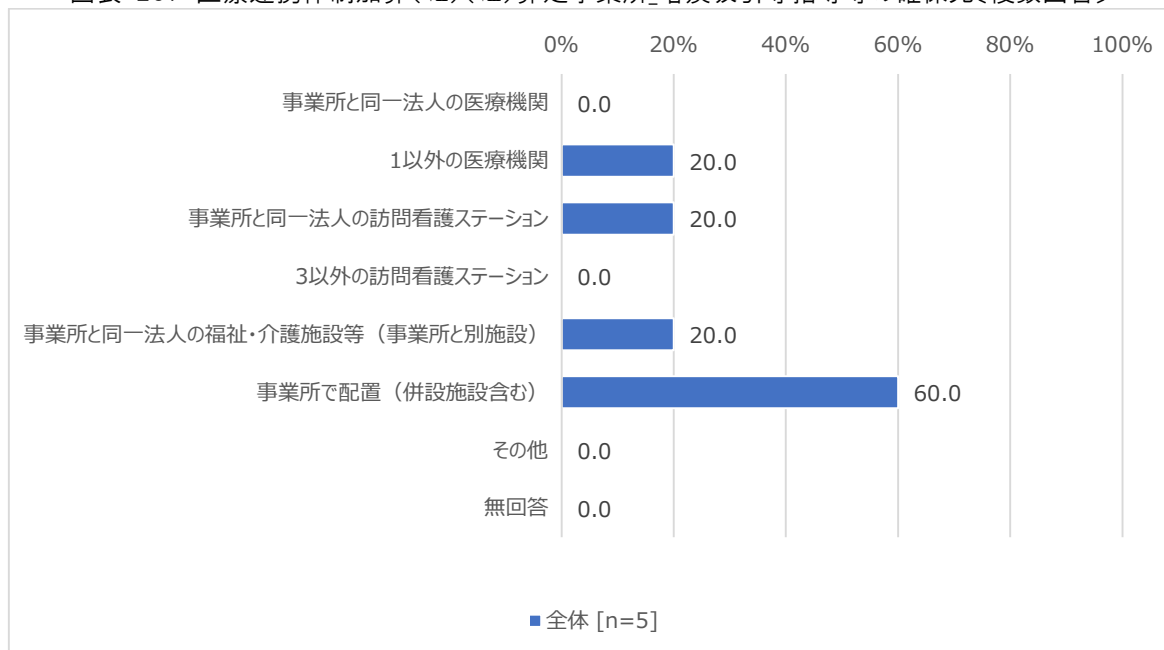
個別の指示に基づき提供した看護の内容は、「継続的な医療ケア（見守りを含む）」が70.0%、「バイタルサイン測定、一般状態の観察、健康相談、メンタルケア等」が66.7%等となっている。

図表 236 算定対象利用者の個別状況_個別の指示に基づき提供した看護の内容〔複数回答〕



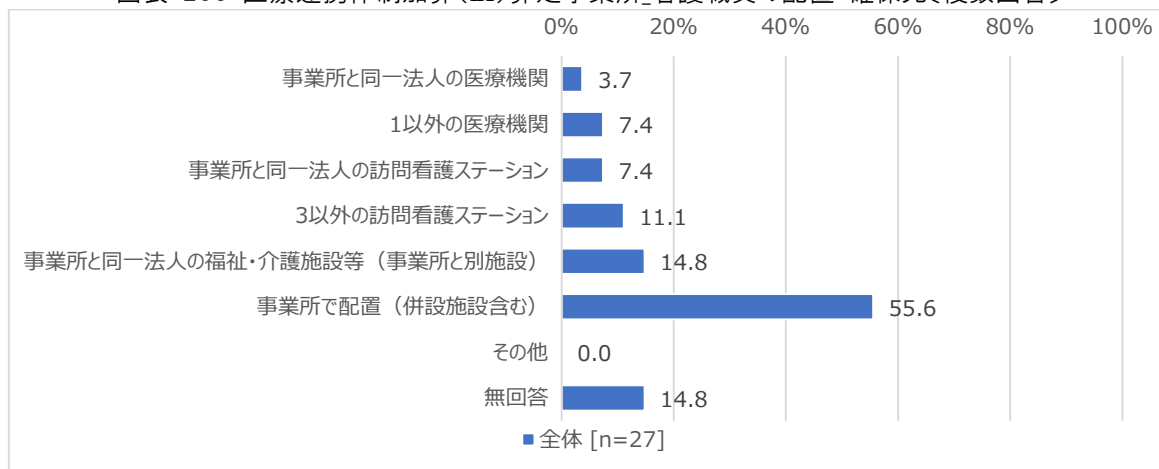
医療連携体制加算（Ⅶ）（Ⅷ）を算定している事業所に、喀痰吸引等指導等の確保元について聞いたところ、「事業所で配置（併施設設含む）」が60.0%となっている。

図表 237 医療連携体制加算（Ⅶ）（Ⅷ）算定事業所_喀痰吸引等指導等の確保元〔複数回答〕



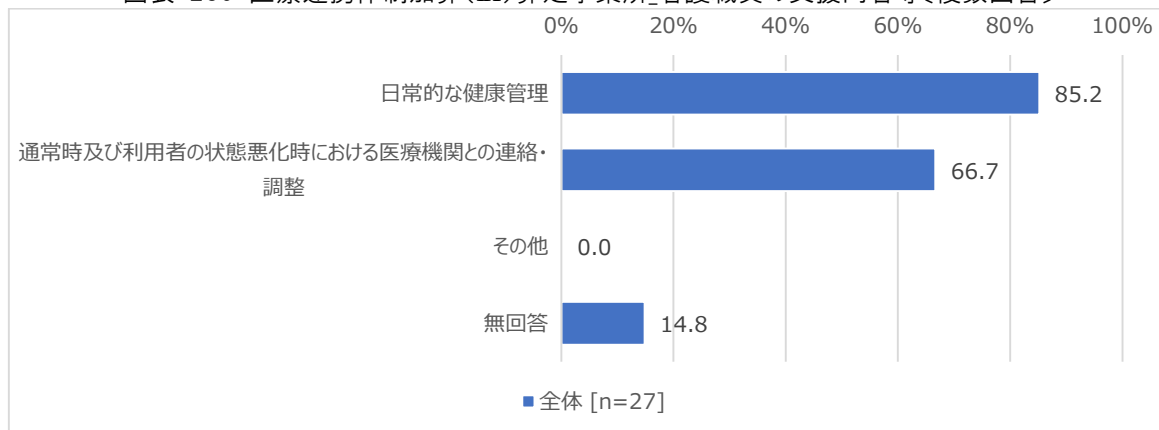
医療連携体制加算（IX）を算定している事業所に、看護職員の配置・確保元について聞いたところ、「事業所で配置（併設施設含む）」が55.6%となっている。

図表 238 医療連携体制加算(IX)算定事業所_看護職員の配置・確保元〔複数回答〕



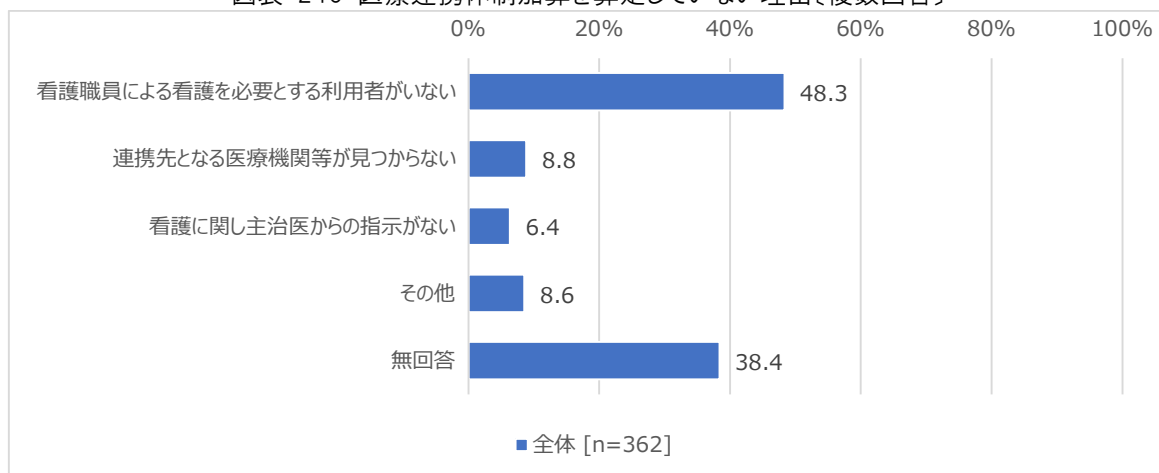
医療連携体制加算（IX）を算定している事業所の、看護職員の支援内容等については、「日常的な健康管理」が85.2%、「通常時及び利用者の状態悪化時における医療機関との連絡・調整」が66.7%となっている。

図表 239 医療連携体制加算(IX)算定事業所_看護職員の支援内容等〔複数回答〕



医療連携体制加算を算定していない事業所に、その理由を聞いたところ、「看護職員による看護を必要とする利用者がいない」が48.3%となっている。

図表 240 医療連携体制加算を算定していない理由〔複数回答〕

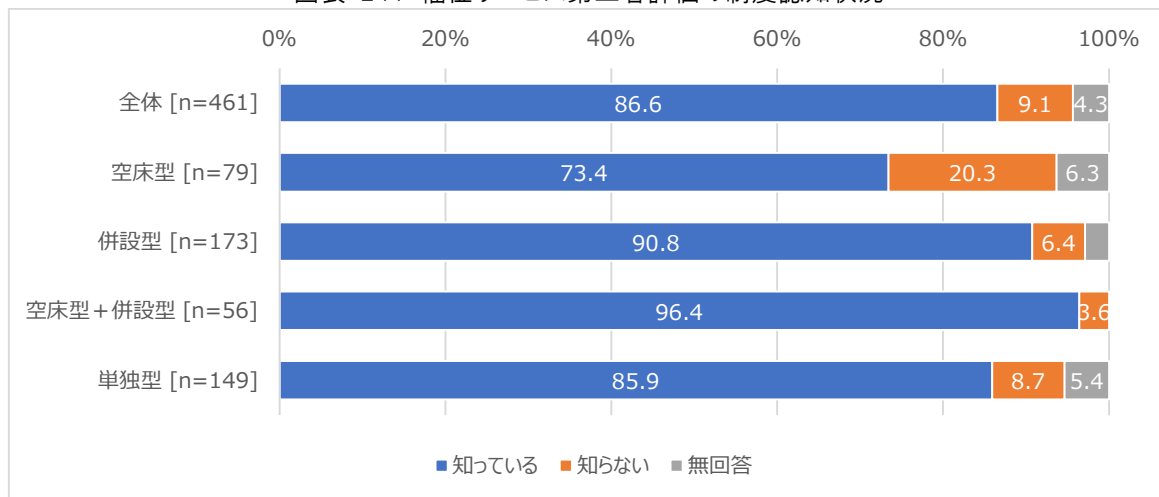


(7) 第三者評価について

①福祉サービス第三者評価の制度認知状況

福祉サービス第三者評価の制度認知状況は、「知っている」が86.6%、「知らない」が9.1%となっている。

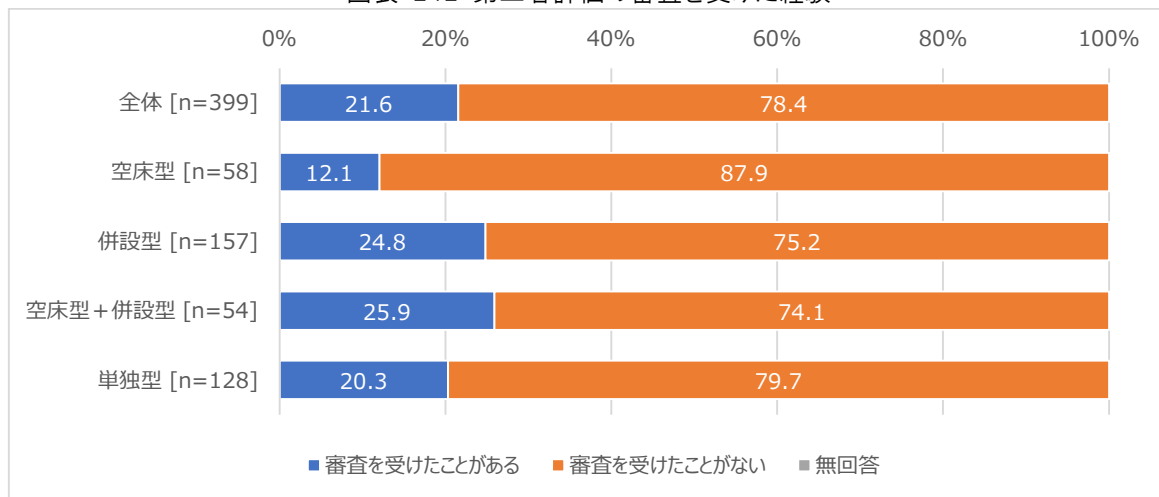
図表 241 福祉サービス第三者評価の制度認知状況



②(1)第三者評価の審査を受けた経験

第三者評価の審査を受けた経験は、「審査を受けたことがない」が78.4%、「審査を受けたことがある」が21.6%となっている。

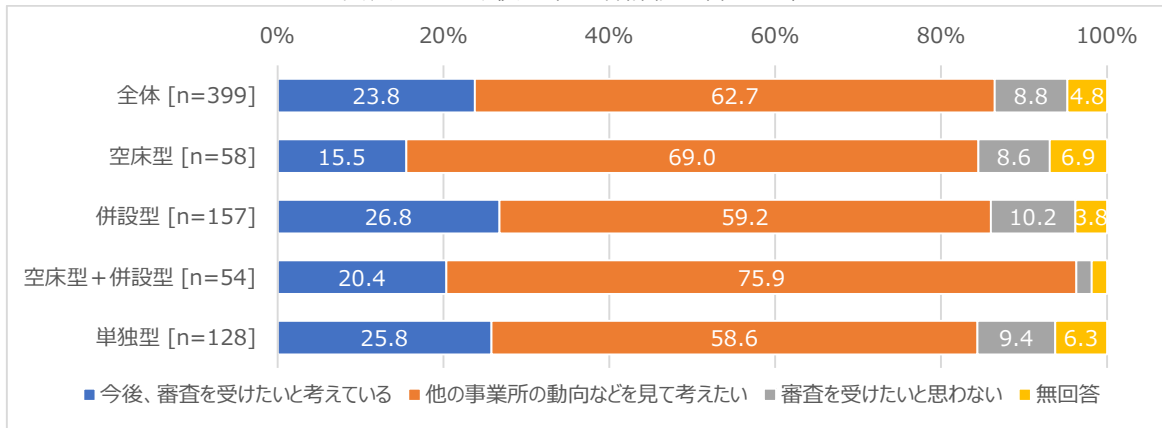
図表 242 第三者評価の審査を受けた経験



③今後の第三者評価の審査の希望

今後の第三者評価の審査の希望は、「他の事業所の動向などを見て考えたい」が62.7%、「今後、審査を受けたいと考えている」が23.8%となっている。

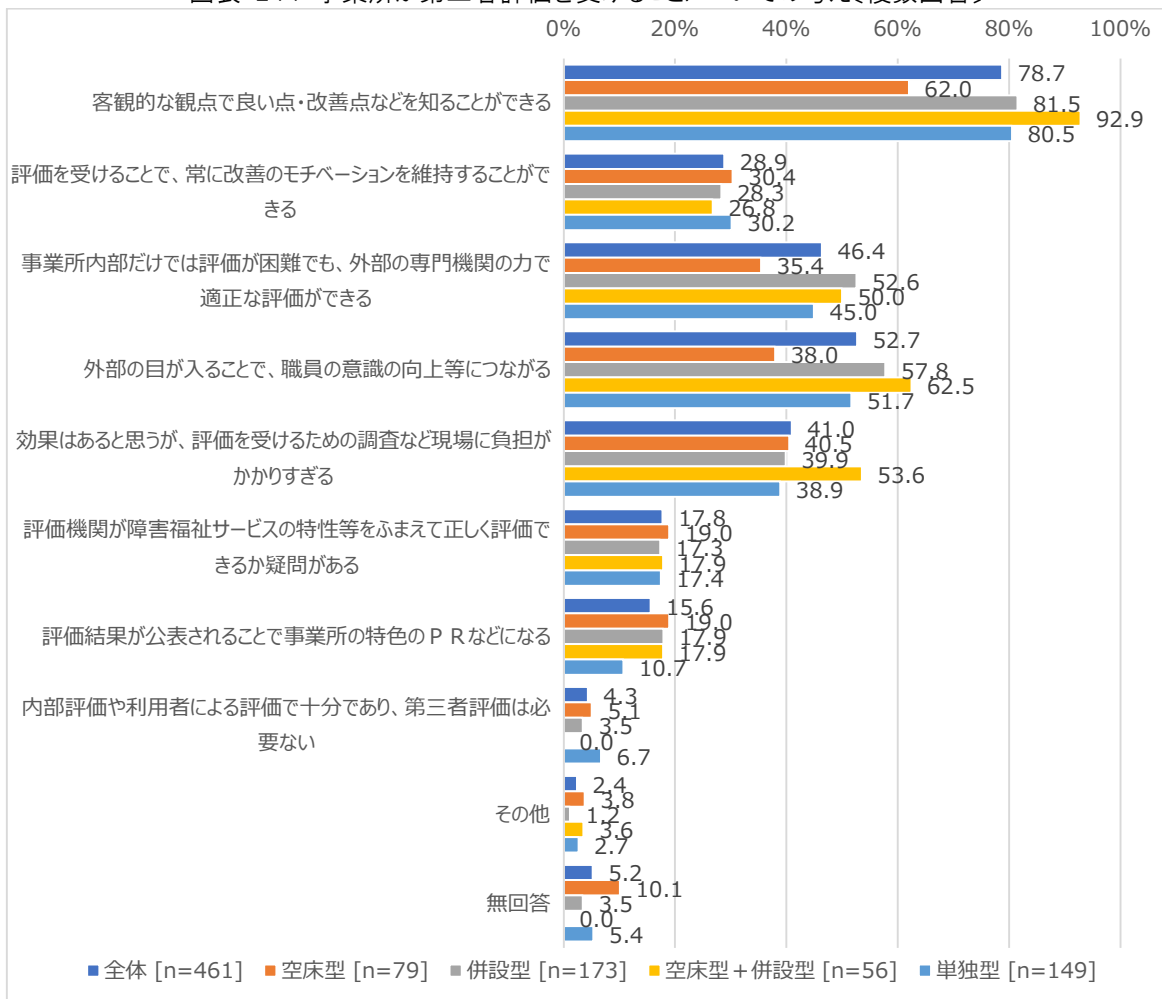
図表 243 今後の第三者評価の審査の希望



④事業所が第三者評価を受けることについての考え

事業所が第三者評価を受けることについての考えは、「客観的な観点で良い点・改善点などを知ることができる」が78.7%、「外部の目が入ることで、職員の意識の向上等につながる」が52.7%、「事業所内部だけでは評価が困難でも、外部の専門機関の力で適正な評価ができる」が46.4%等となっている。

図表 244 事業所が第三者評価を受けることについての考え〔複数回答〕

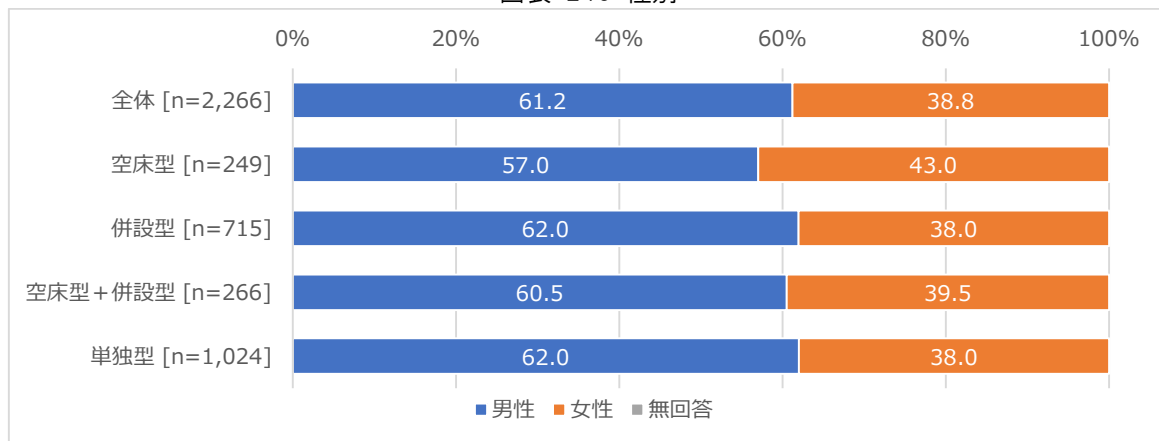


(8) サービス利用者の状況

①性別

性別は、「男性」が61.2%、「女性」が38.8%となっている。

図表 245 性別



②年齢

年齢は、平均で32.6歳となっている。

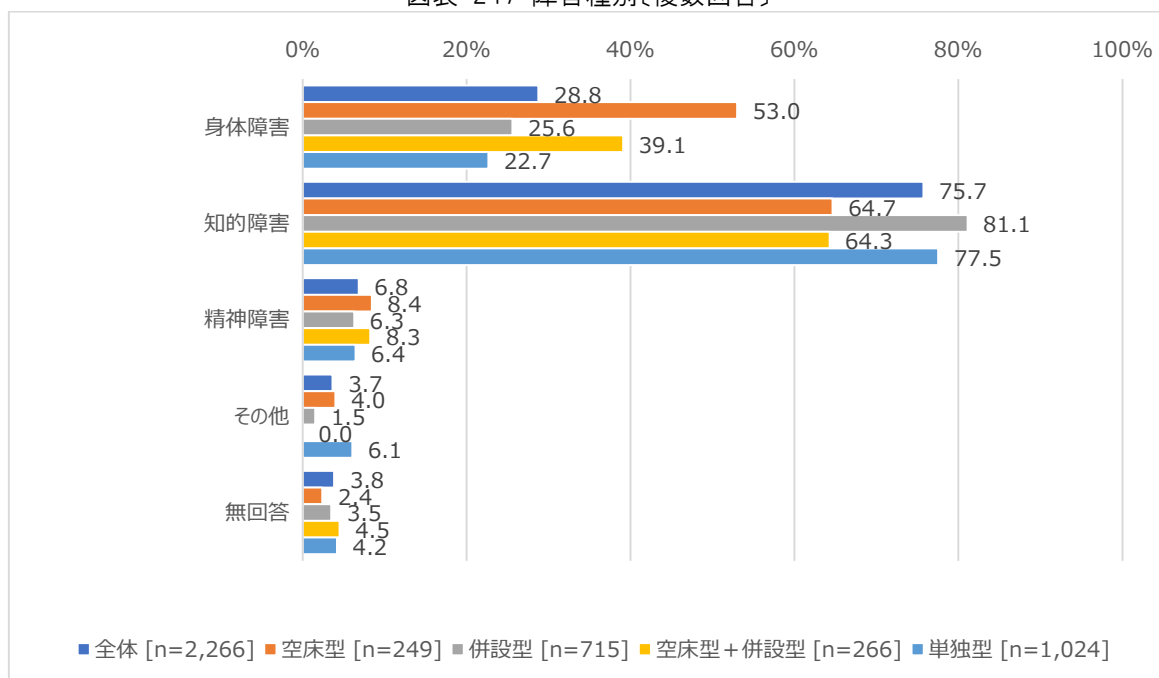
図表 246 年齢

	全体 [n=2,227]	空床型 [n=239]	併設型 [n=700]	空床型+併設型 [n=265]	単独型 [n=1,011]
平均年齢 (歳)	32.6	31.7	32.9	36.6	31.6

③障害種別

障害種別は、「知的障害」が75.7%、「身体障害」が28.8%、「精神障害」が6.8%となっている。

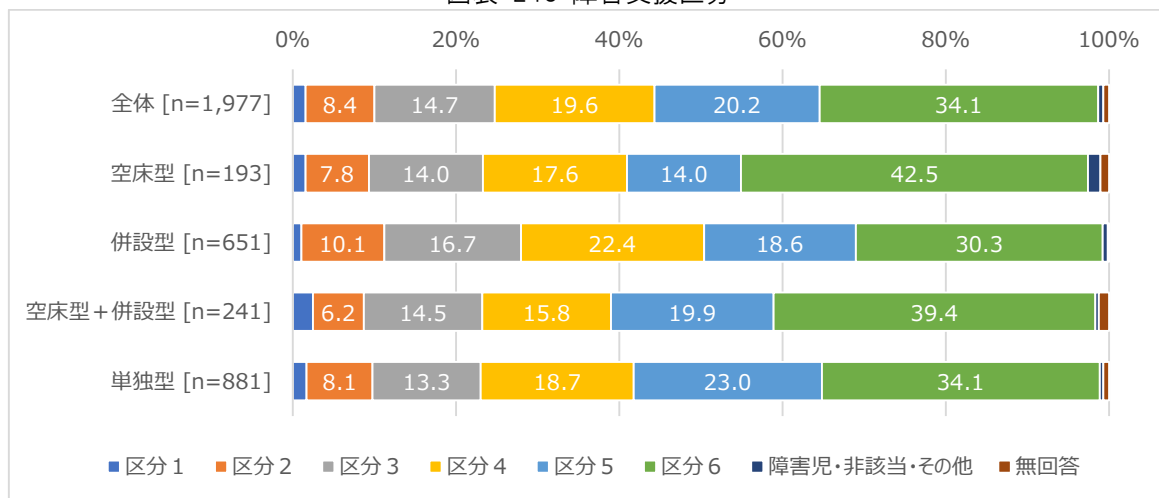
図表 247 障害種別〔複数回答〕



④障害支援区分

障害支援区分は、「区分6」が34.1%、「区分5」が20.2%、「区分4」が19.6%等となっている。

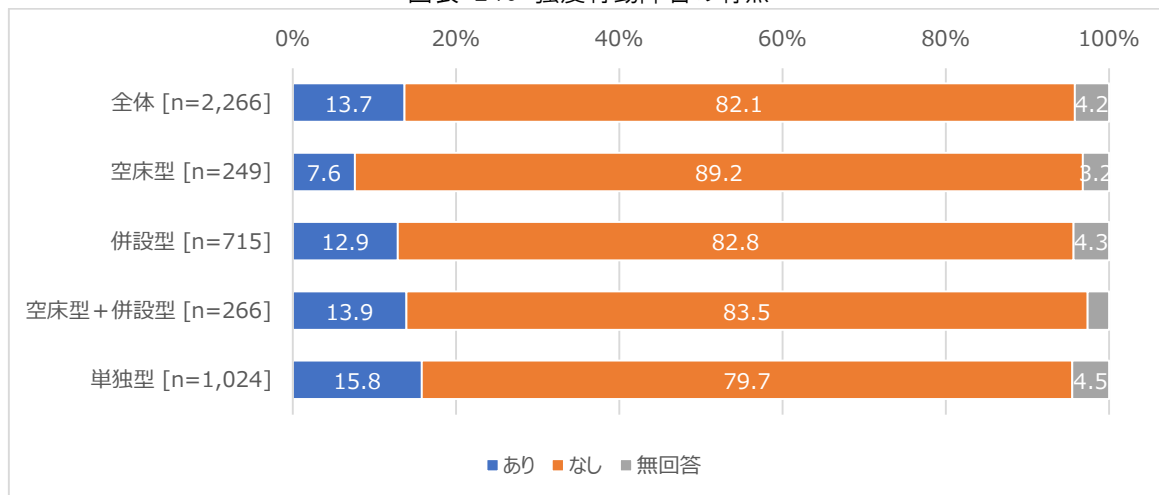
図表 248 障害支援区分



⑤強度行動障害の有無

強度行動障害の有無は、「なし」が82.1%、「あり」が13.7%となっている。

図表 249 強度行動障害の有無



⑥利用回数等

利用回数等は、半年間の平均で8.5回となっている。また、合計利用日数は、平均で29.5日となっている。

図表 250 利用回数

(回)	全体 [n=2,266]	空床型 [n=249]	併設型 [n=715]	空床型+併設型 [n=266]	単独型 [n=1,024]
利用回数	8.5	9.2	7.9	8.5	8.8
うち、緊急利用の回数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1

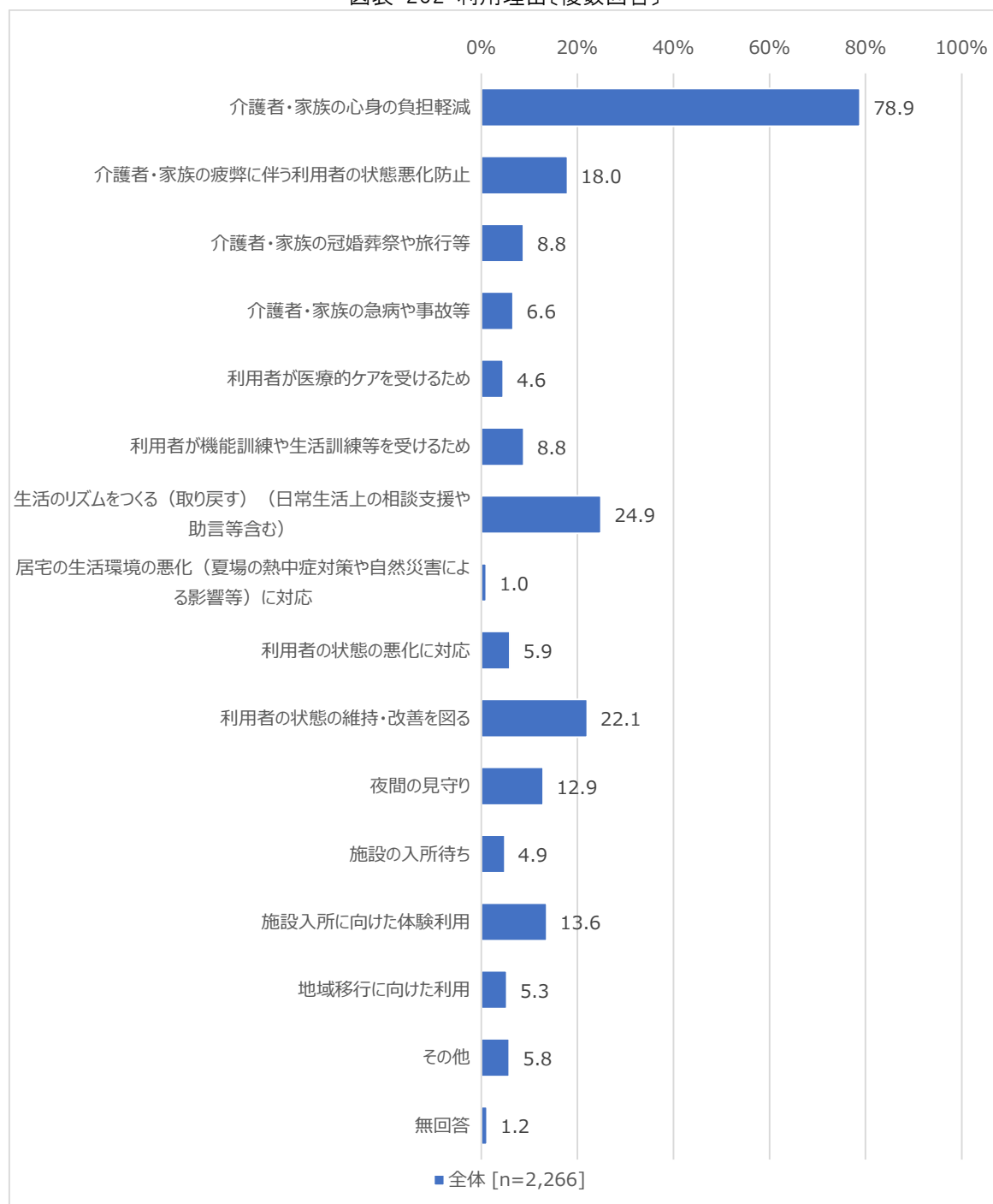
図表 251 合計利用日数

(日)	全体 [n=2,266]	空床型 [n=249]	併設型 [n=715]	空床型+併設型 [n=266]	単独型 [n=1,024]
合計利用日数	29.5	25.9	28.0	36.5	29.6
連続利用日数	12.1	7.3	10.6	15.5	13.4

⑦利用理由

利用理由は、「介護者・家族の心身の負担軽減」が78.9%と多くなっている。

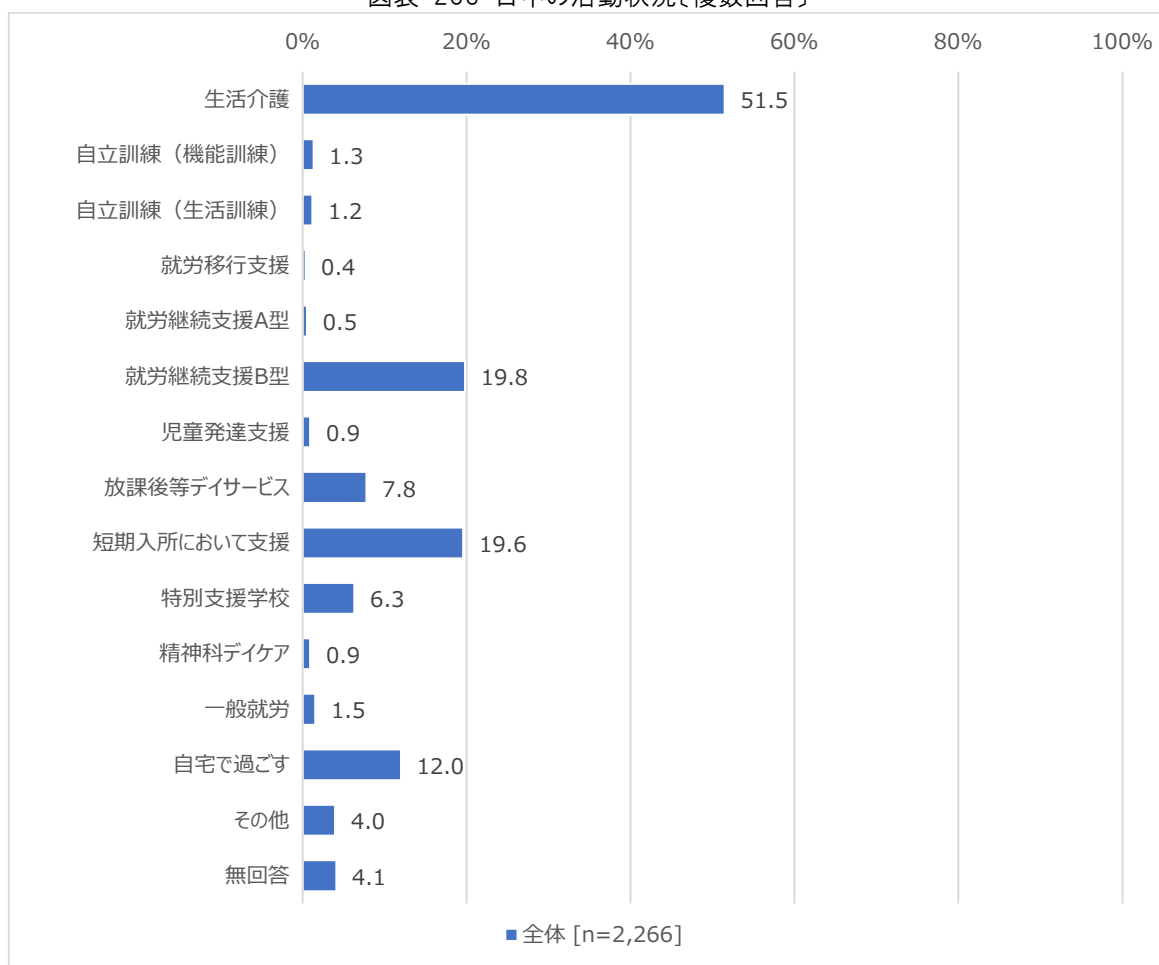
図表 252 利用理由〔複数回答〕



⑧日中の活動状況

日中の活動状況については、「生活介護」が51.5%、「就労継続支援B型」が19.8%、「短期入所において支援」が19.6%等となっている。

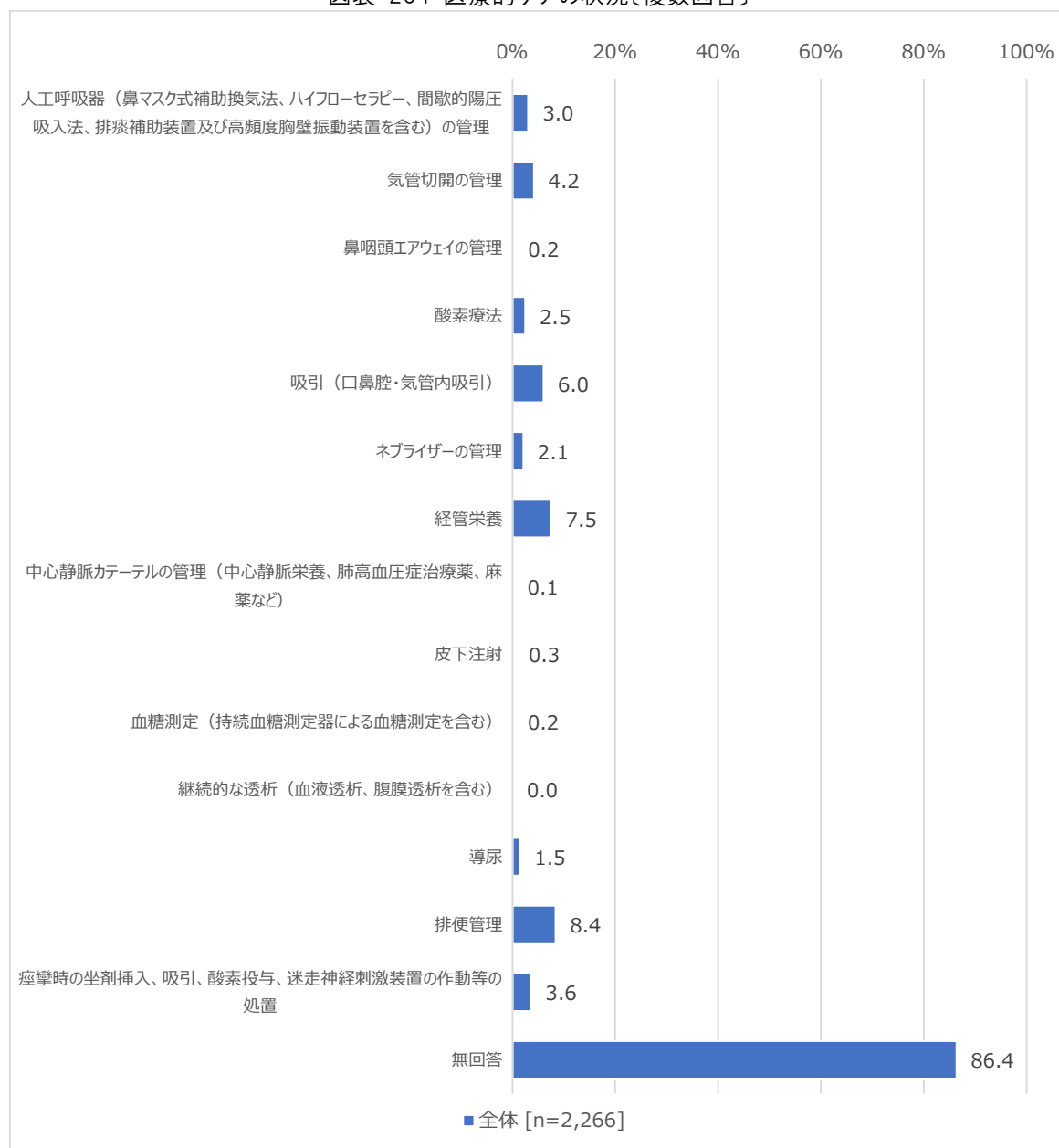
図表 253 日中の活動状況〔複数回答〕



⑨医療的ケアの状況

医療的ケアの状況は、「排便管理」が8.4%、「経管栄養」が7.5%等となっている。

図表 254 医療的ケアの状況〔複数回答〕



⑩たんの吸引等の回数

たんの吸引等の回数は、「口腔内のたんの吸引」「胃ろうによる経管栄養」いずれも平均で0.2回となっている。

図表 255 たんの吸引等の回数

(回)	全体 [n=2,266]	空床型 [n=249]	併設型 [n=715]	空床型+併設型 [n=266]	単独型 [n=1,024]
利用日における「口腔内のたんの吸引」の回数	0.2	0.7	0.3	0.2	0.1
利用日における「胃ろうによる経管栄養」の回数	0.2	0.7	0.2	0.2	0.1